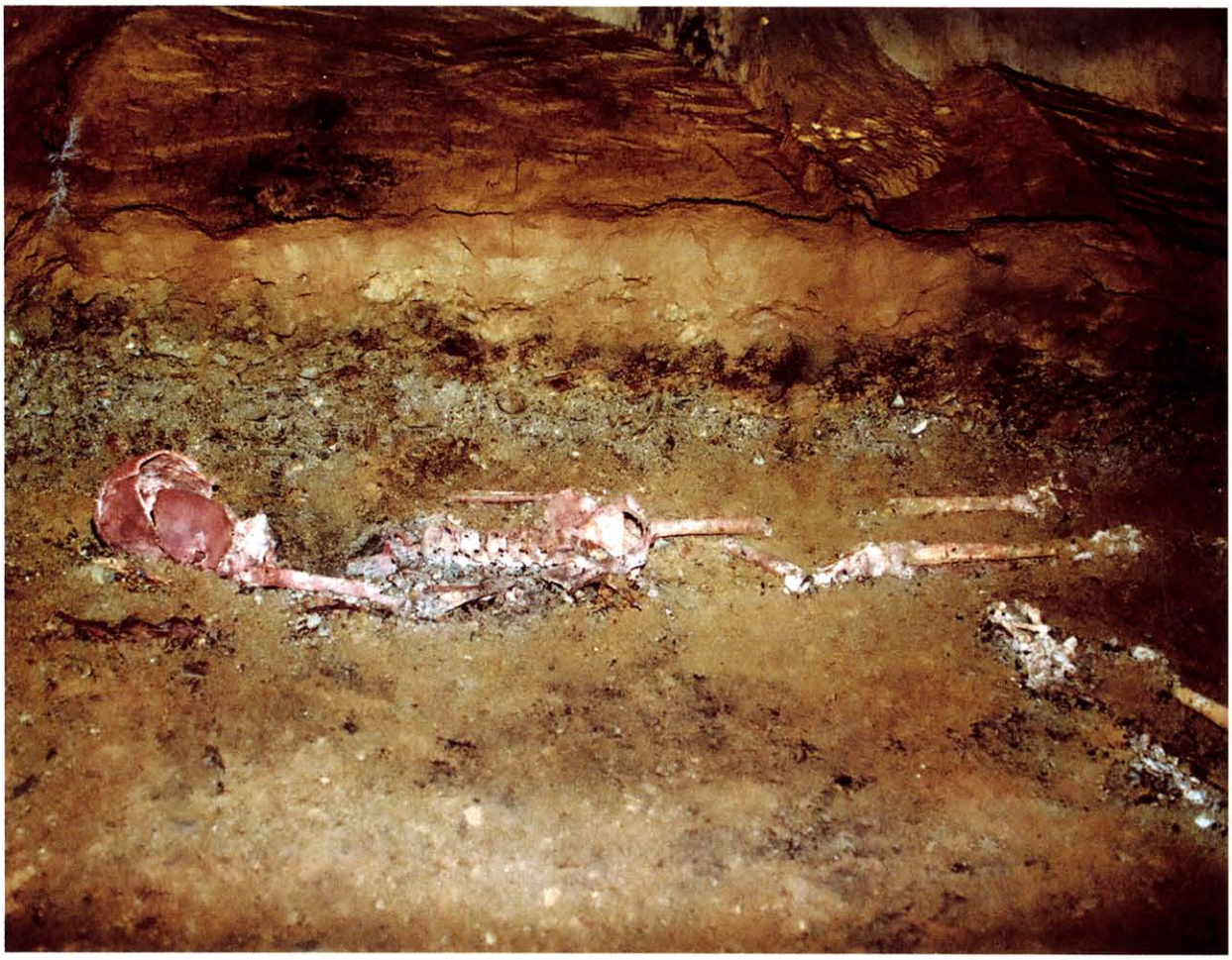
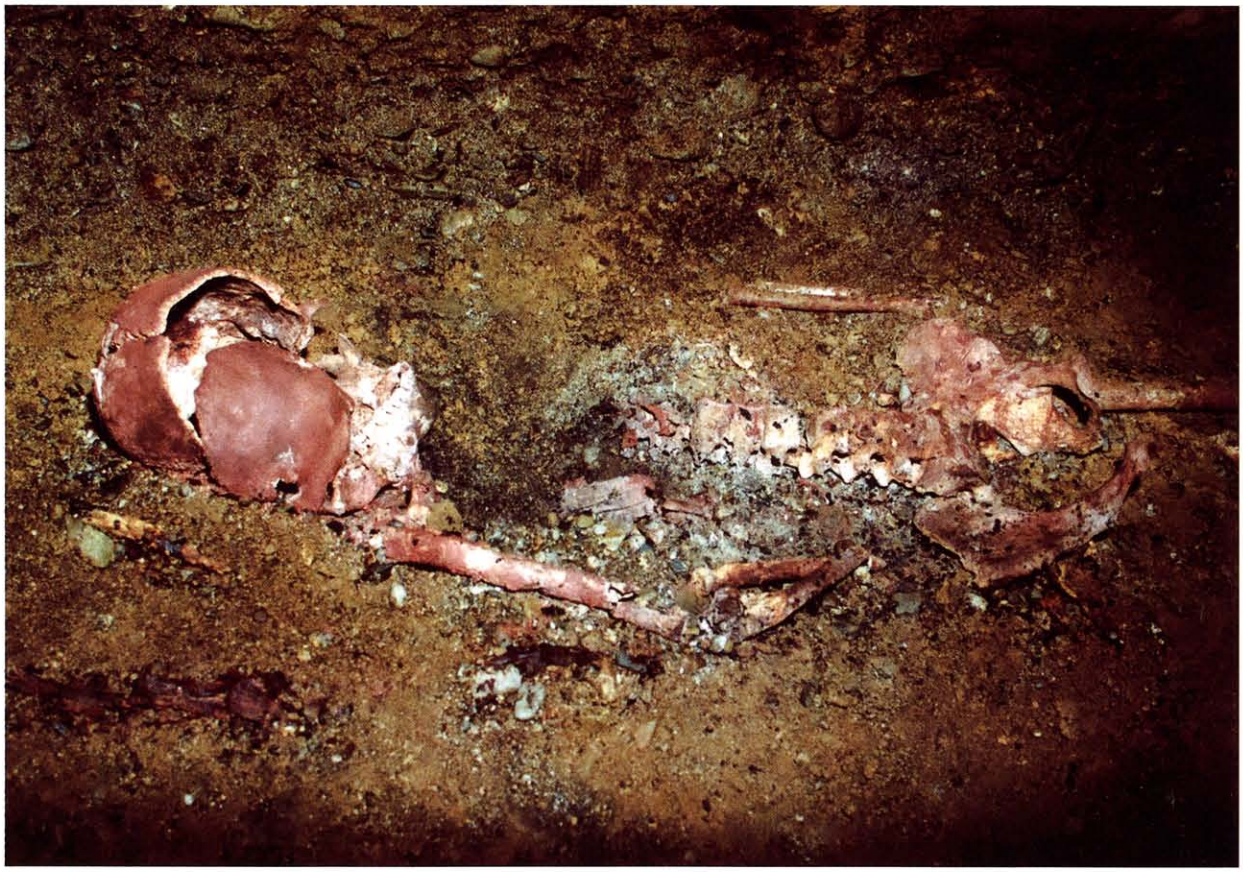


ST－122　1号人骨と3号人骨の足先（東から）

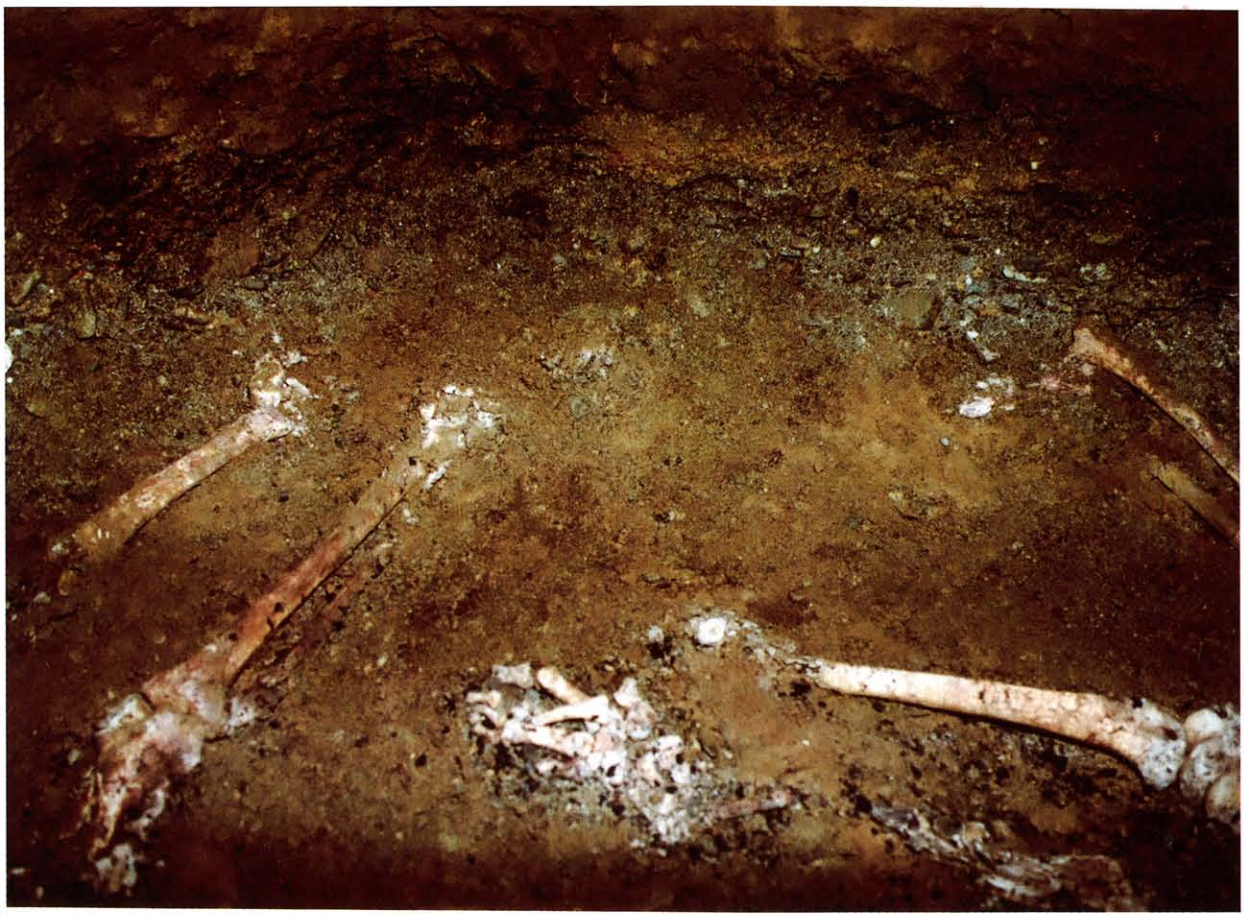


同　上　1号人骨上半と副葬品（東から）

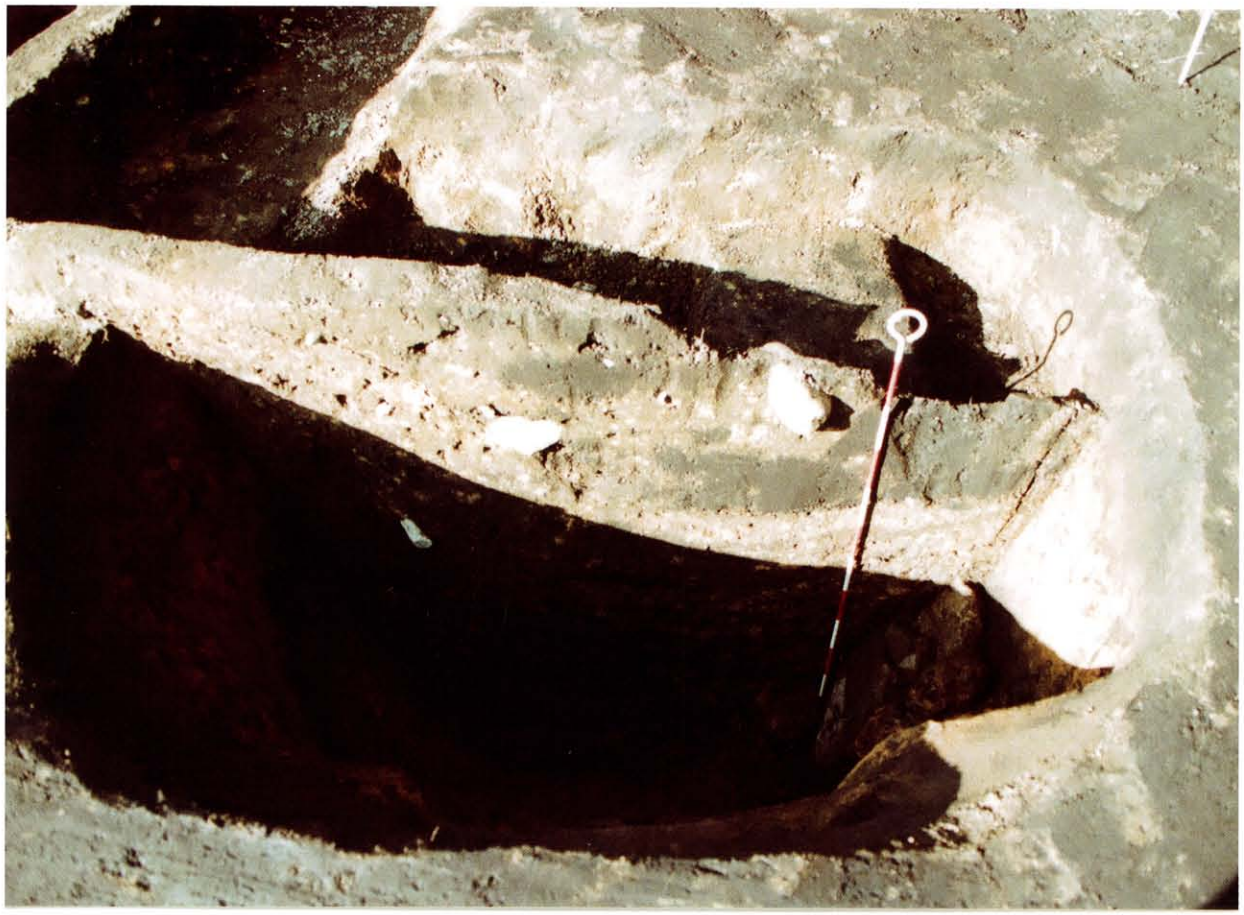
ST－122　１号人骨下半と３号人骨足先（南から）

同　上　２・３号人骨と１号人骨足先（南から）

ST－122　2・3号人骨　上半（南西から）

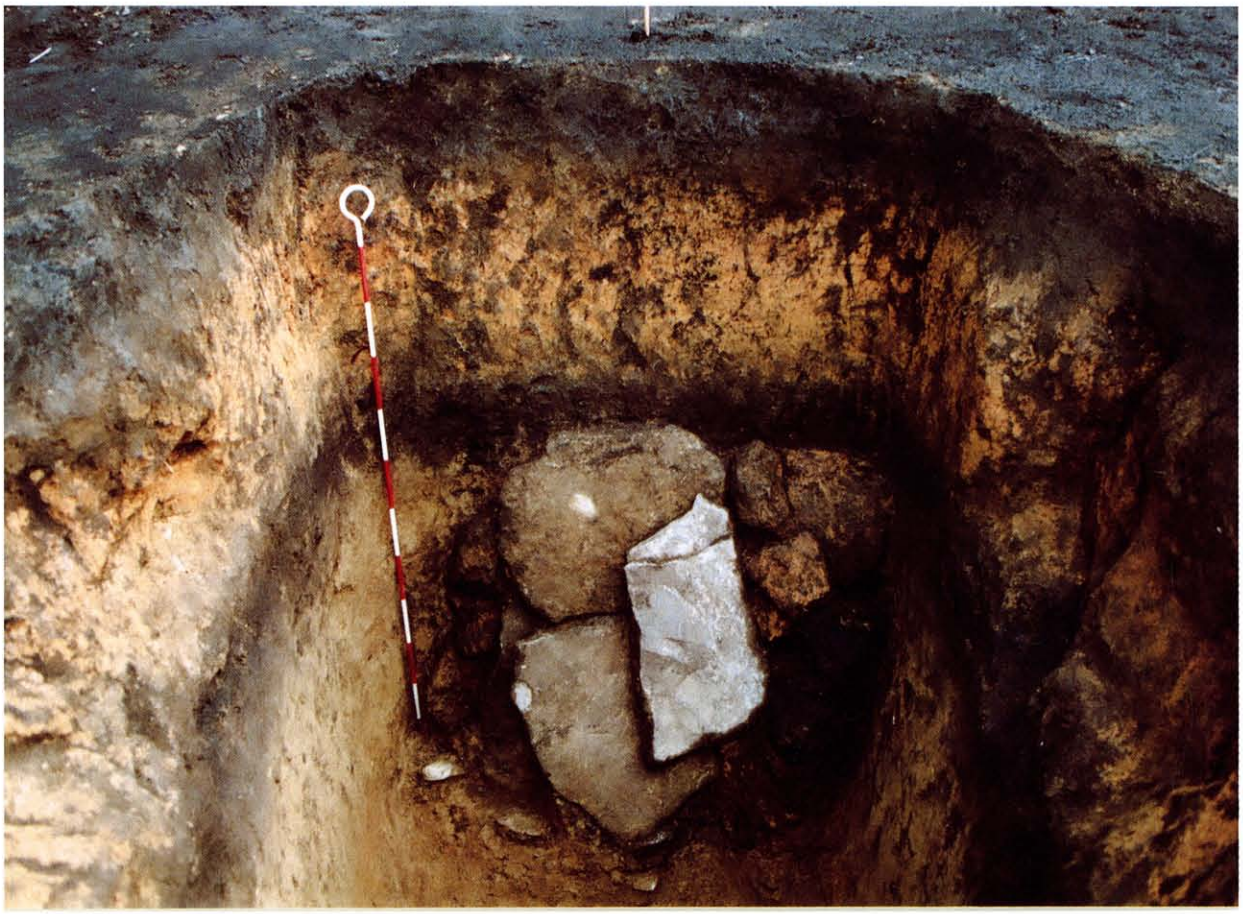


同　上　1～3号人骨の下肢～足先（南から）

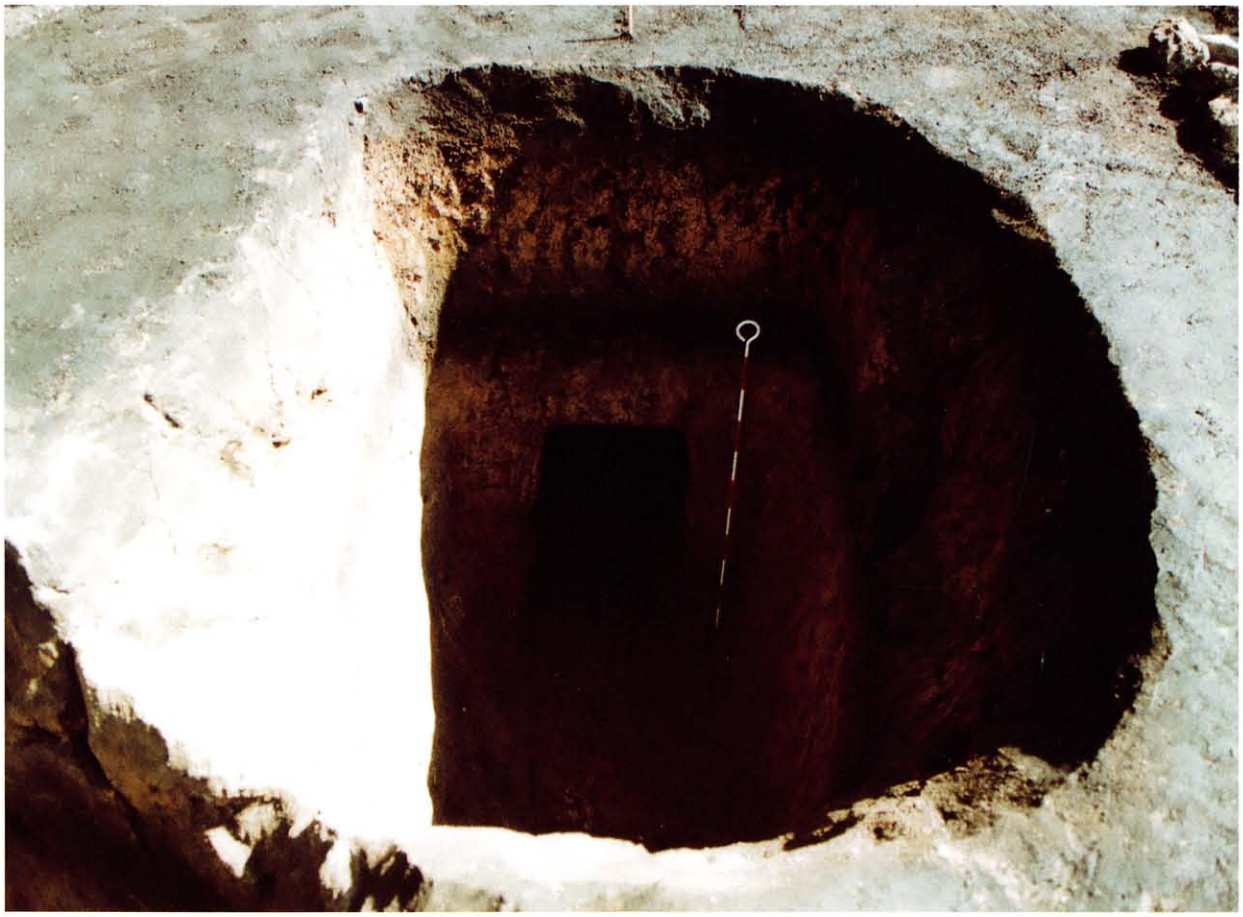


ST－123　竪坑断面層序（西から）

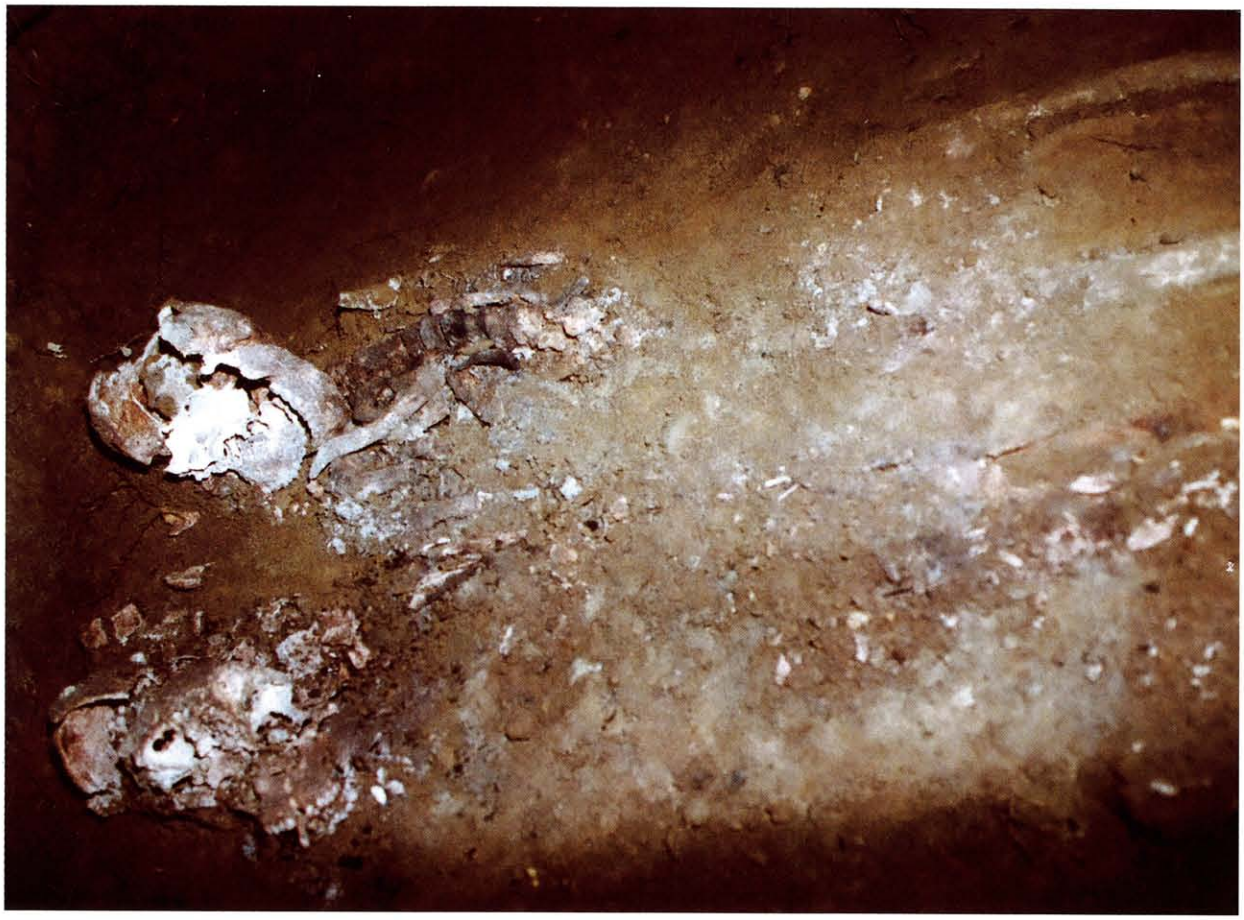
同　上　羨門閉塞状態（北西から）



ST－123　羨門閉塞状態　接写（北西から）



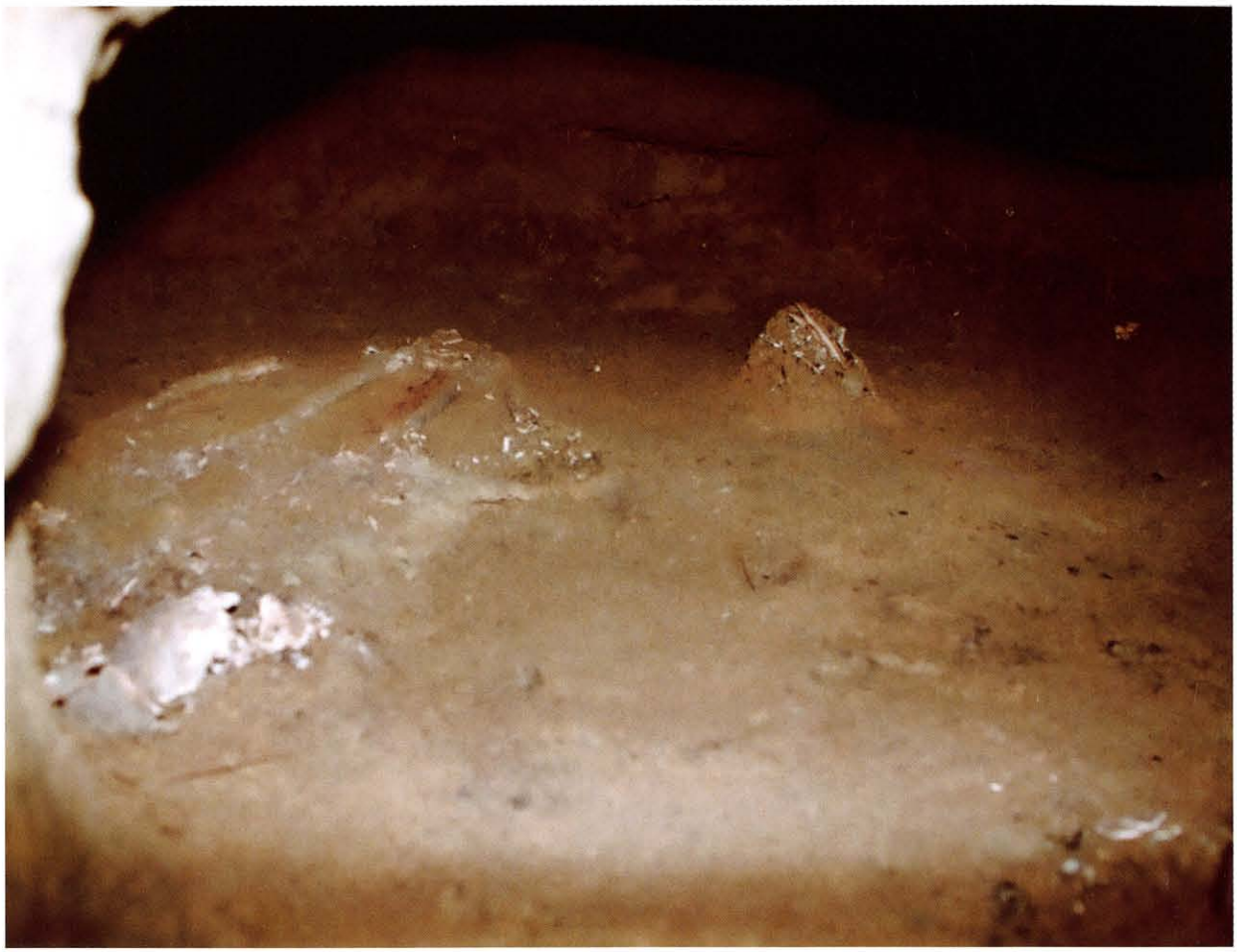
同　上　竪坑完掘（北西から）



ST－123　1・2号人骨（南から）

同　上　上半（南から）

ST－123　1・2号人骨　下肢（南から）



同　上　2号人骨右足先の鉄鏃1本と骨鏃の束（西から）

ST－123　鉄鏃１本と骨鏃の束　接写（西から）

同　上　３・４号人骨　頭骨と副葬品（南東から）

ST－124　竪坑断面層序（西から）

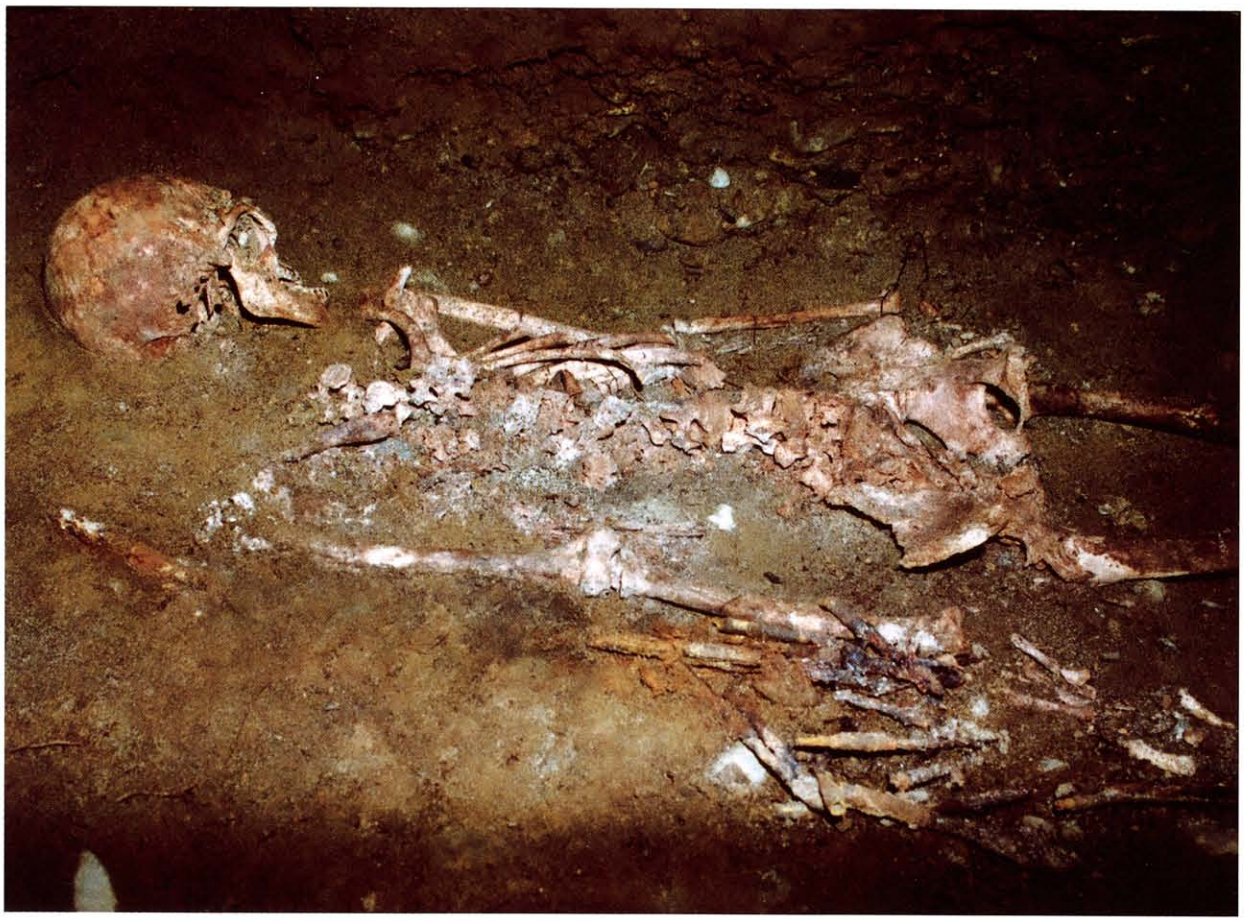
同　上　羨門閉塞状態（南西から，右上は左上部にあった崩落板石）

ST－123　（右）と124　羨門閉塞状態（南西から）

ST－124　竪坑完掘（南西から）

ST－124　１号人骨と２号人骨の下肢（南西から）

同　上　１号人骨上半と副葬品（西から）



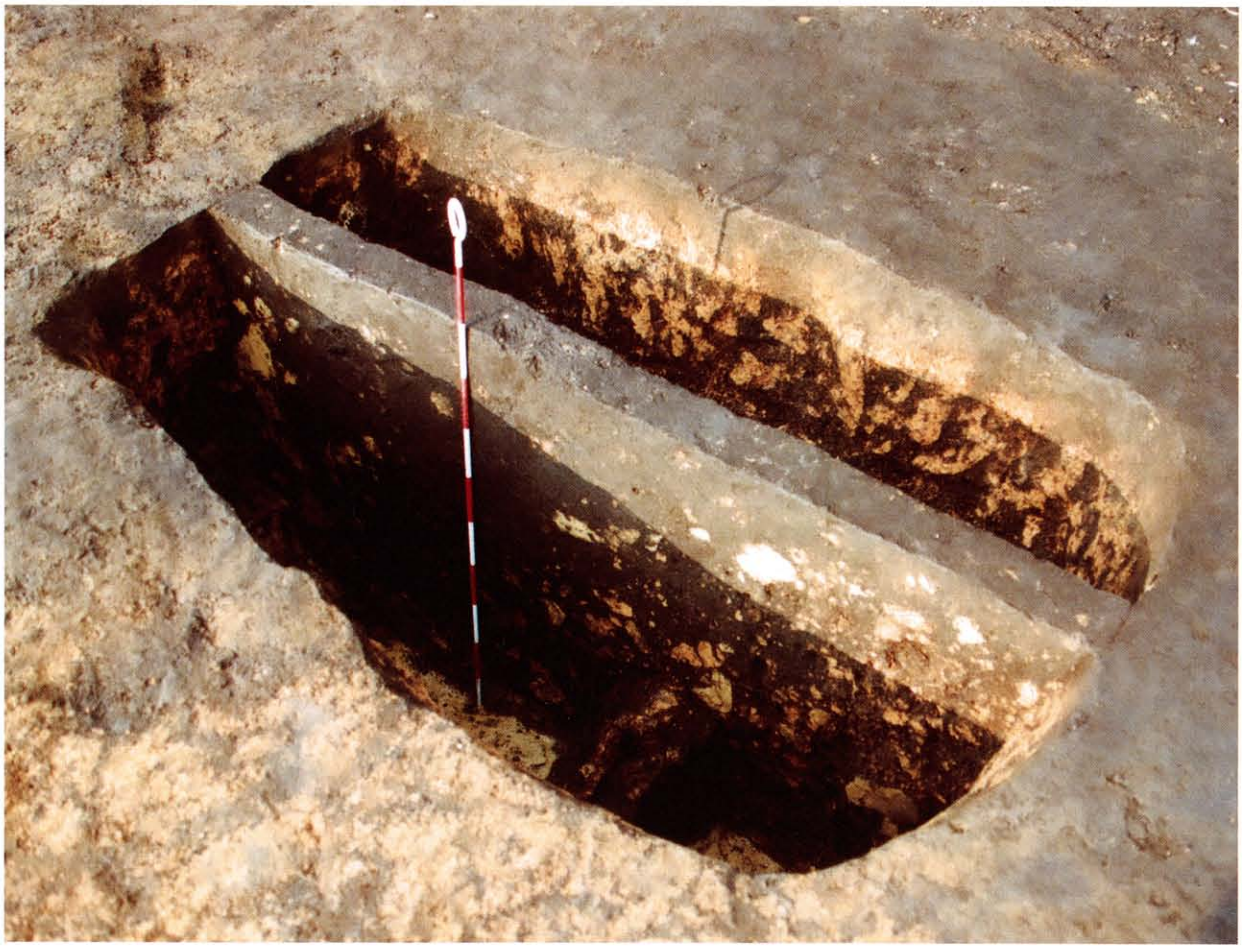
ST－124　２号人骨上半と副葬品（南東から）

同　上　右腕部　接写（南東から）

ST－124　1・2号人骨　下肢と副葬品（南から）

同　上　玄室中央付近の有機物（西から）

SK－03　検出状態（南西から）

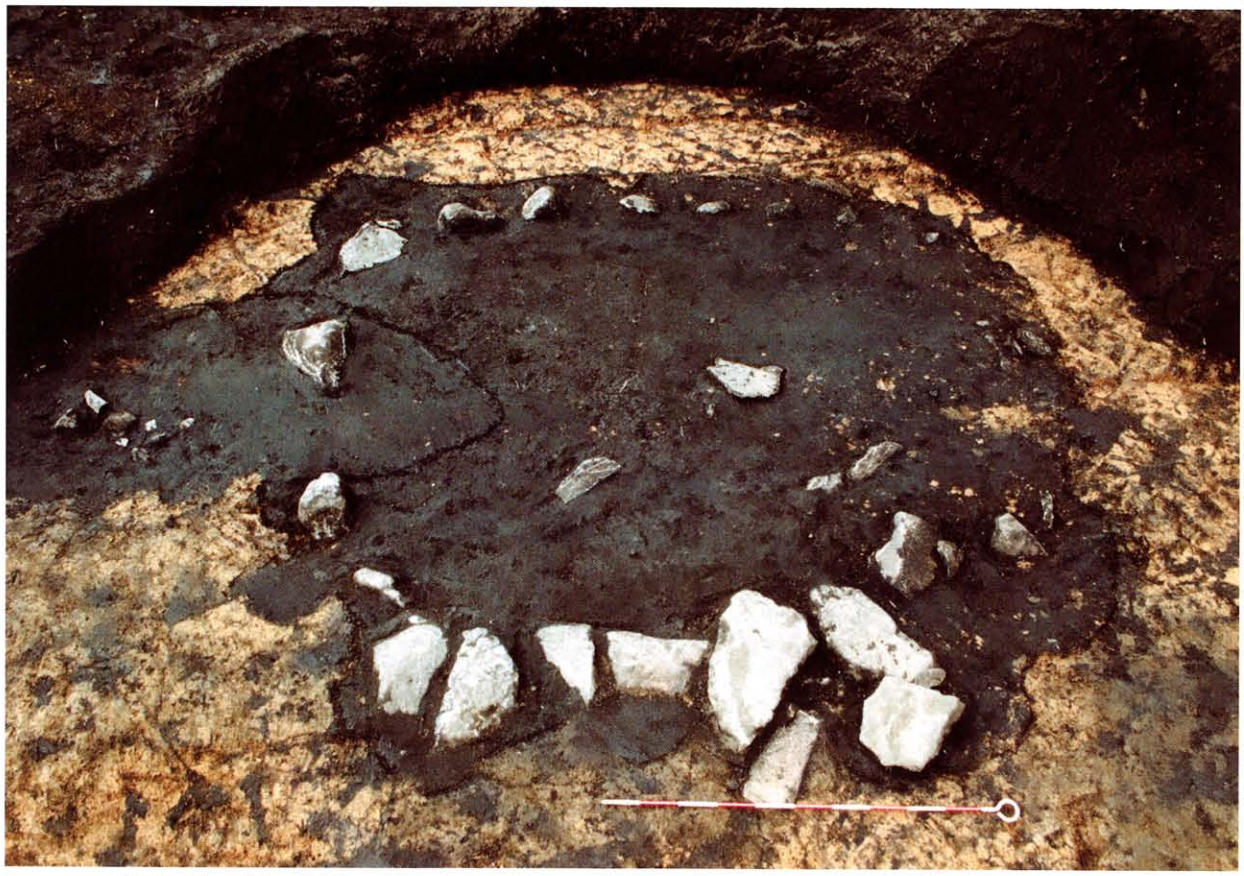


同　上　断面層序（南から）

SK－03　完掘，轡出土状態（南西から）

同　上　（北西から）

SD－01　遺物出土状態（西から，左上はST－114の竪坑）



SI－03　検出状態（東から）

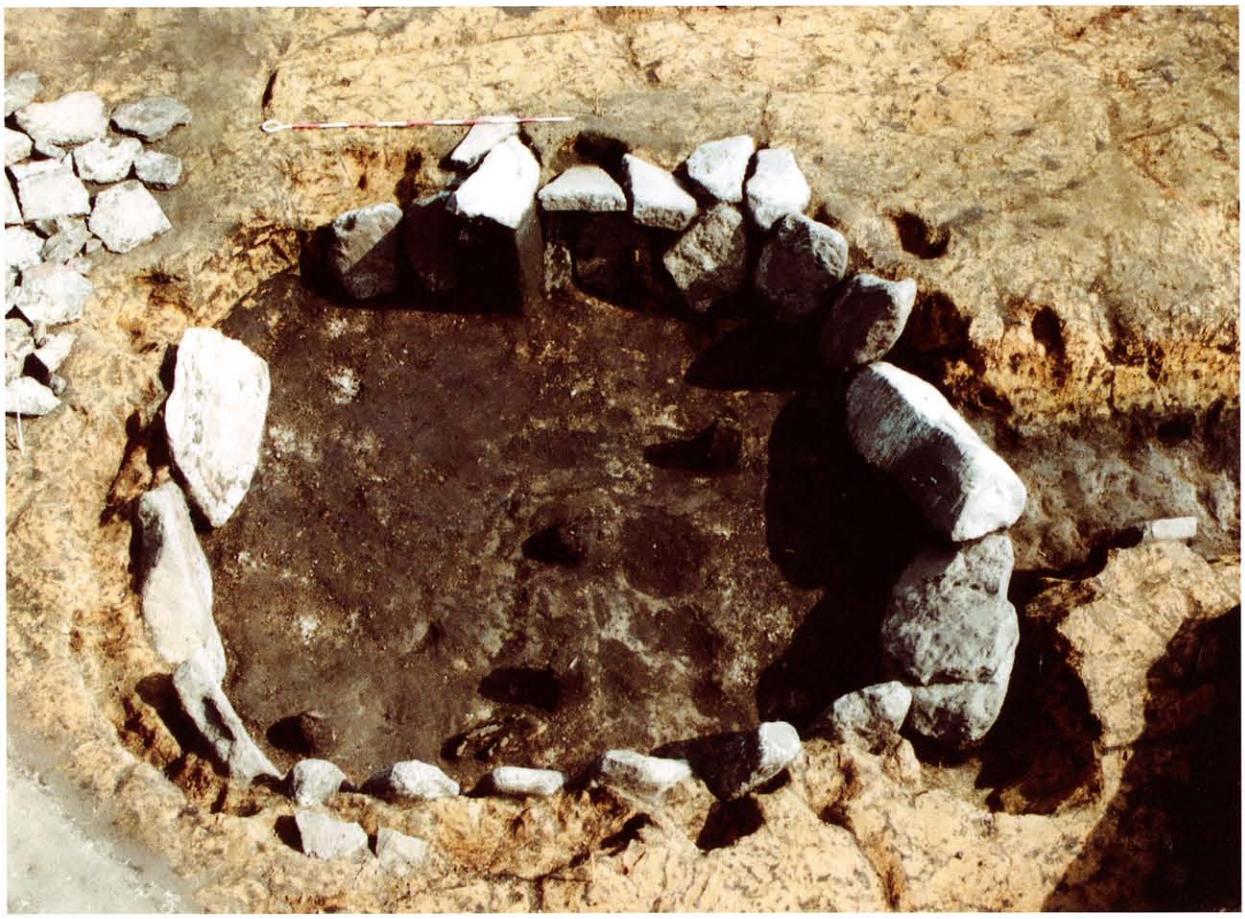
SI－03　掘り下げ，板石片出土状態（北東から）

同　上　（南東から）

SI－03　遺物出土状態（北東から）

同　上　（北西から）

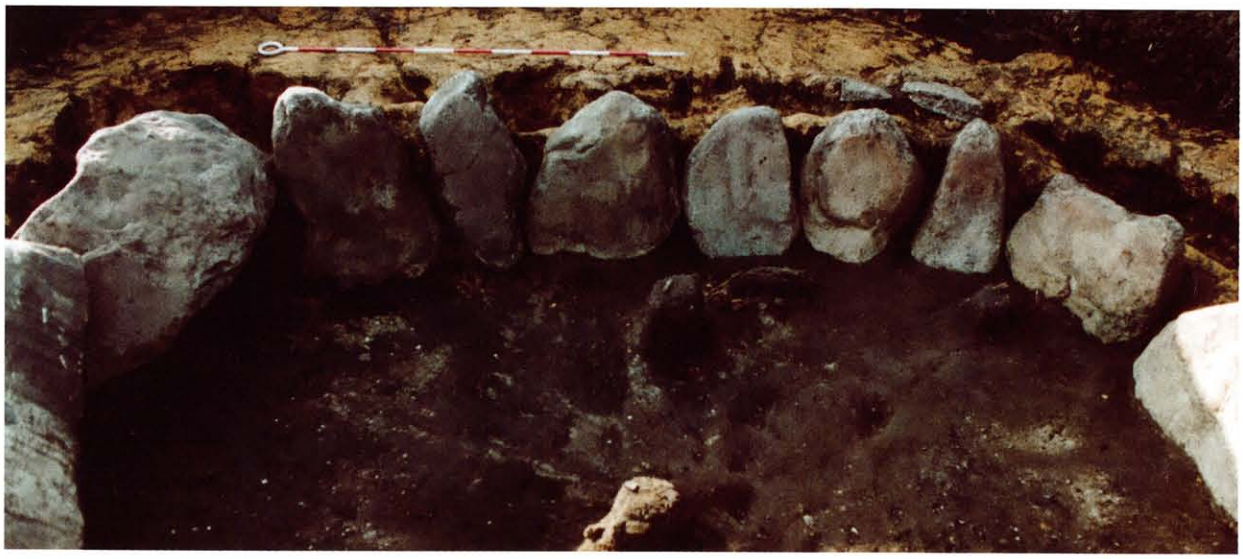
SI－03　遺物出土状態（東から）



同　上　（西から）

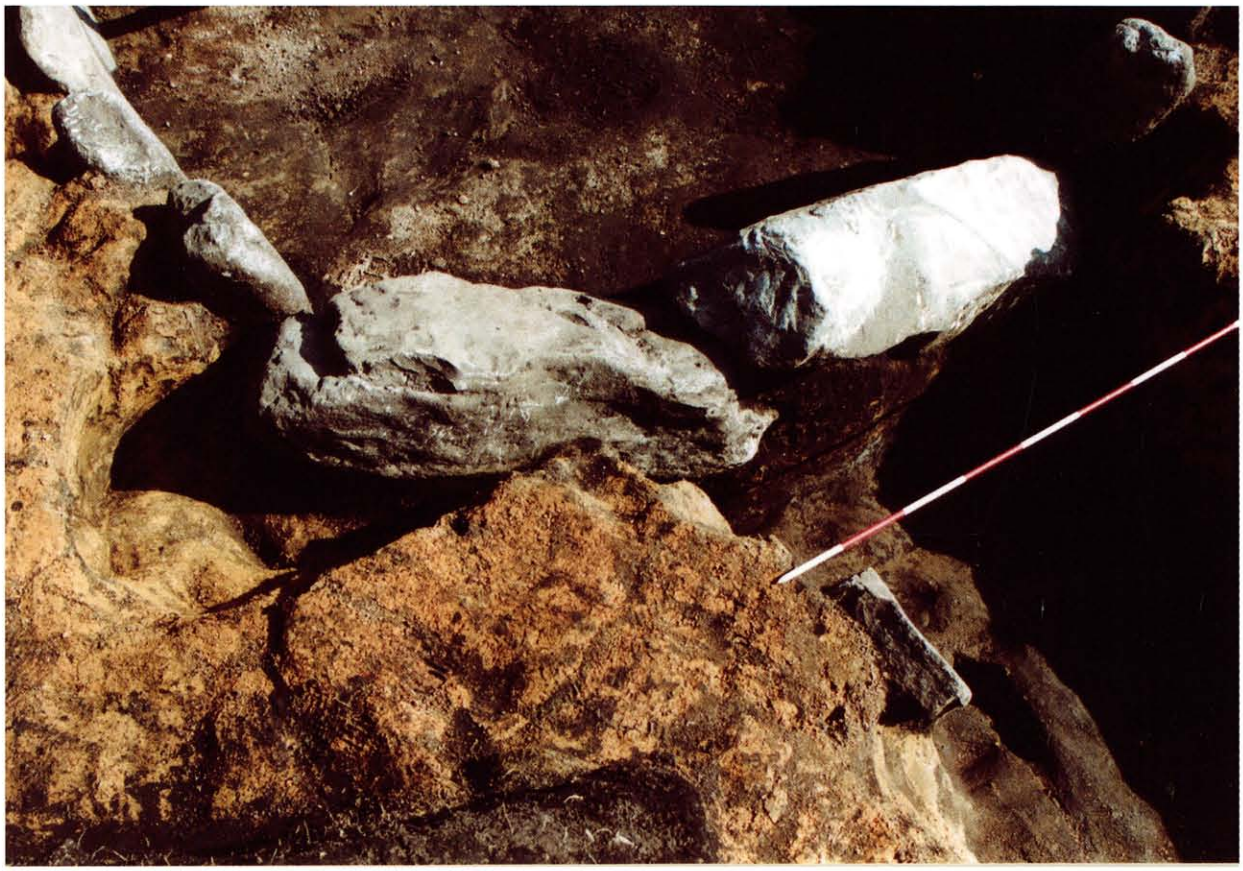
SI－03　奥壁と天蓋の板石（南から，内面に丹塗り）

同　上　東側壁（西から）

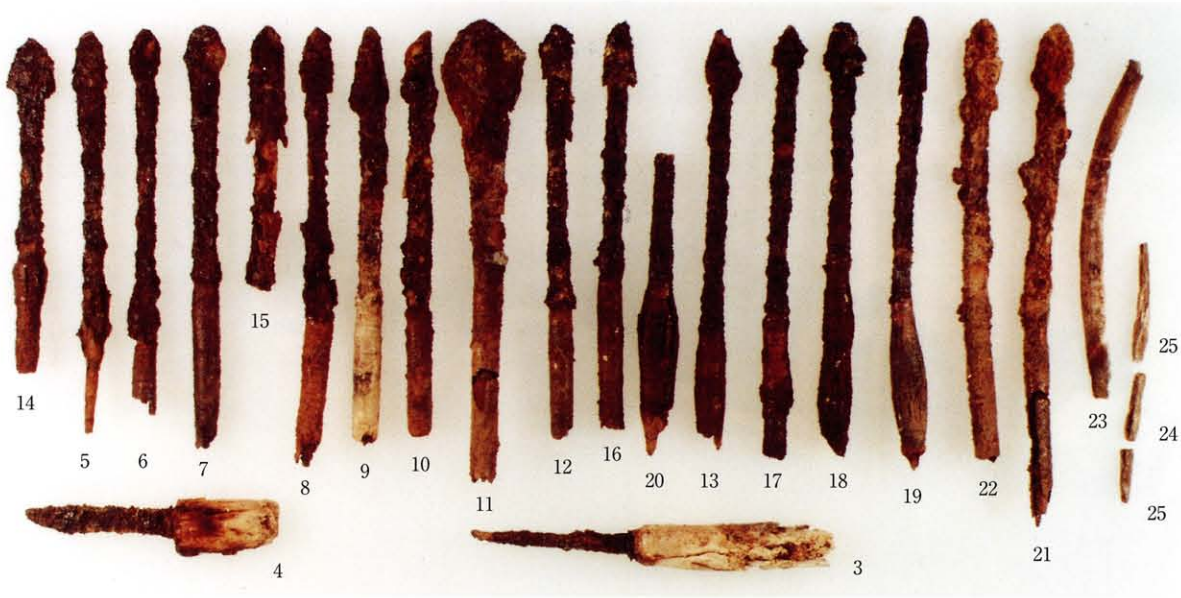


同　上　西側壁（東から）

SI－03　倒れた玄門と南壁（北から）



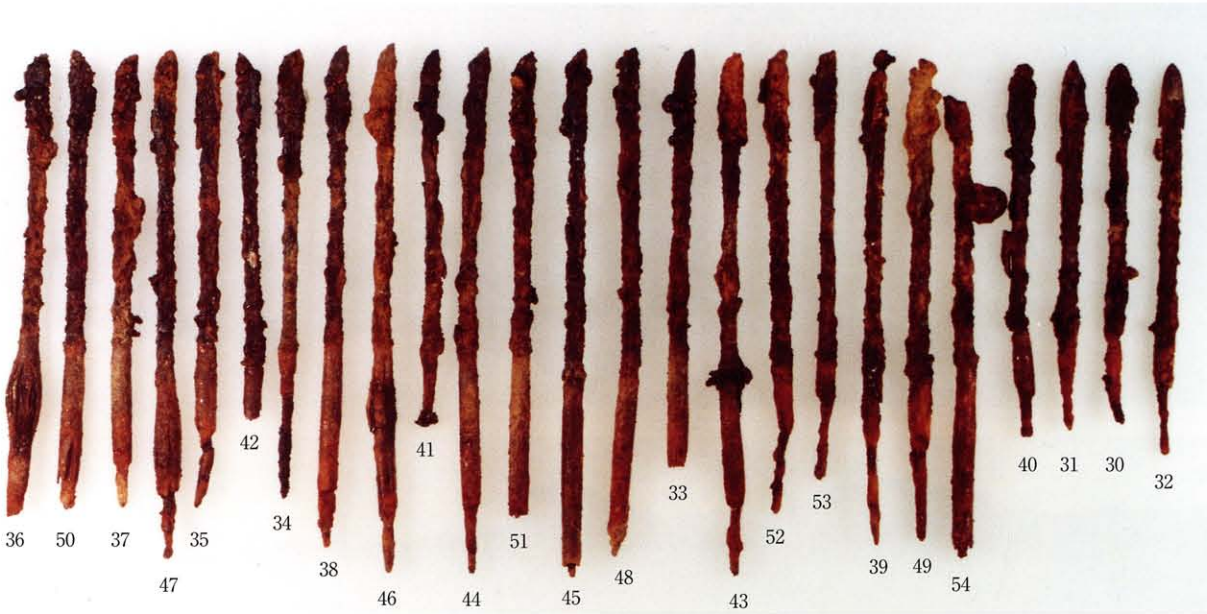
同　上　西南隅の掘形（南西から）



左：１の把部
下：X線

ST－113　出土遺物

56
58
29
57
59
65
60
61
27
28
55
62
63

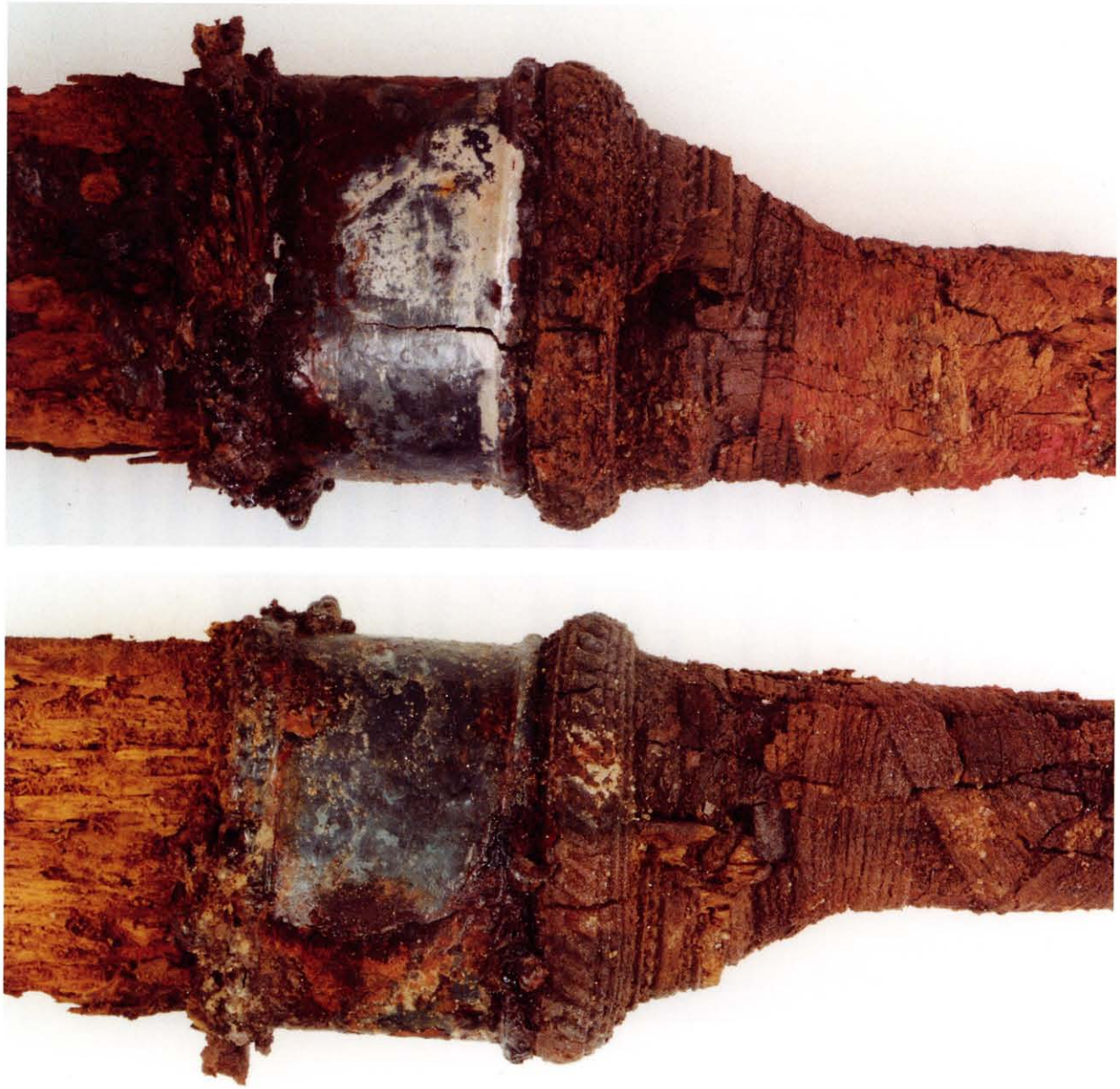

36
50
37
47
35
42
34
38
46
41
44
51
45
48
33
43
52
53
39
49
54
40
31
30
32

68

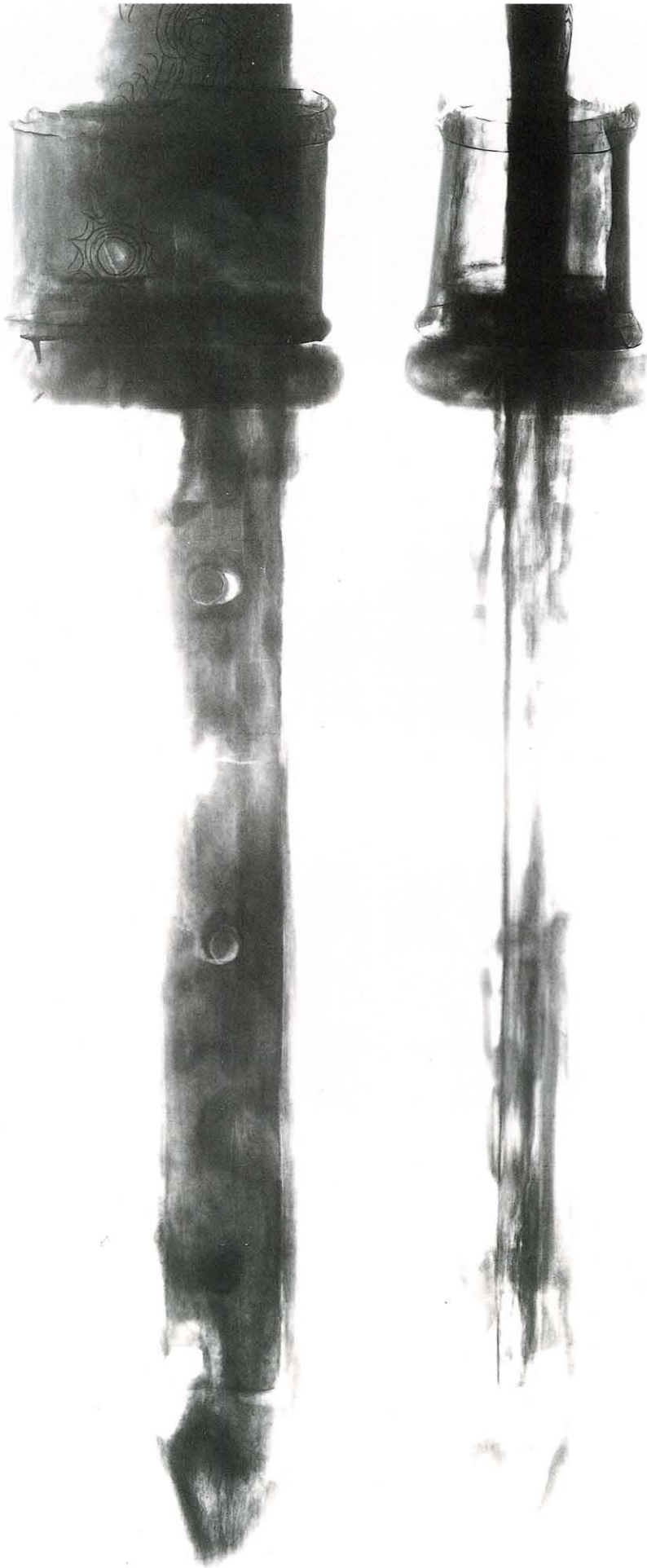
69

ST－114　出土遺物(1)

ST－114　出土大刀　把部



同　上　接写

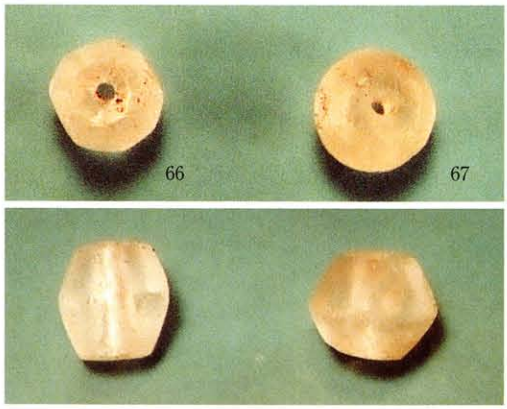


両面に龍虎と日輪の象嵌。
龍虎の頭部は複雑であり
この写真での分離は困難。

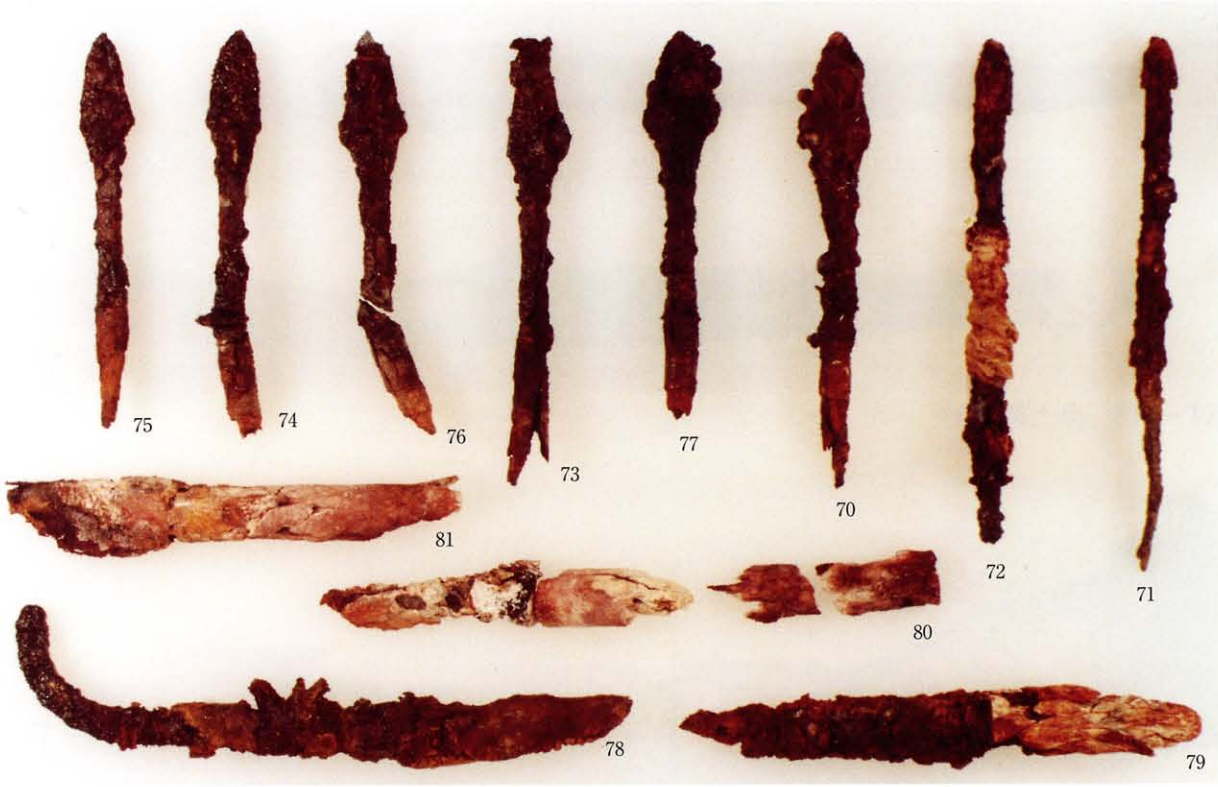
ST－114　出土大刀（69）のX線写真（1/1）

ST－114　出土大刀（69）の鹿角製鞘尻

ST－114　出土遺物(2)



同　上　(3)



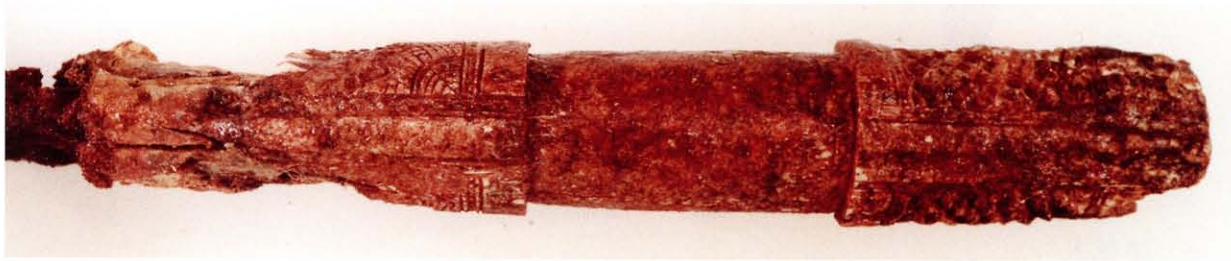
78 拡大

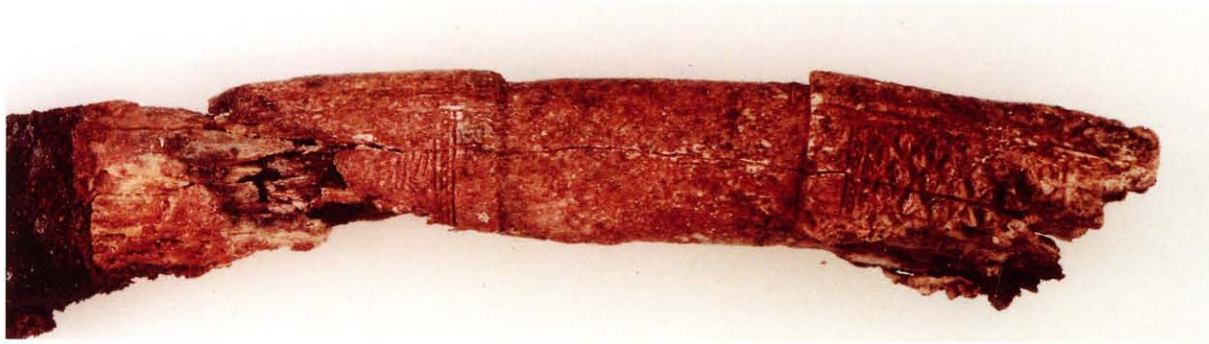
83

ST－115　出土遺物(1)

83 の把部

ST－115　出土遺物(2)





84 の把部　展開

ST－115　出土遺物(3)

85右側面

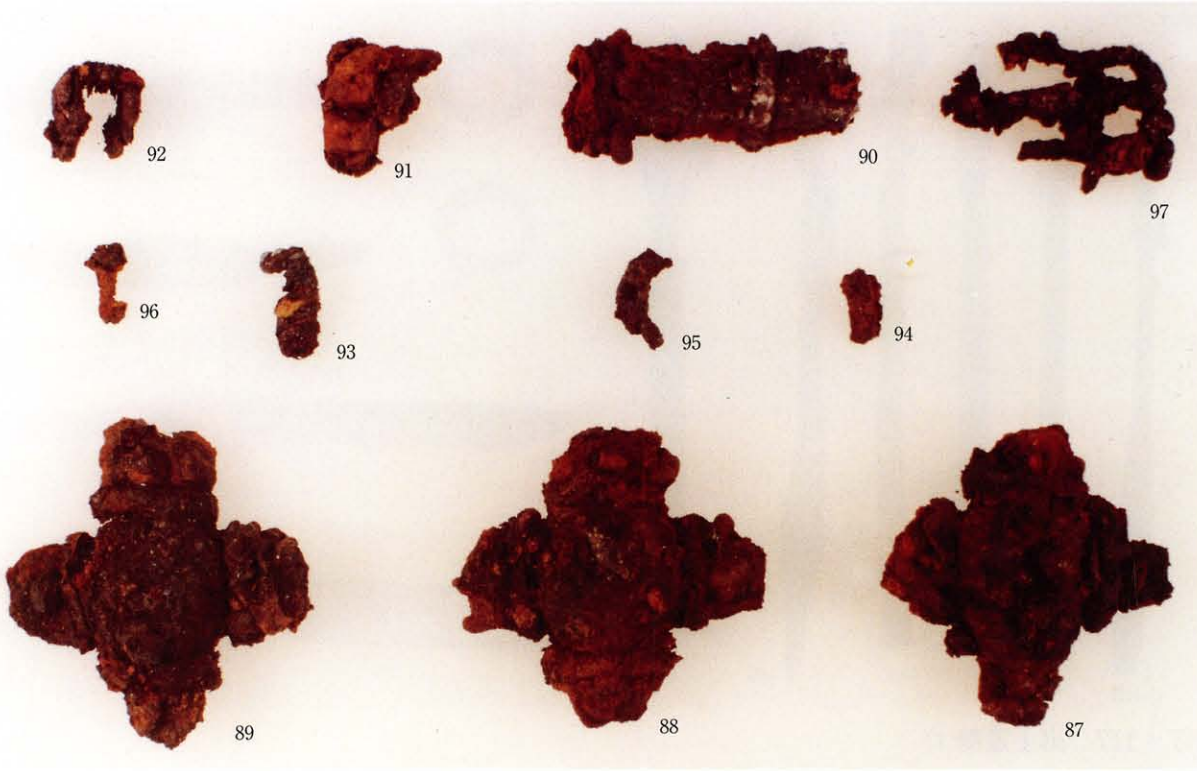
同上　内面

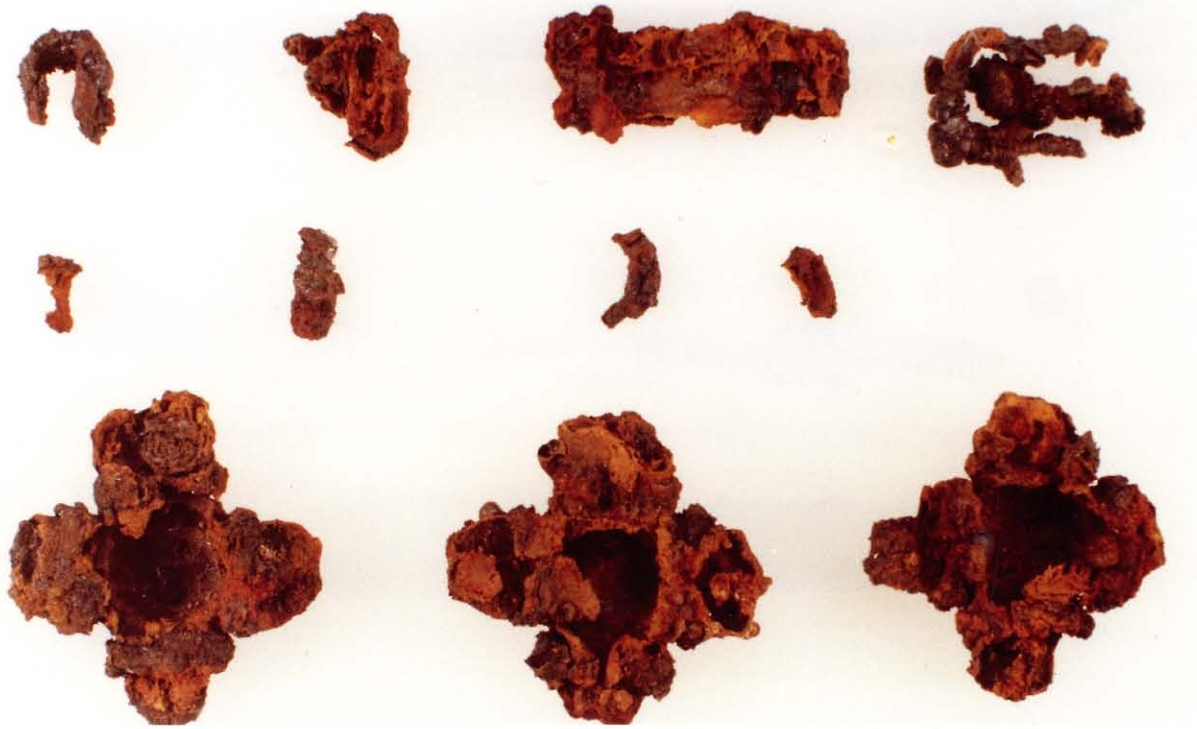
85　右側面　鐔の革覆輪と紐

同　上　左側面

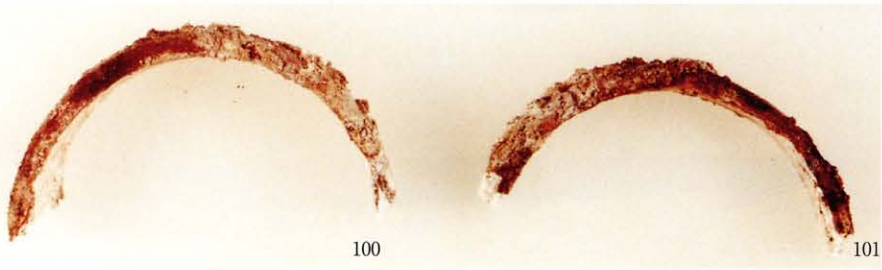
ST－115
出土遺物(4)
轡

同　上　(5)
錫製耳環

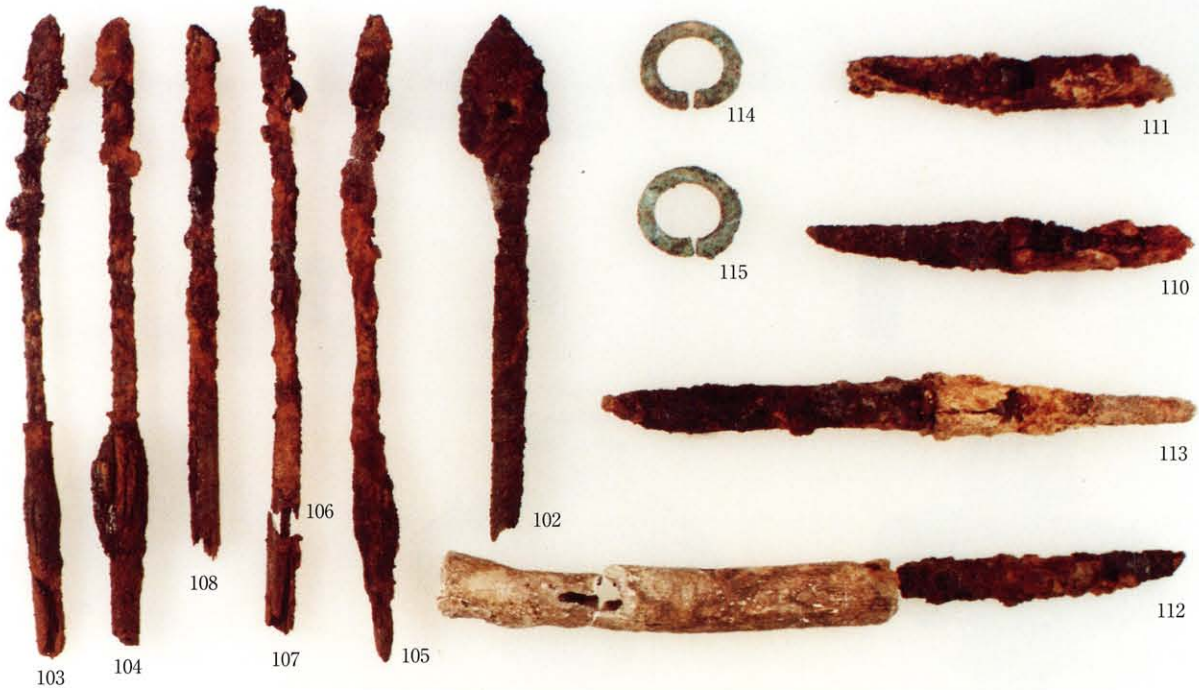




ST－115　出土遺物(6)　辻金具ほか



同　上　(7)　貝釧

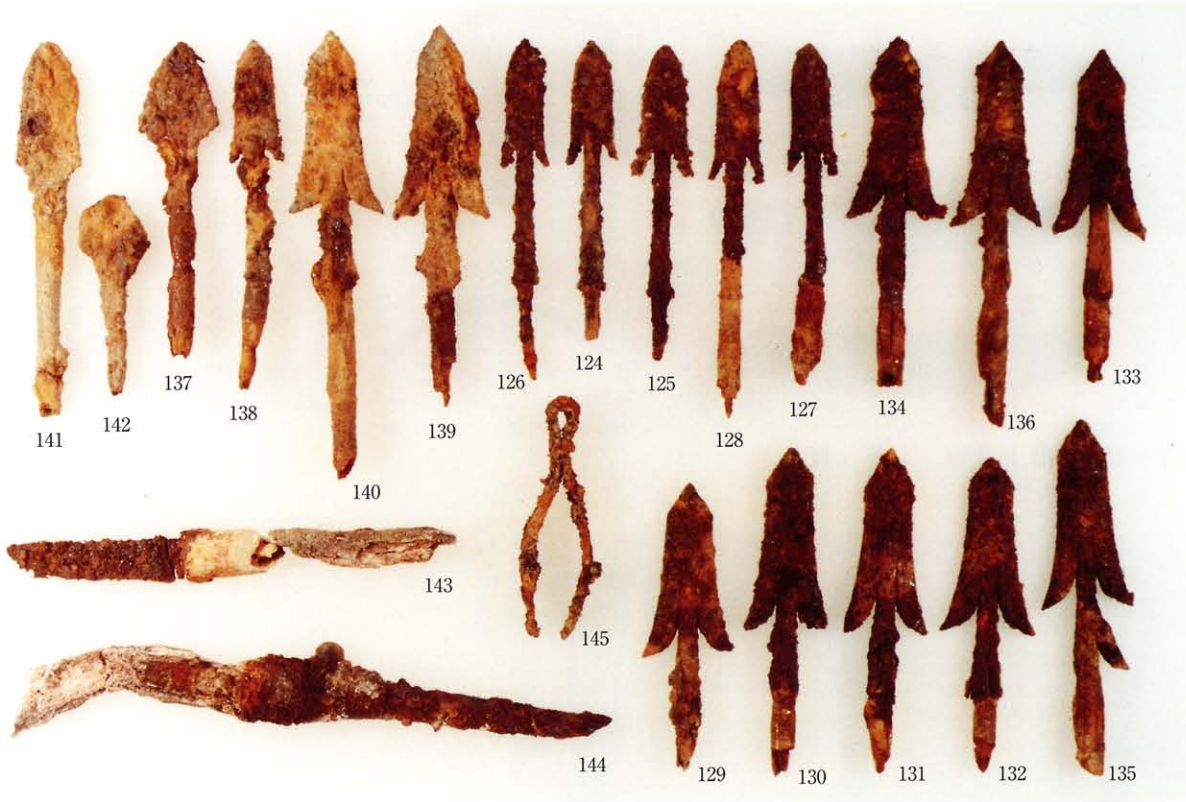


ST－117　出土遺物(1)

同　上　出土遺物(2)

ST－118　出土遺物(1)　　下：側面

ST－118
出土遺物(2)

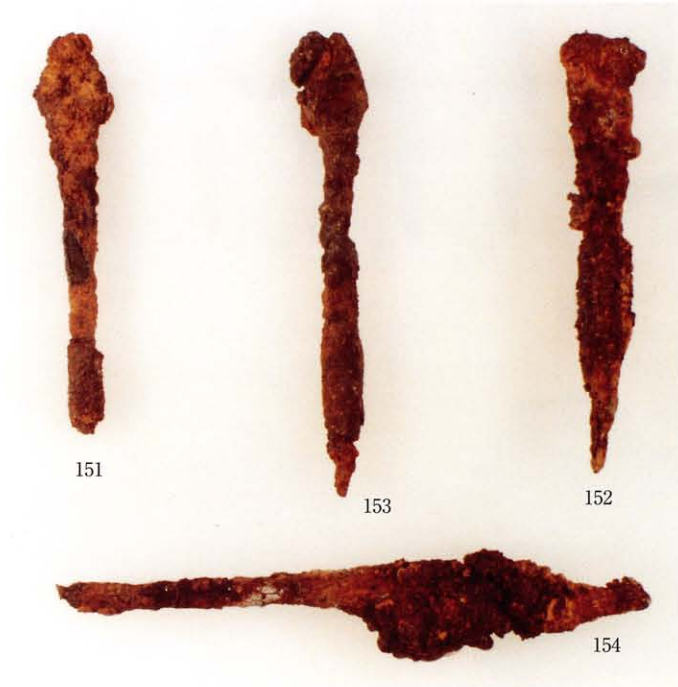


ST－119　出土遺物(1)

144の茎部　ハエ蛹殻

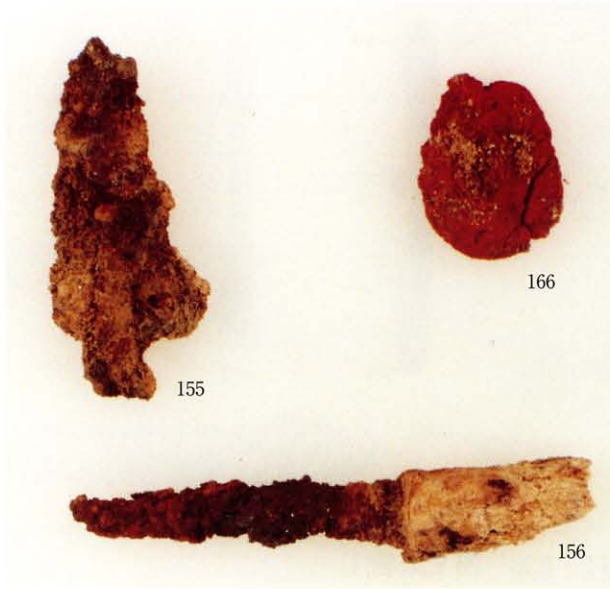
ST－119　出土遺物(2)　　下：把部拡大

ST－120　出土遺物　　下：反転

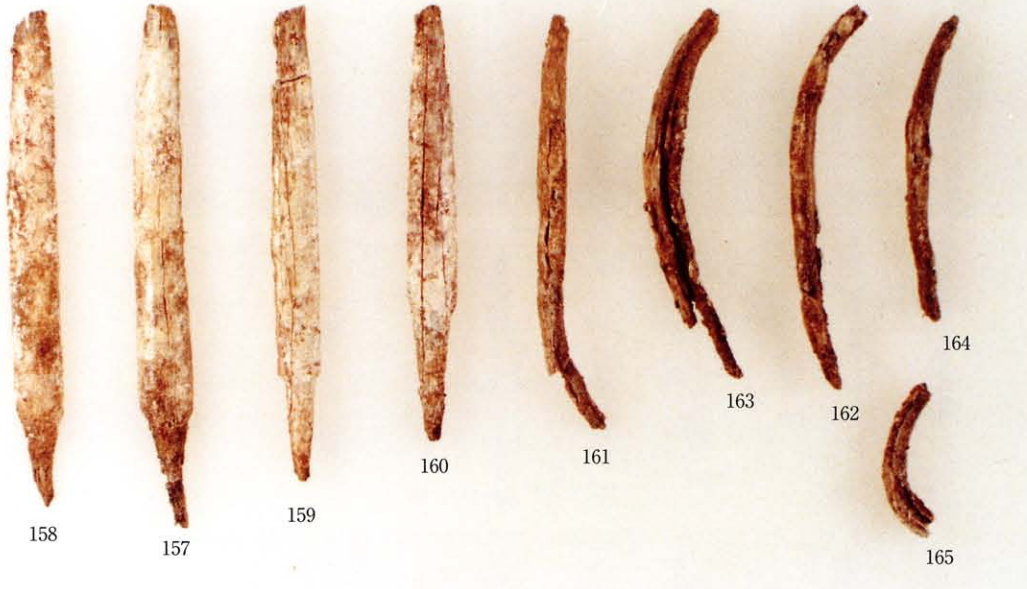


ST－121　出土遺物

ST－122
出土遺物(1)



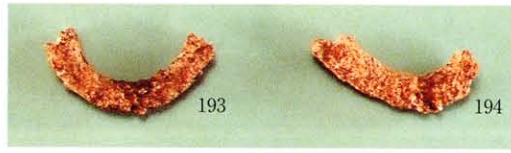
同　上　(2)



ST－123　出土遺物(1)

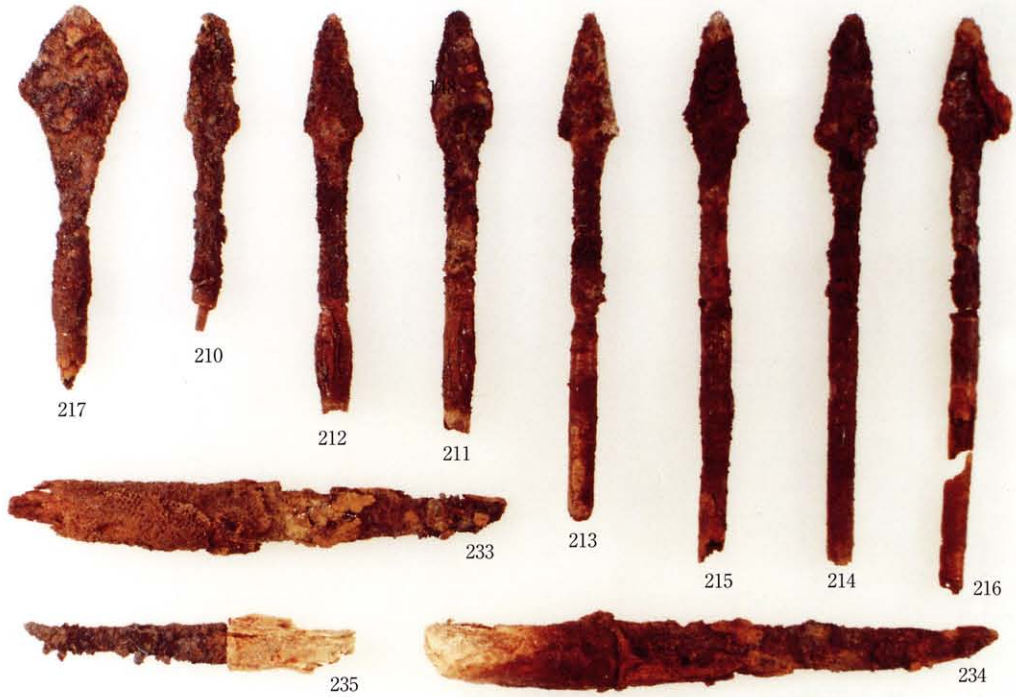
同　上　(2)

同　上　(3)
錫製耳環



ST－124　出土遺物(1)

205
茎部
布
接写



同　上　(2)

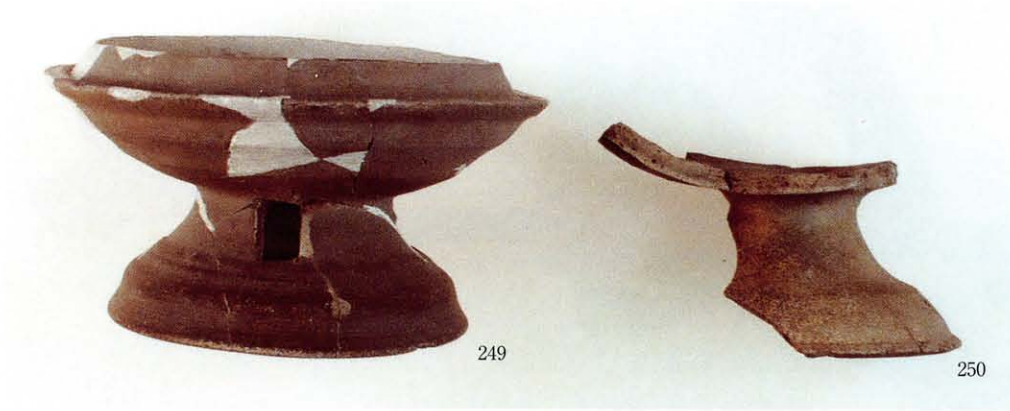
233の柄部　布　接写

ST－124　出土遺物(3)　　232・236以外は一括

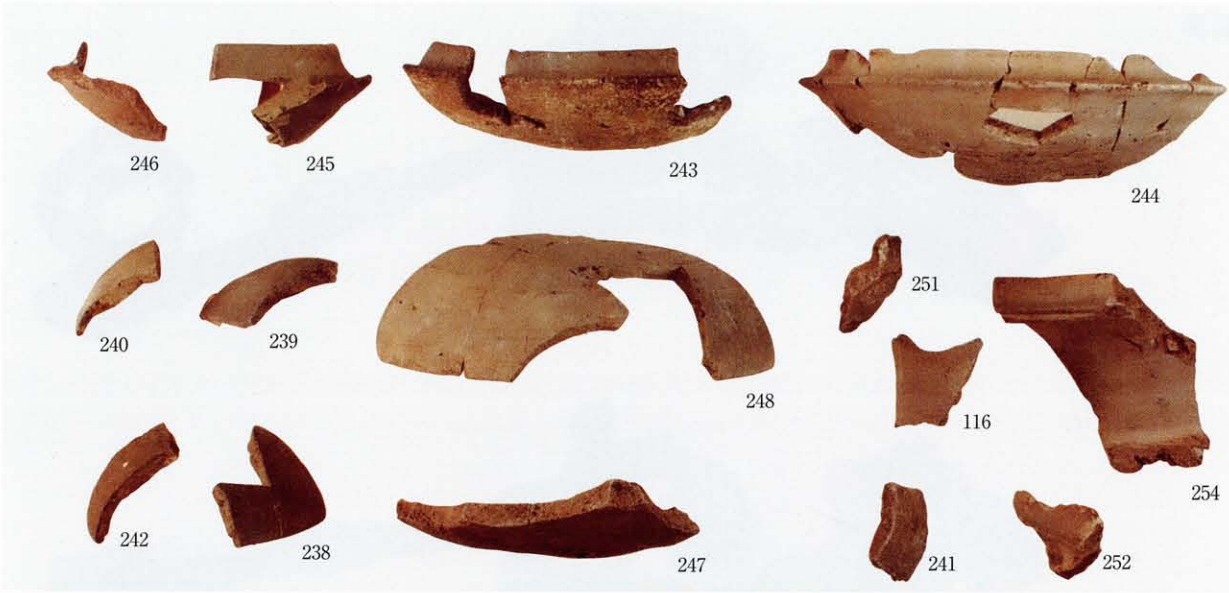
SK－03
出土
轡

237

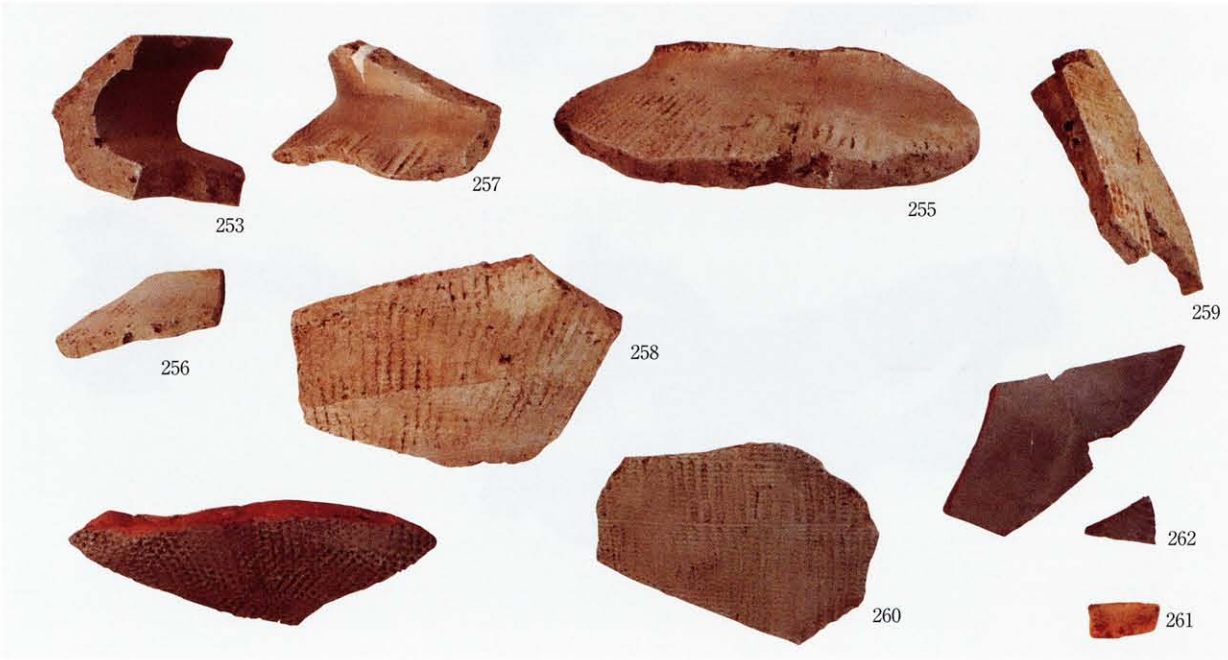
展開



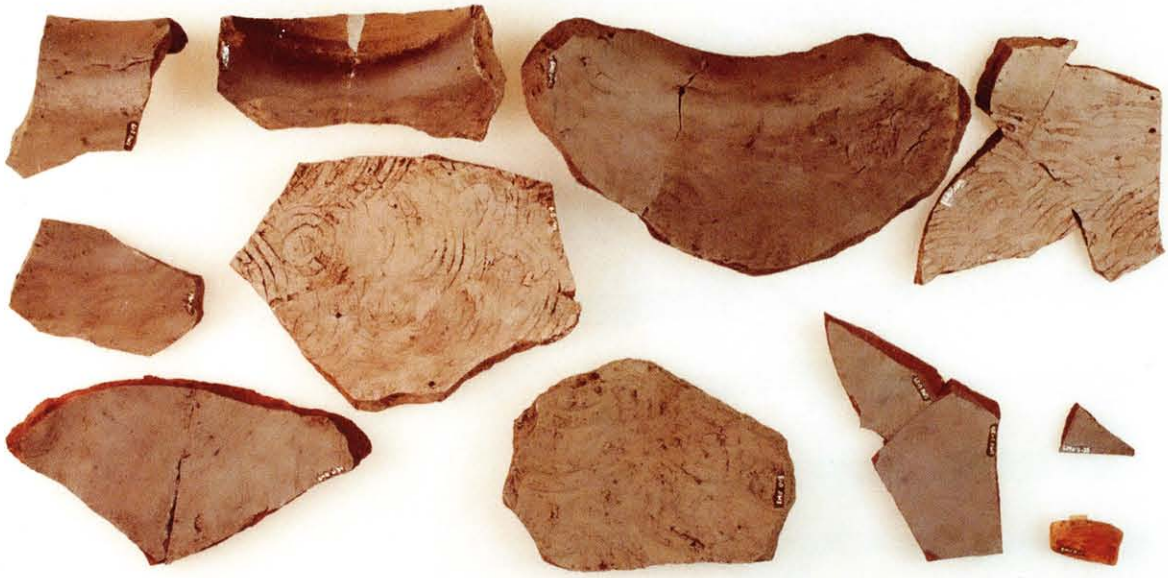
SD－01
出土遺物(1)



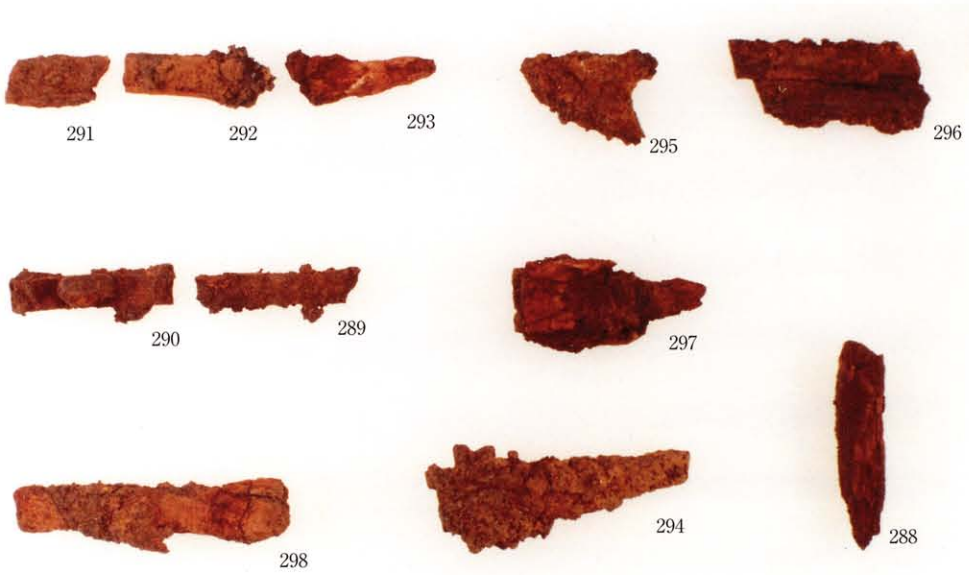
SD－01　出土遺物(2)，ST－117・Ⅰ層出土遺物　　116：ST－117　　241・252：Ⅰ層



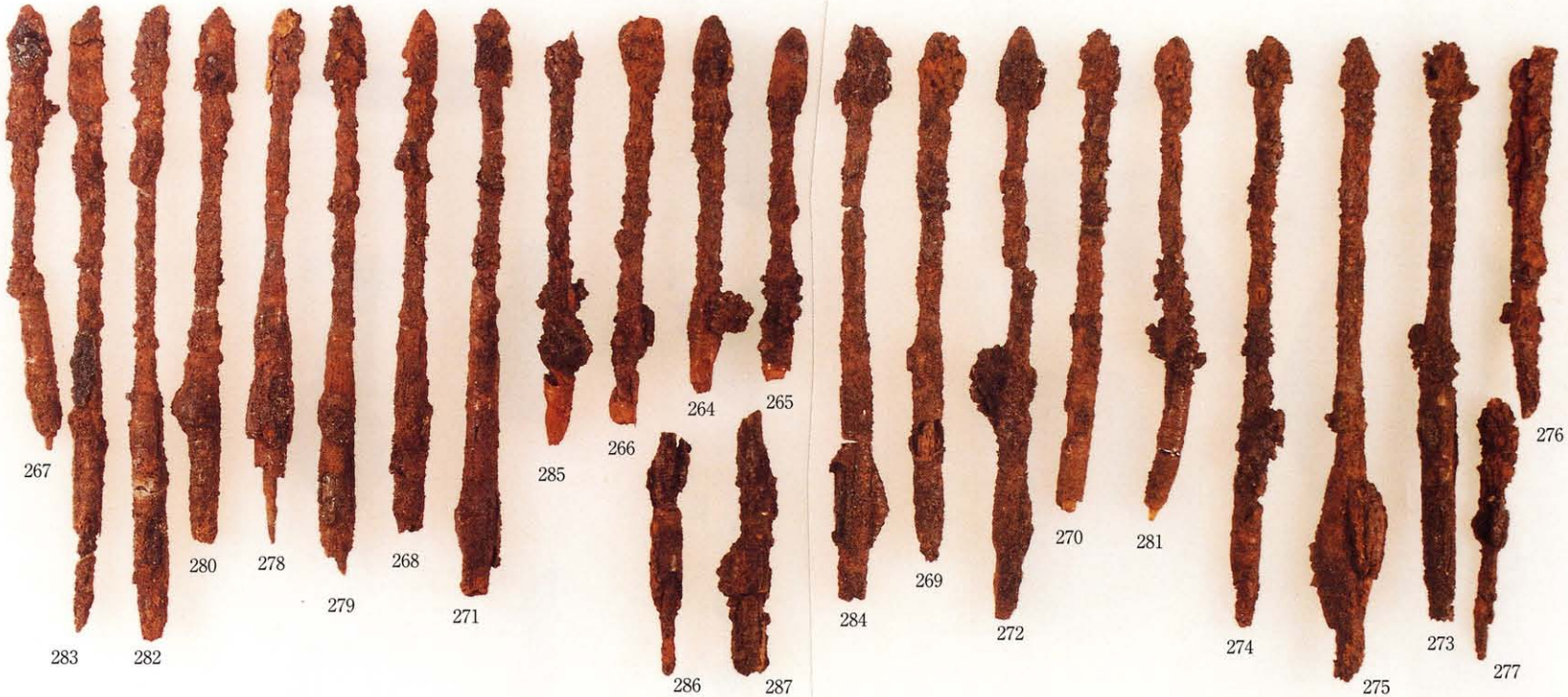
SD－01　出土遺物(3)，SI－03　出土遺物(1)（右下３点）　　外面



図版90－下　　内面



SI－03　出土遺物(2)


267
283
282
280
278
279
268
271
285
266
264
265
286
287
284
269
272
270
281
274
275
273
277
276

SI－03　出土遺物(3)

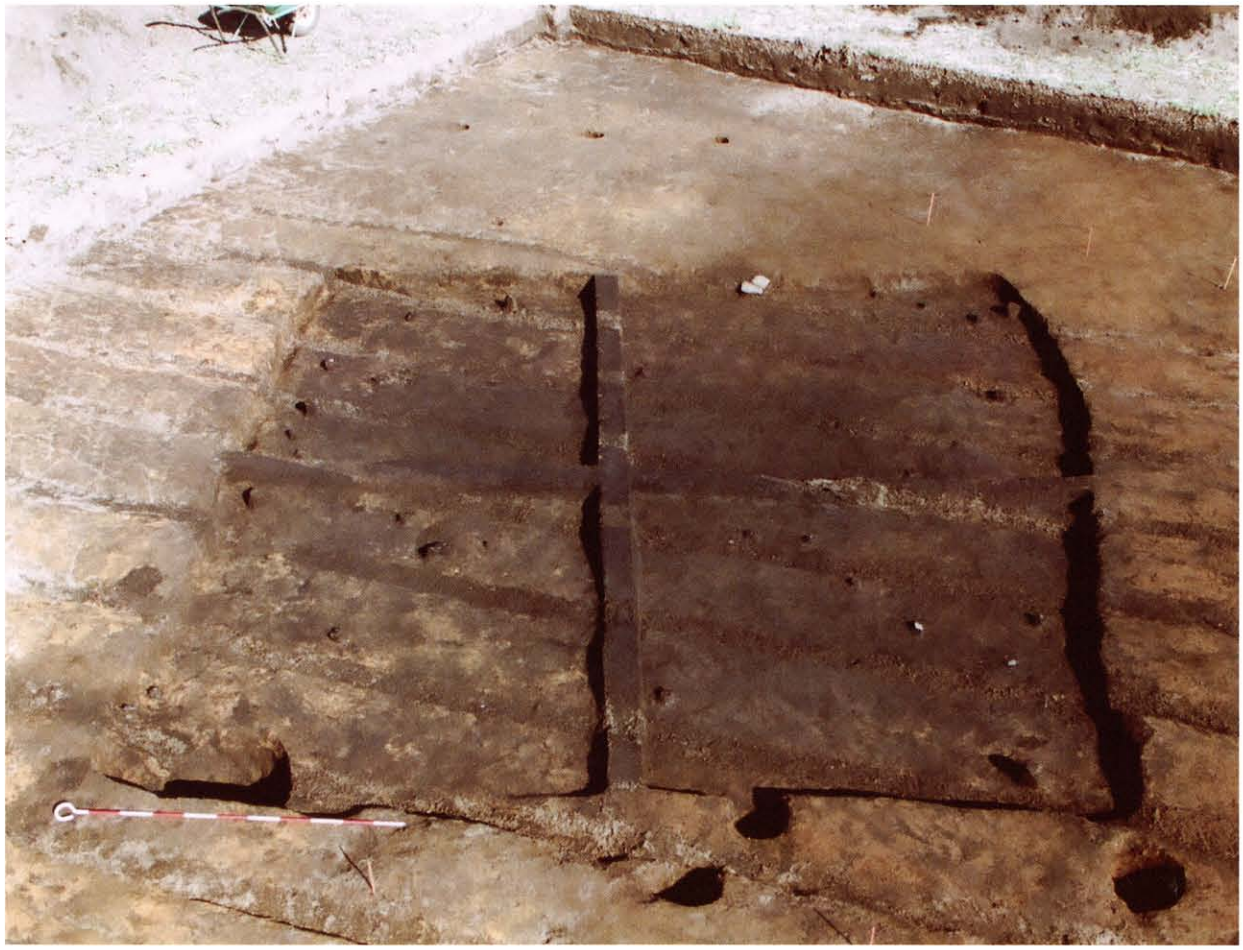
岡元遺跡
写真図版

調査地近景（南東から）

図版 2

調査地近景（北東から）

Ⅳ a 層上面　SA－01　検出状態（西から）

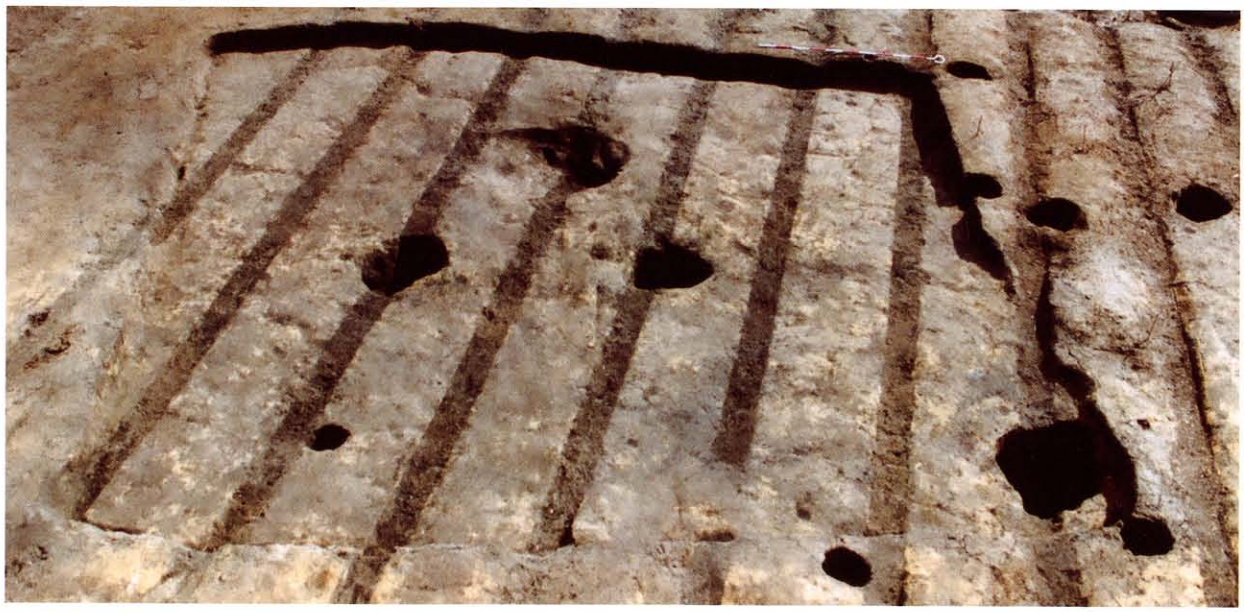


同　上　　遺物出土状態（西から）

図版４

SA－01　断面層序（西から）

同　上　土坑内　遺物出土状態（南から）



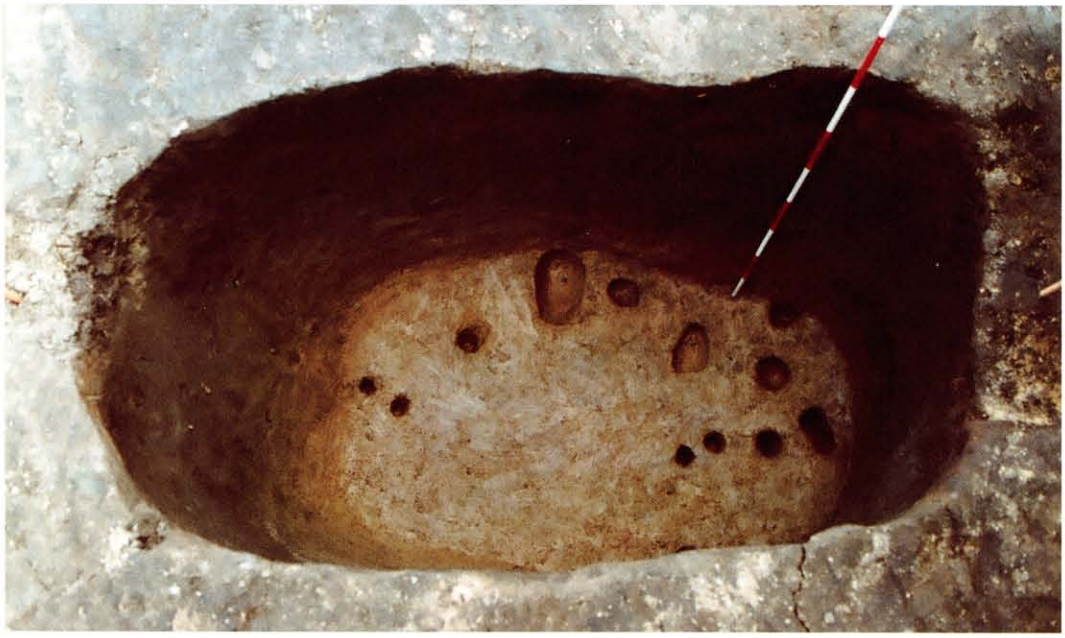
同　上　完掘状態（西から）

Ⅳ a 層　遺物出土状態（南東から）

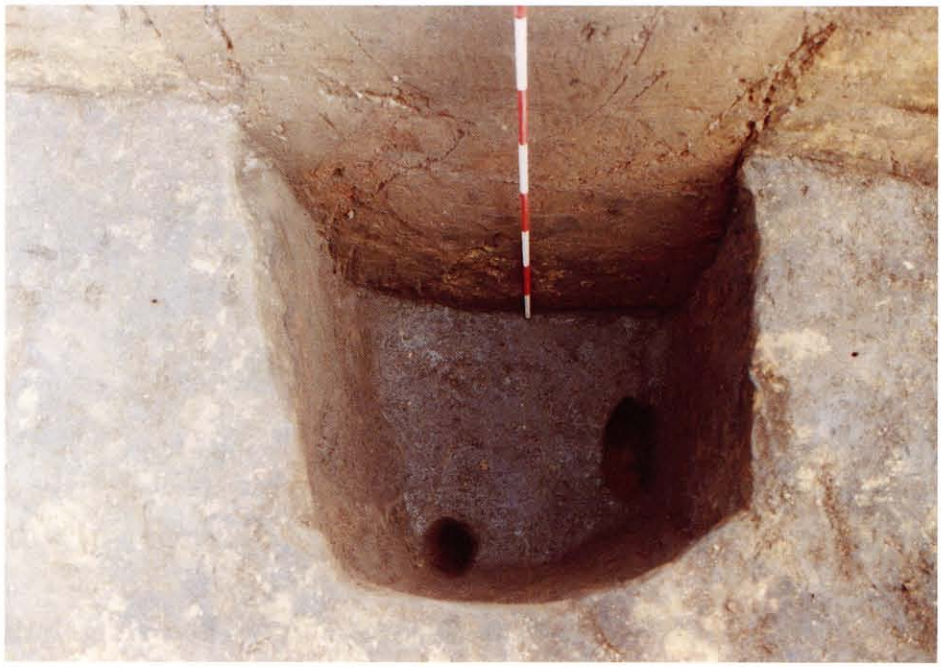
同　上　南半部　　手前中央にSK－01

図版 6

SK－01
断面層序
（北西から）



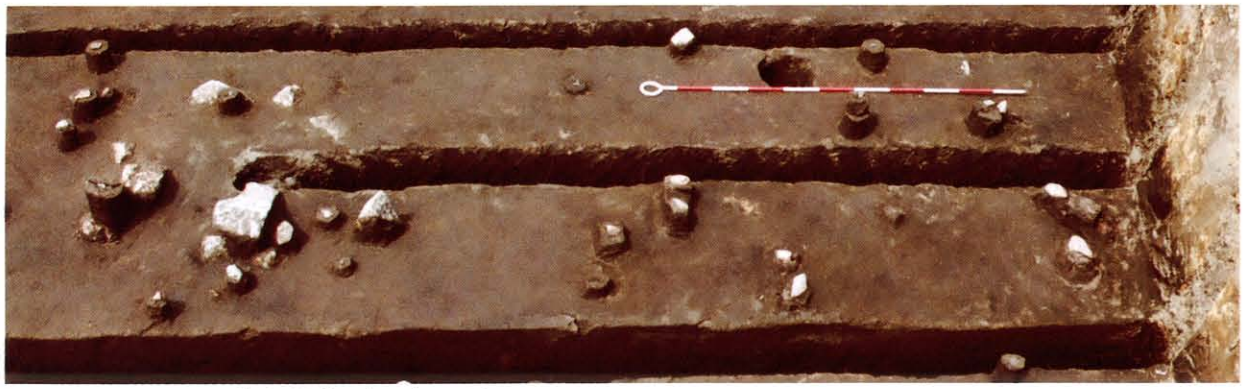
同　上
完　掘



SK－02
完掘
（北西から）

Ⅵ層　遺物出土状態（北東から）

同　上　（北西から）



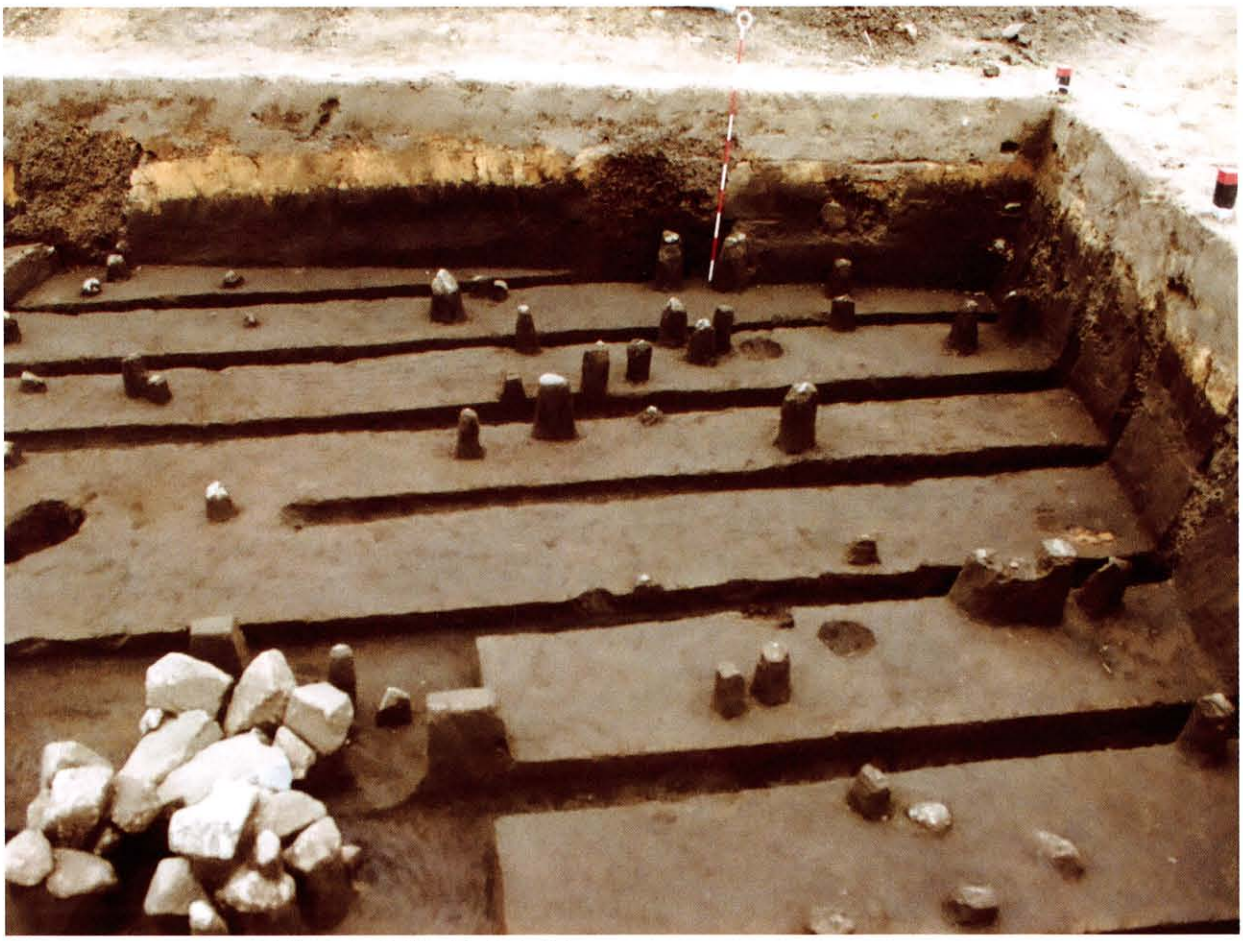
同　上・SS－01　検出状態（北東から）

図版８

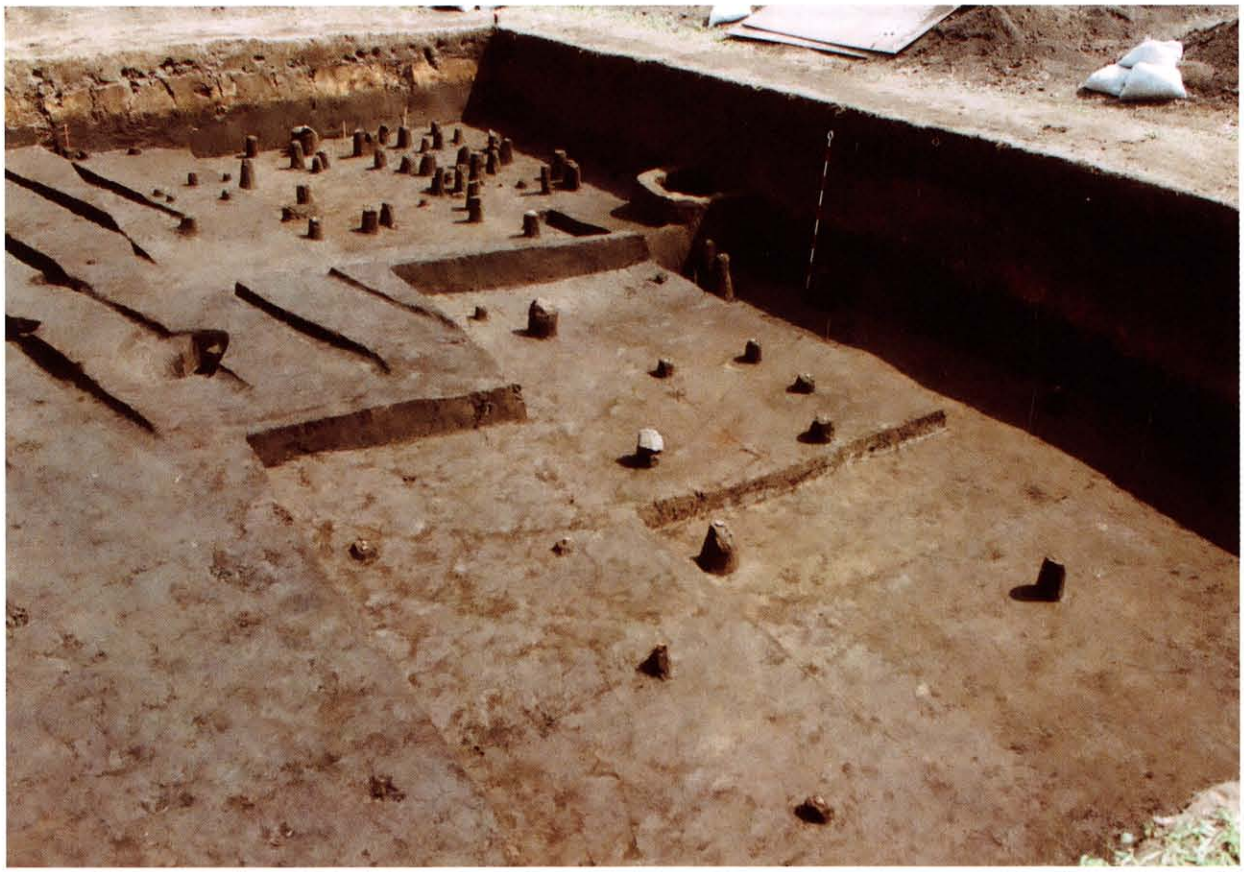
SS－01
断面層序
（西から）

同　上
石組・周辺遺
物出土状態
（北東から）

同　上
（南西から）



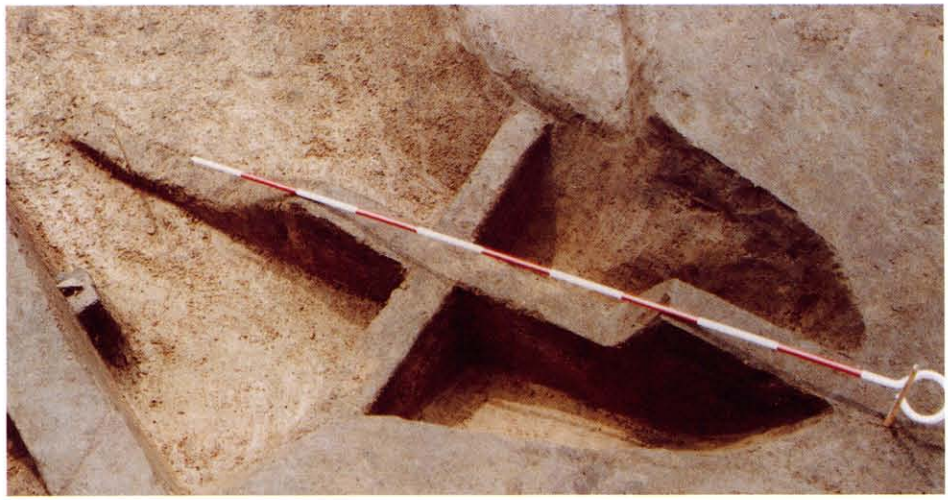
北西部　Ⅵ～Ⅶ層　遺物出土状態（南東から）



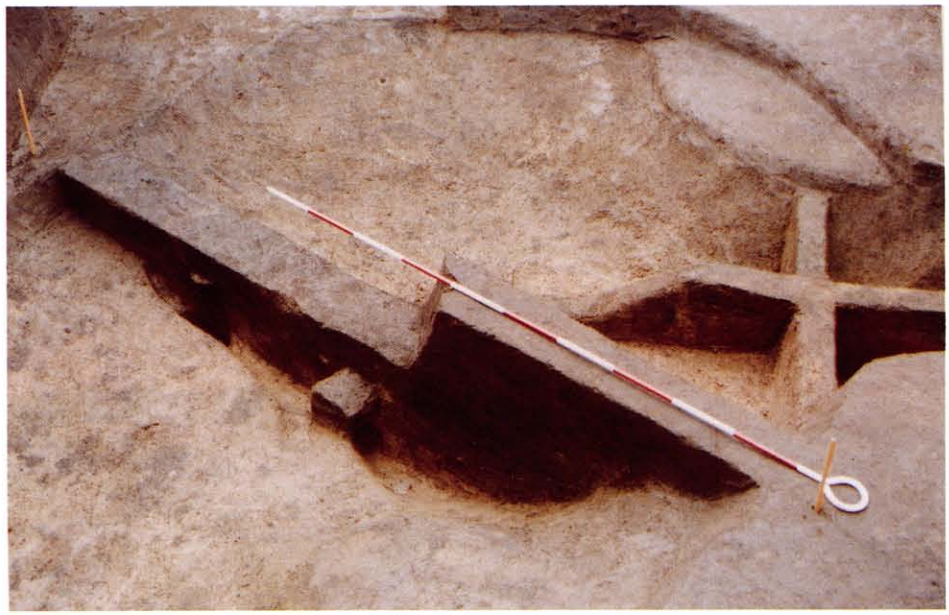
北東部　Ⅵ～Ⅶ層　遺物出土状態（南西から）

SK－04　遺物出土状態（西から）

同　上　南半部



SK－04　断面A（北東から）

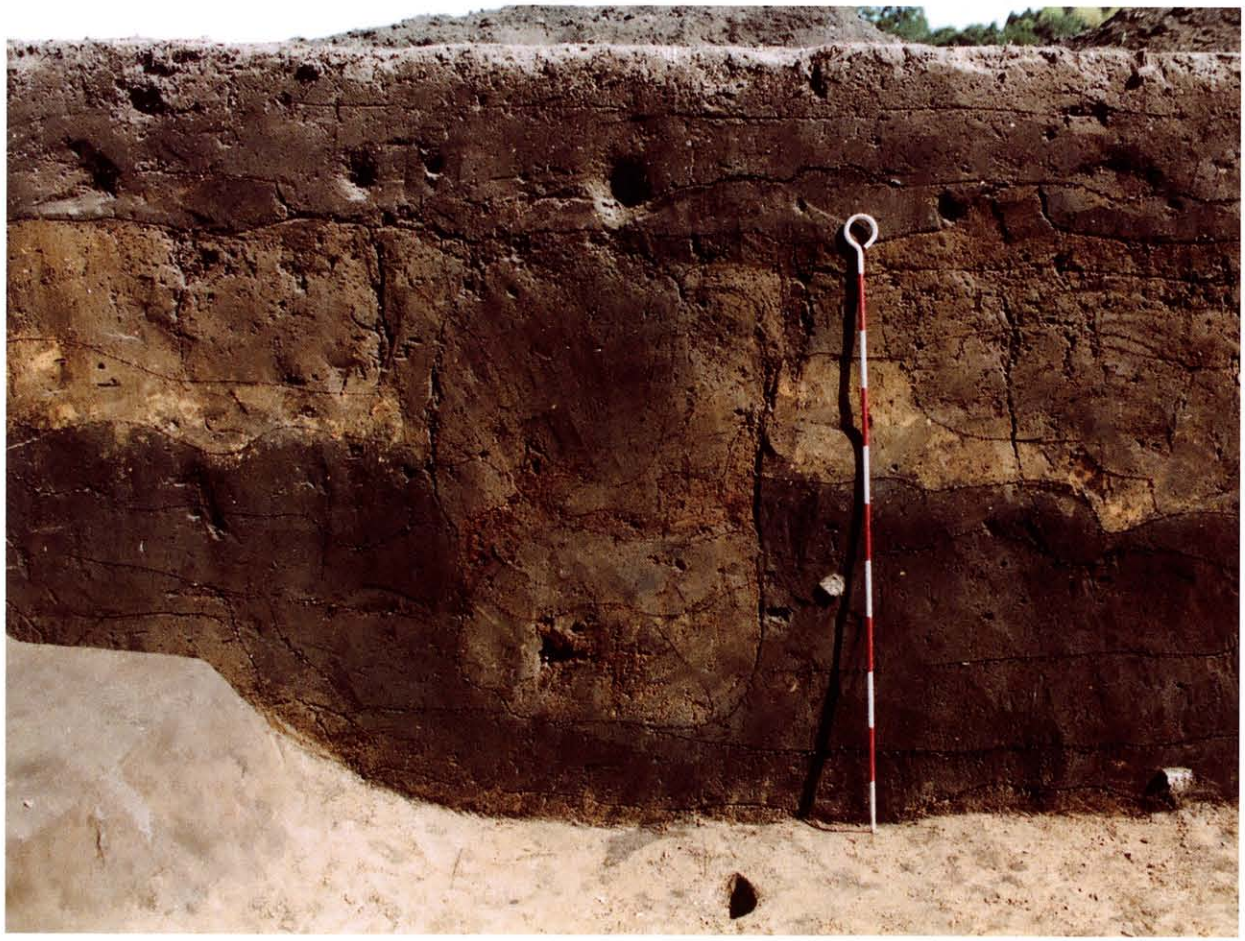


同　上　断面B（北東から）

同　上
断面C
（北東から）

図版 12

SK－04　完掘・東壁層序（北西から）

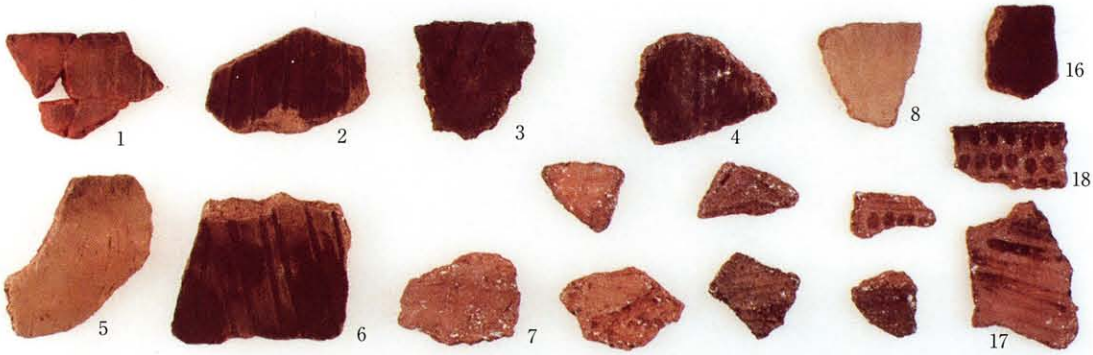


SK－02　断面層序（北西から）

東壁層序（北から）

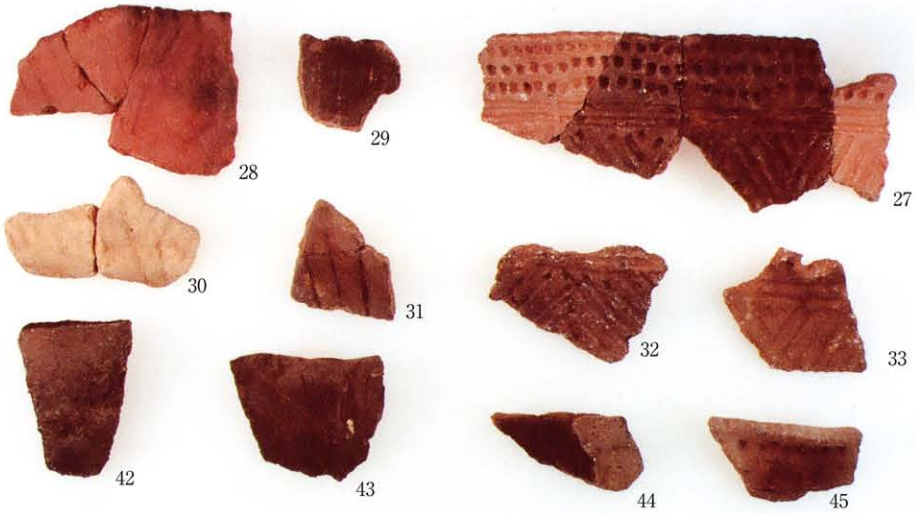
同　上　東南部

図版14



Ⅰ層・
SA－01
出土
縄文土器
外面
右端３点
：SA－01

同　上
内面



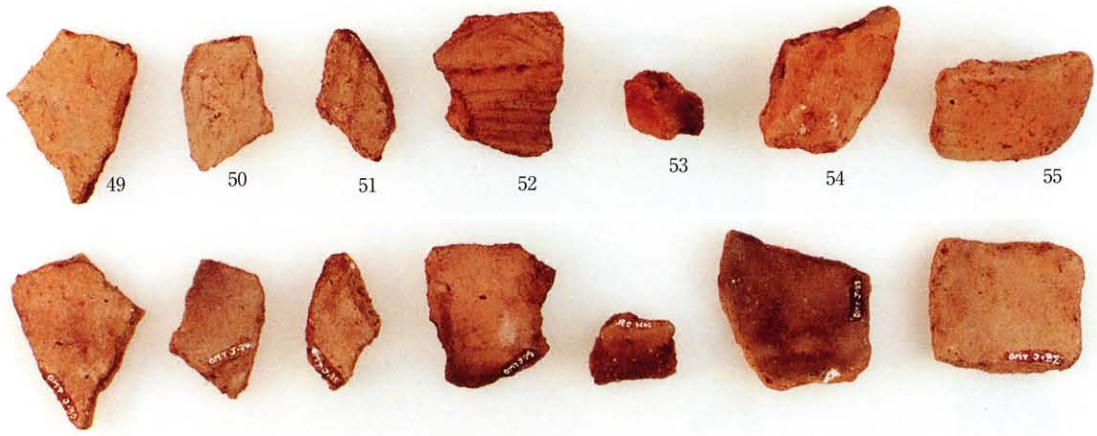
Ⅳa1・a2層出土
縄文土器
外面

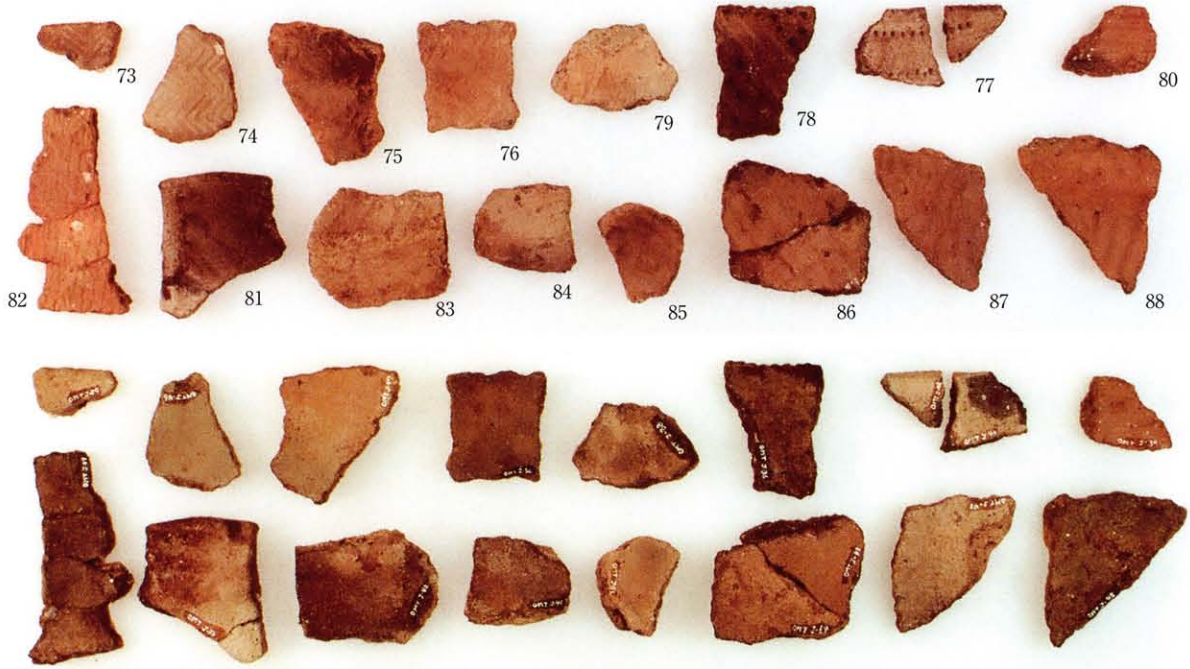
下段：Ⅳa2層

同　上
内面

Ⅵ層
出土
縄文
土器
外面

内面

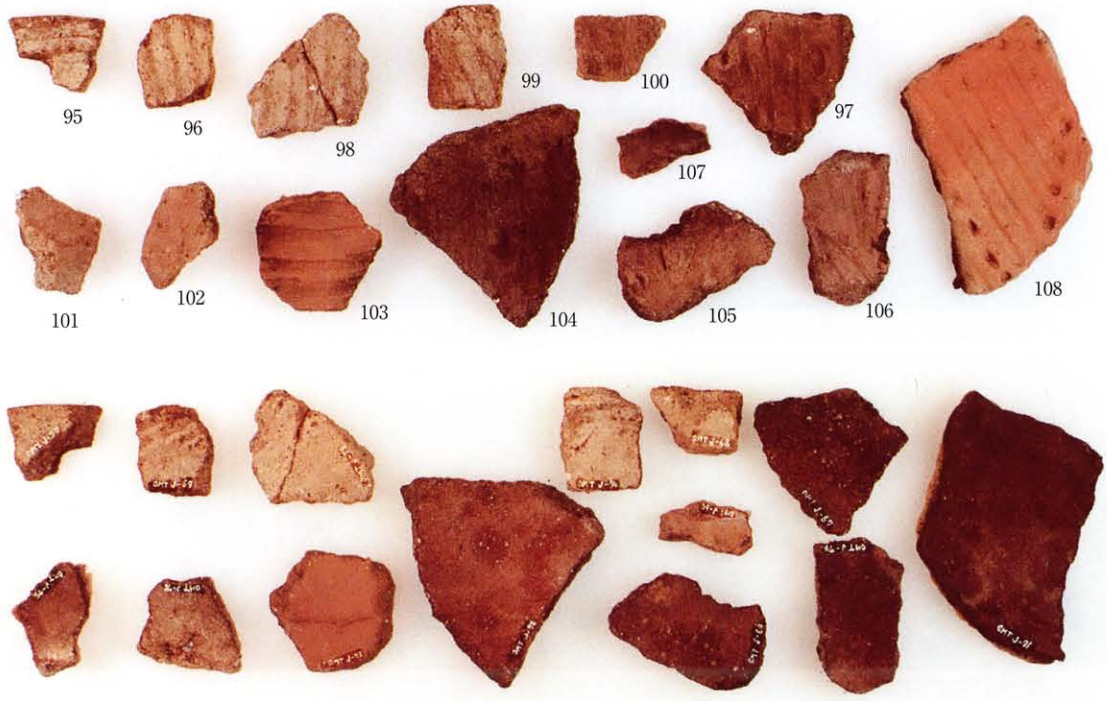




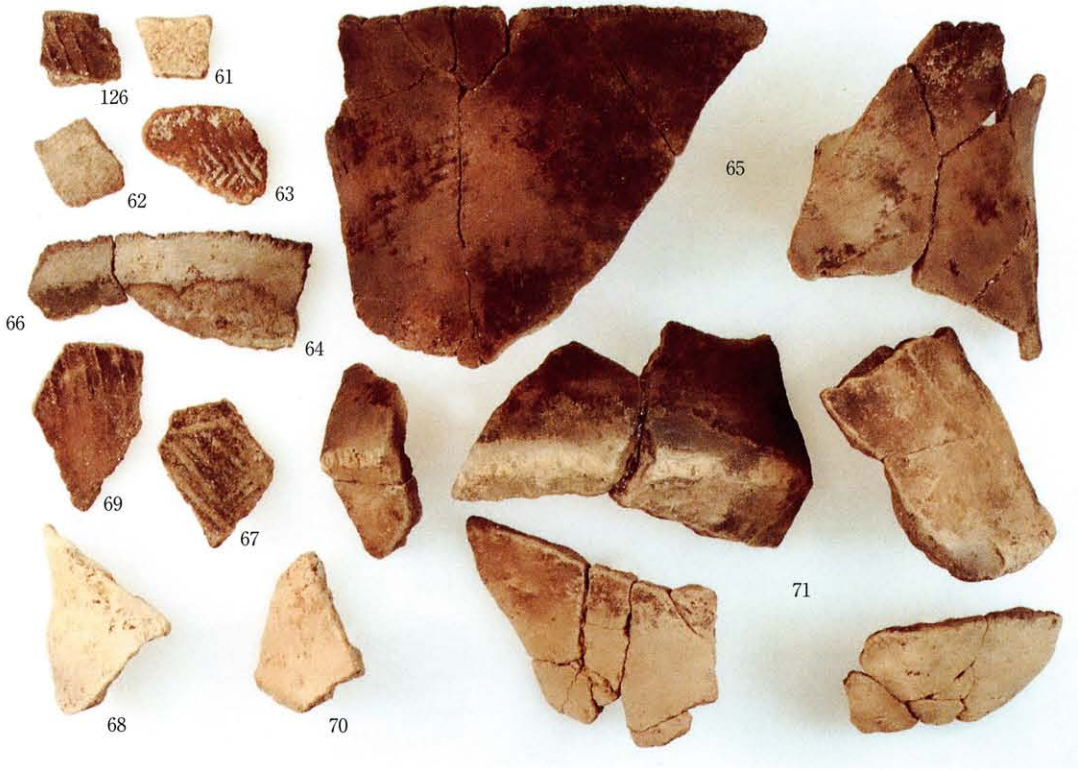
上：Ⅶ層出土　縄文土器　外面　　下：内面

Ⅶｂ層
出土
縄文
土器
外面

内面



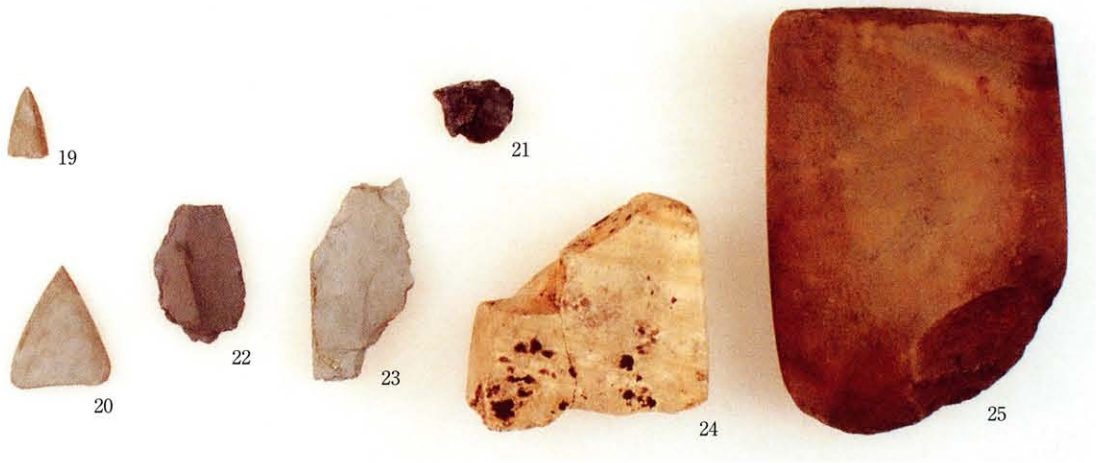
図版 16



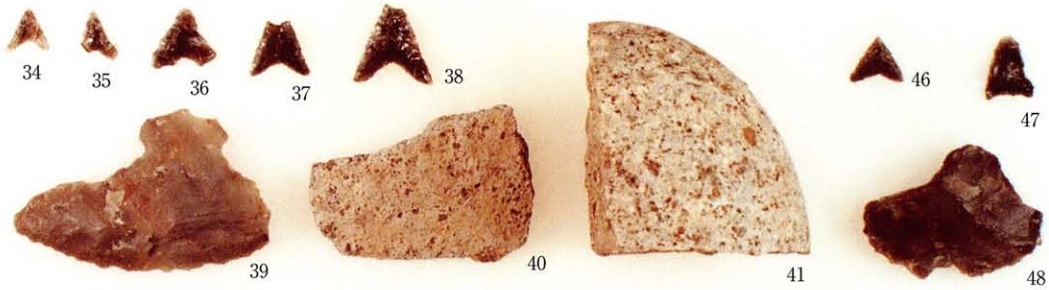
SK－04
出土
縄文土器
外面

下：内面

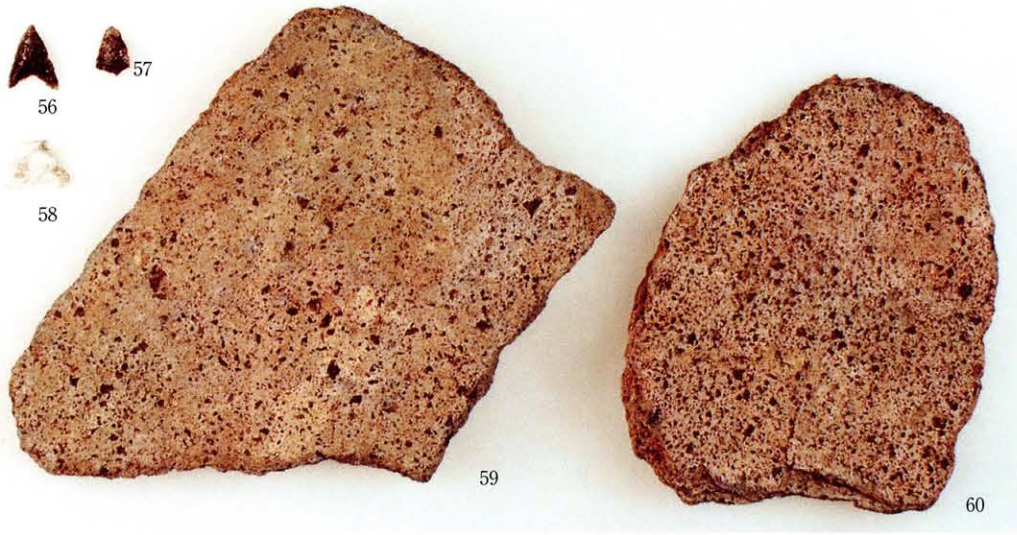
Ⅰ～Ⅲ層出土
石器



SA－01　出土　石器



Ⅳa1・a2層出土石器　右３点：Ⅳa2層



Ⅵ層出土　石器

SK－04・Ⅶａ～ｂ層出土　石器　　左端：SK－04，右端２点：Ⅶｂ層

付　篇

第４節　自然科学的分析

Ⅰ．島内地下式横穴墓群における自然科学分析

株式会社　古環境研究所

１．島内地下式横穴墓群における蛍光Ｘ線分析

１．はじめに

物質にＸ線を照射すると、その物質を構成している元素に固有のエネルギー（蛍光Ｘ線）が放出され、この蛍光Ｘ線を分光して波長と強度を測定することで、物質に含まれる元素の種類と量を調べることができる。ここでは、島内地下式横穴墓群115号墓から出土した耳環（98）の材質を確認するために蛍光Ｘ線分析を行った。

２．分析方法

エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置（日本電子㈱製，JSX3201）を用いて、元素の同定およびファンダメンタルパラメータ法（FP法）による定量分析を行った。測定の条件は、測定時間600秒、照射径7.0mm、電圧30kV、試料室内真空である。なお、測定は耳環の外側面（Ａ）と接面（Ｂ）の２箇所について行った（写真参照）。また、非破壊分析のため試料表面の研磨は行っていない。

３．結果および考察

表１に各元素の定量分析結果（wt%）を示す。定量分析結果は、慣例により代表的な酸化物名で表記した。耳環の外側面（Ａ）と接面（Ｂ）の２箇所について蛍光Ｘ線分析を行った。その結果、スズ（SnO2）の含量が91.0%と95.7%であり、スズが主成分となっている。その他の元素では、珪酸（SiO2）が3.8%と0.8%、カルシウム（CaO）が1.3%と1.5%、アルミニウム（Al2O3）が1.9%と0.6%、鉄（Fe２O３）が0.8%と0.3%などであり、銅（CuO）や銀（Ag２O）は検出されなかった。

以上の結果から、耳環（98）はスズを主成分とした錫製品と推定される。その他の元素については、耳環の表面に付着したものと考えられる。なお、耳環の正確な成分を把握するためには、試料表面を研磨して測定を行う必要がある。

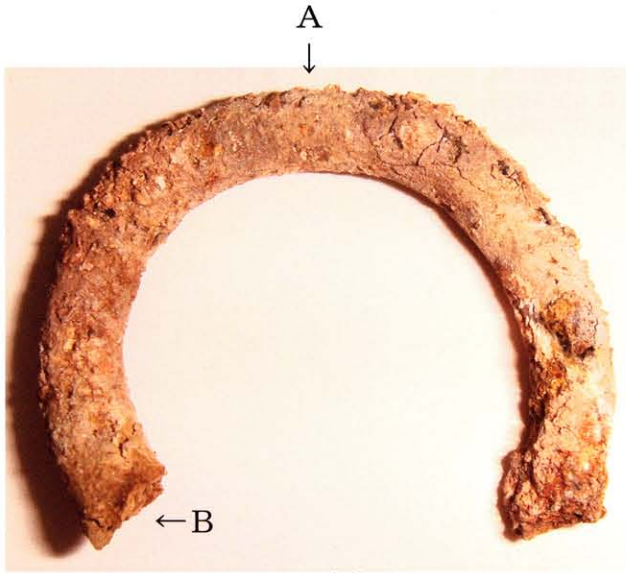
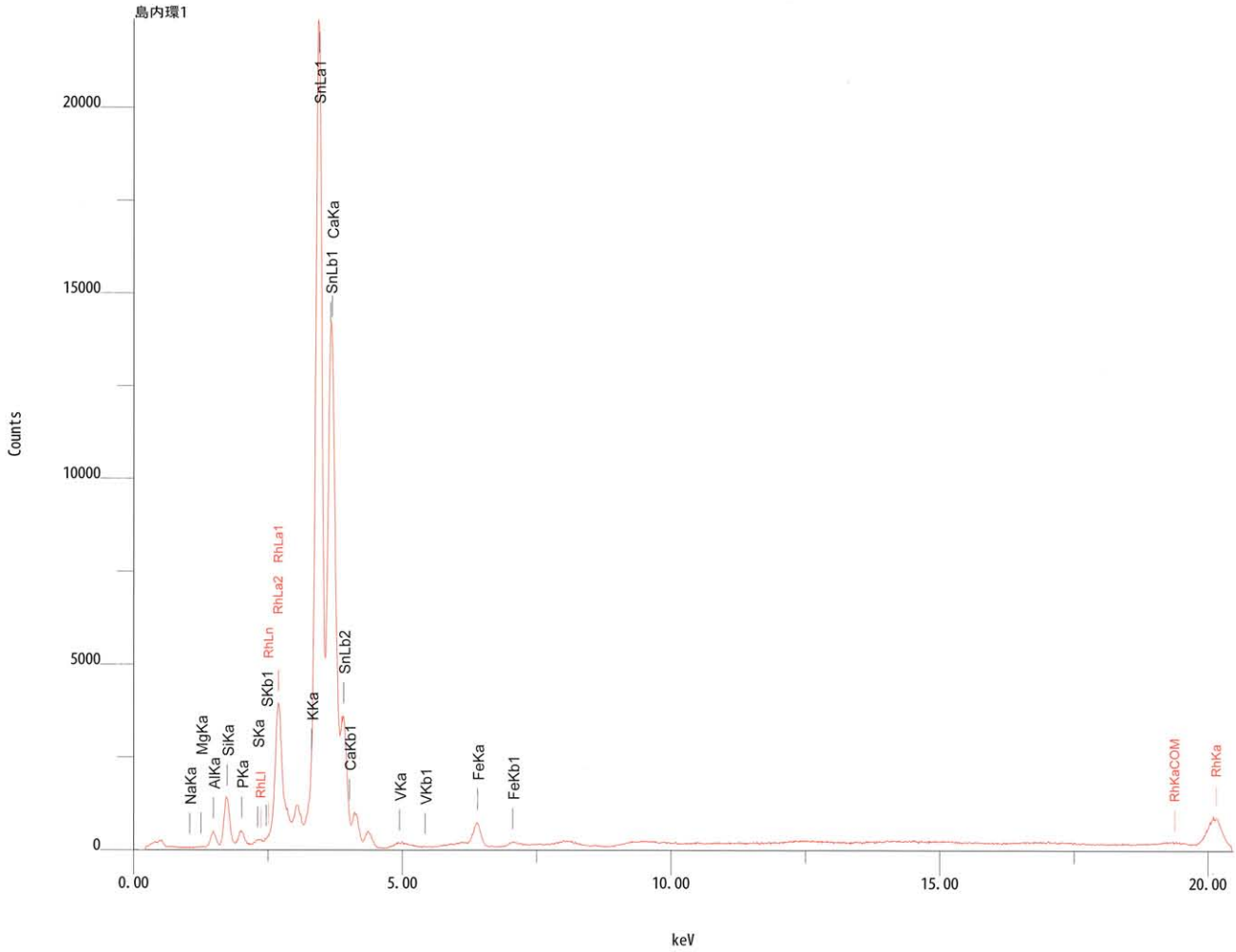


図１　耳環 98　　Ａ・Ｂは測定箇所

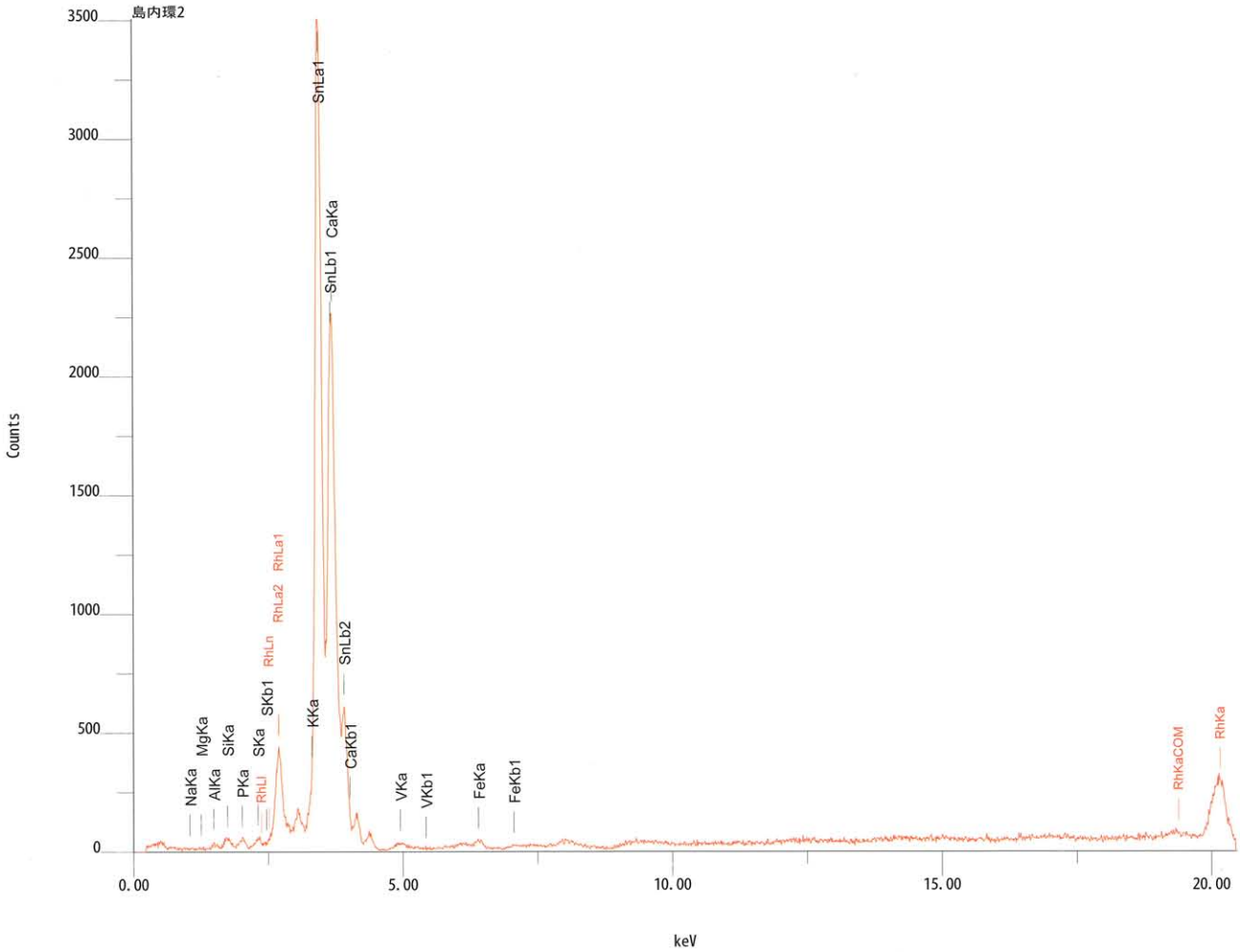
表１　島内地下式横穴墓出土耳環の蛍光Ｘ線分析結果　　単位：wt(%)

原子№	地点・試料 化学式	耳環 98 A	 B
11	Na2O	0.000	0.042
12	MgO	0.094	0.204
13	Al2O3	1.923	0.608
14	SiO2	3.823	0.758
15	P2O5	0.829	0.549
16	SO3	0.000	0.204
19	K2O	0.000	0.000
20	CaO	1.328	1.473
23	V2O5	0.126	0.225
26	Fe2O3	0.835	0.277
50	SnO2	91.043	95.661



ファイル名： E:¥島内環1.SPC　　測定日時：　2009年 2月21日 1時53分43秒
測定条件　：　電圧：30.0kV　電流：4.000mA　ﾗｲﾌﾞﾀｲﾑ：　600.00sec　パス：Vac
定量条件
　定量法：　標準
分析元素：　Na,Mg,Al,Si,P,S,K,Ca,V,Fe,Rh,Sn

Num	元素/	化学式	wt(%)	at/mole(%)	測定強度比	積分強度	標準偏差
1	11	Na20	nd				
2	12	MgO	0.0944	0.3233	0.0000238	81	0.5864
3	13	Al203	1.9228	2.6032	0.0002617	3788	0.2659
4	14	Si02	3.8232	8.7834	0.0009010	13703	0.1550
5	15	P205	0.8287	0.8059	0.0005895	4607	0.1133
6	16	S03	nd				
7	19	K20	nd				
8	20	CaO	1.3277	3.2682	0.0006511	12260	0.0914
9	23	V205	0.1258	0.0955	0.0000174	683	0.1555
10	26	Fe203	0.8348	0.7216	0.0001999	9764	0.0840
11	50	Sn02	91.0425	83.3989	0.0594961	534399	0.2416



ファイル名： E:¥島内環2.SPC　　測定日時： 2009年 2月21日 2時 7分32秒
測定条件　： 電圧: 30.0kV　電流: 4.000mA　ﾗｲﾌﾞﾀｲﾑ: 600.00sec　パス：Vac
定量条件
　定量法： 標準
分析元素： Na,Mg,Al,Si,P,S,K,Ca,V,Fe,Rh,Sn

Num	元素/	化学式	wt(%)	at/mole(%)	測定強度比	積分強度	標準偏差
1	11	Na20	0.0419	0.0974	0.0000041	2	1.4294
2	12	Mq0	0.2037	0.7274	0.0000076	26	0.6450
3	13	Al203	0.6077	0.8578	0.0000123	178	0.2915
4	14	Si02	0.7578	1.8152	0.0000268	408	0.1683
5	15	P205	0.5491	0.5568	0.0000597	467	0.1212
6	16	S03	0.2035	0.3658	0.0000073	267	0.0798
7	19	K20	nd				
8	20	Ca0	1.4725	3.7793	0.0001078	2031	0.0997
9	23	V205	0.2254	0.1784	0.0000046	179	0.1732
10	26	Fe203	0.2773	0.2499	0.0000097	475	0.0935
11	50	Sn02	95.6612	91.3721	0.0093556	84033	0.2629

Ⅱ．島内地下式横穴墓群における赤外分光分析（FT-IR 分析）

1．はじめに

島内地下式横穴墓群 115 号墓の轡の上から黒色の漆片と思われる塗膜状の物質が検出された。ここでは、この物質の成分を確認するために赤外分光分析（FT-IR 分析）を行った。

2．分析方法

メスを用いて試料表面（黒色部分）を削り取り、厚さ 1 mm 程度に裁断した臭化カリウム（KBr）結晶板に挟んで、油圧プレス器を用いて約 7 トンで加圧整形した。測定は、フーリエ変換型顕微赤外分光光度計（日本分光㈱製 FT/IR-410、IRT-30-16）を用いて、透過法により赤外吸収スペクトルを測定した。

3．結果および考察

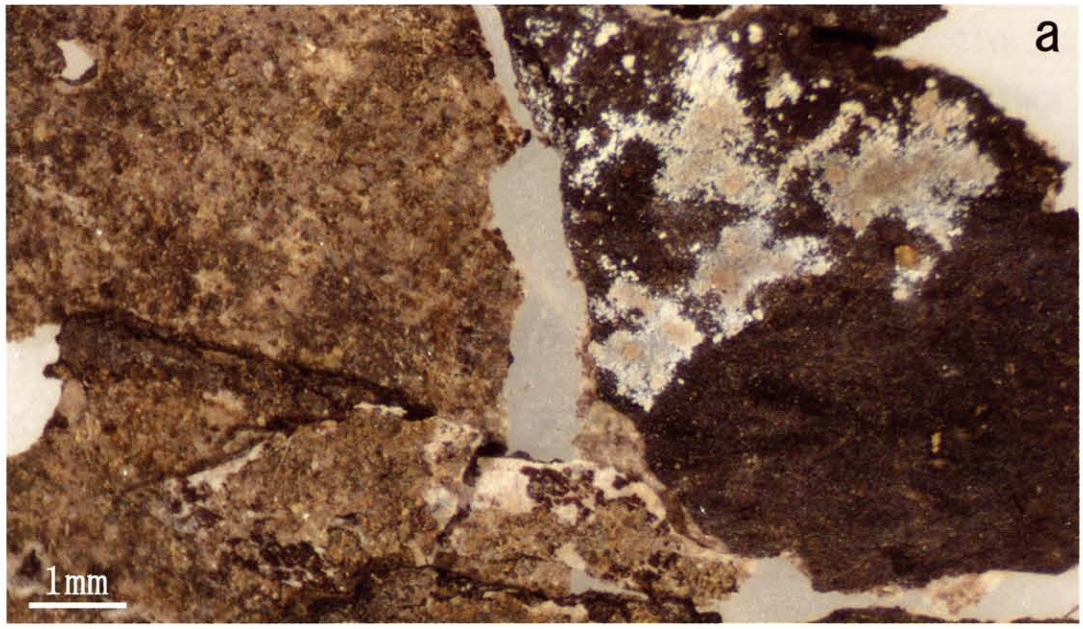
図 1-b に、分析試料の赤外吸収スペクトル図を示す。スペクトル図の縦軸は透過率（％R）、横軸は波数（Wavenumber (cm-1)；カイザー）である。なお、スペクトルはノーマライズしてあり、吸収スペクトルに示した数字は生漆の赤外吸収位置を示す（表 1）。

分析の結果、生漆の成分であるウルシオールの吸収ピーク（№6～№8）が認められた。波数が 2925cm-1（生漆№1），2854cm-1（生漆№2），1580cm-1，1400cm-1，1100cm-1 において見られる大きな吸収ピークのうち、№1 と№2 は生漆において見られる吸収であり、有機物において常に見られる。また、1100cm-1 の吸収は漆が劣化した場合に見られるゴム質の吸収であり、1580cm-1 と 1400cm-1 の吸収は不明である。

以上の結果から、黒色の塗膜状の物質は、劣化した漆と考えられる。

表 1　生漆の赤外吸収位置とその強度

吸収№	生漆		ウルシ成分
	位置	強度	
1	2925.48	28.5337	
2	2854.13	36.2174	
3	1710.55	42.0346	
4	1633.41	48.8327	
5	1454.06	47.1946	
6	1351.86	50.8030	ｳﾙｼｵｰﾙ
7	1270.86	46.3336	ｳﾙｼｵｰﾙ
8	1218.79	47.5362	ｳﾙｼｵｰﾙ
9	1087.66	53.8428	
10	727.03	75.3890	



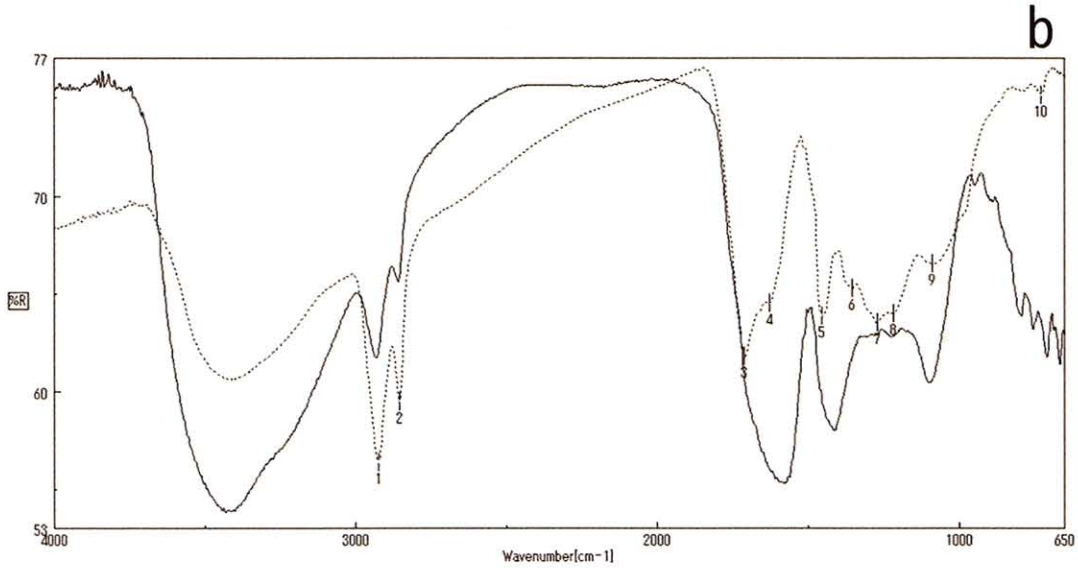


図１　出土漆片と赤外吸収スペクトル図

a. 漆片（表面:光沢のない黒色、反対面:白色）

b. 表面（黒色部）の赤外吸収スペクトル図（点線の番号:生漆の吸収）

2．島内地下式横穴墓群114号墓出土刀装具の成分分析調査

株式会社　吉田生物研究所

1．はじめに

宮崎県えびの市に所在する島内地下式横穴墓群から出土した大刀の刀装具について、以下の通り成分分析を行ったので、その結果を報告する。

2．資料

調査した資料は表1に示す刀装具1点である。

表1　調査資料一覧

No.	保存処理No.	遺物名	概　要
1	10	大刀の鞘口金具	残存長1m以上の大刀に装着したまま遺存した木製鞘の口金具。長さ約3.3cm幅約5.1cmで、片面は銀色で光沢があり、もう片面は黒灰色を呈する。

3．方法

資料本体から1～2mm程度の試料を採取し、蛍光X線分析を行い、金属成分を分析した。分析装置は、RIGAKU製の波長分散型蛍光X線分析装置ZSX-PRIMUS Ⅱを用いた。

4．分析結果

成分分析結果のスペクトルを付す(図1)。ただし土壌に由来する成分も含まれると思われる。よって表2に分析結果一覧を示すが、その数値はあくまで参考にすぎない。金属成分は、鉄と銀が検出された。これは金具本体の銀と金具周辺に付着した鉄錆である。

表2　分析結果一覧表

成分名	分析値（mass%）
Al	0.560
Si	1.18
P	0.639
S	1.42
Cl	0.511
Ca	15.2
Fe	1.89
Ag	78.6

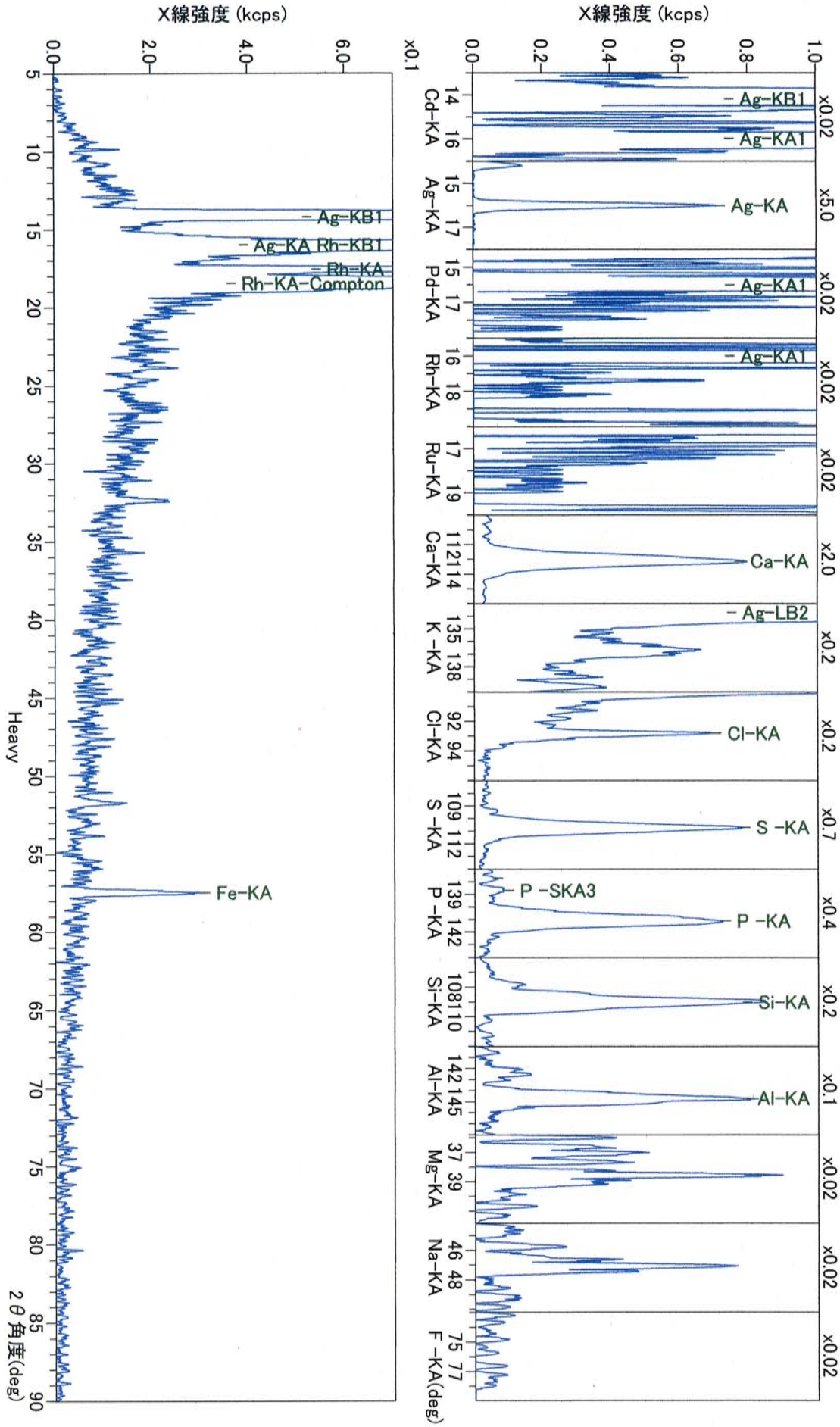


図1　No. 1の分析データ

宮崎県えびの市島内地下式横穴墓群出土の人骨

－113号墓～115号墓，117号墓～124号墓から出土した人骨―

竹中正巳*・高橋由香**・下野真理子*

*鹿児島女子短期大学　**元宮崎県立西都原考古博物館

は じ め に

島内地下式横穴墓群は、えびの市大字島内字平松、杉ノ原に所在する。加久藤盆地を西に向かって流れる川内川の南側の河岸段丘上にあり、遺構の範囲は東西1100m、南北500mに渡る。

島内は5世紀前葉から6世紀代に造営された墳墓群（えびの市郷土史編さん委員会，1994）で、2009年9月末までに、127基の地下式横穴墓の調査が行われている。古墳時代の人骨の他に、甲冑、蛇行剣、骨鏃をはじめとする多数の副葬品が出土しており、多数の鉄製武具や骨鏃など特徴的な副葬品は、全国的にも注目を集めている（中野,1997；西田,1997)。南九州の古墳時代の埋葬遺跡で、人骨と副葬品の保存状態が良好な遺跡は数えるほどしかない。島内地下式横穴墓群は、南九州古墳時代人の形質・文化・生活様式を知る上で、極めて重要な遺跡である。

古墳時代は現在の日本の基となる古代国家が形成されていった時期である。それと同時に、現代日本人につながる身体形質が形成された時代でもある。弥生文化とともにアジア大陸からもたらされた渡来人の遺伝子は、弥生文化、古墳文化の列島各地への波及に伴う、人々の移動や交流により、拡散していった。

古墳時代の南九州には、内陸部に縄文人的な身体形質をもつ人々が、宮崎平野部に渡来系弥生人と類似する特徴をもつ人々も居住していたことが知られ、従来、頭蓋計測値、身長の分析から南九州山間部の古墳人男性は西北九州弥生人に極めて類似し、縄文人的特徴を色濃く残す古墳人であると考えられてきた（松下，1990)。西北九州弥生人は、頭蓋計測値、頭蓋形態小変異の分析のいずれもが縄文人に類似し、体質的にも文化的にも縄文人的色彩が遅くまで持続した集団と考えられている（内藤，1984；Saiki et.al，2000)。

島内地下式横穴墓群の101号墓までの発掘調査報告書はえびの市教育委員会により2001年に公刊され、その報告書の中で竹中らは南九州の内陸深くに位置する加久藤盆地に居住した島内地下式横穴墓群を営んだ人々の形質について次のように分析し、考察した。島内の人々は、頭蓋計測値の分析結果では西北九州弥生人と類似するが、頭蓋形態小変異の出現頻度の分析結果からは類似しない。この頭蓋計測と頭蓋形態小変異の相違する分析結果は、島内の人々が縄文人的特徴を残しながらも、渡来系の遺伝子をある程度受け入れた集団であると解釈できると考えた。

平成20年（2008年）2月、宮崎県えびの市島内地下式横穴墓群内の九州電力の鉄塔の移設工事に伴う発掘が行われ、113号墓から115・117～124号墓が調査された。出土した古墳時代人骨は、

やはり保存状態がよいものが多く、島内地下式横穴墓群を営んだ人々の形質、社会、文化、生活をさらに詳細に解明するために、貴重な追加資料となる。本稿ではこの発掘調査で出土した人骨について、人類学的精査を行った結果を報告する。

出土人骨の所見

表1に示すとおり、島内地下式横穴墓群113～115・117～124号墓の11基の墓から、38体の古墳時代後期人骨が出土した。各人骨の個別の計測値、観察データは、付表1～11に示す。

島内地下式横穴墓群113号墓　　(写真1)

5体が遺存している。玄室の東側に4体、西側に1体が埋葬されている。頭位はいずれも南頭位である。1号人骨は副葬品の数および種類が多い。また、この人骨のみに赤色顔料が顔面部に多量に付着している。玄室の西壁に沿うように1体のみ埋葬されている5号人骨は、1号人骨にくらべ、副葬品も少なく、赤色顔料も検出されていないことから考えると、最初に埋葬されたのは最も東側に埋葬されている1号人骨と考えるべきであろう。

西側の4体の埋葬状況は、1号人骨と2号人骨は密着している。3号人骨は右半身を2号人骨の左半身上に載せた状態で埋葬されている。4号人骨は3号人骨に沿うように埋葬されている。

1号人骨（男性・壮年後期）　　(写真2・3)

全身の骨が遺存している。保存状態はよい。仰臥伸展位で埋葬されている。左右の腕とも肘を伸ばし、手は寛骨の横にある。性別は左右の寛骨の大坐骨切痕の角度が小さいことから男性と判定できる。年齢は、頭蓋3主縫合の癒合状態と歯の咬耗度がMartinの2度以下であることから、壮年と推定される。

歯式は次の通りである。

8 7 6 5 4 3 2 1	1 2 3 4 5 6 7 8
8 7 6 5 4 3 2 1	1 2 3 4 5 6 7 8

う蝕は認められない。左右の外耳道に骨腫が認められる。

また、左後頭顆は前方と外側に関節面が伸びており、右後頭顆に比べ関節面が大きい。これは環椎の左の上関節窩が伸びていること、左横突起からの上方に伸びた骨塊と関節することによる。

2号人骨（性別不明・小児7歳）

全身の骨が遺存しているが、保存状態は悪い。仰臥伸展葬である。前腕が左右とも遺存しておらず、肘を伸ばしていたのか、それとも曲げていたのか、埋葬時の腕の姿勢はわからない。

歯式は以下の通りである。

××6×DC××	××CDE6××
6EDCB1	1BCDE6

下顎の左右中切歯および左右の第一大臼歯が萌出している。上下顎の第一大臼歯は咬耗しており、咬耗度はMartinの1度である。これらのことから、本人骨の年齢は7歳と推定される。性別は不明である。

う蝕は認められない。

左右の外耳道には弱いが骨腫が認められる。頭蓋櫛は認められない。

3号人骨（女性・老年）　　（写真4・5・6）

保存状態がよく、ほぼ全身が遺存する。仰臥伸展葬である。腕は、左右の肘をまっすぐ伸ばしている。手は、左右とも手首を内旋させた状態で、左手は寛骨上に載せているが、右手は体に沿わせており、寛骨の上に載っていない。左手は手の甲が軽く上を向いた状態であり、右手の甲は完全に手の甲が上を向いている。

赤色顔料は頭蓋から脛骨まで、からだの前面で検出されるが、いずれの骨でもごく微量しか遺存していない。本人骨の右側腹部から右前腕にかけての場所に、ハエの蛹殻が多数検出された（写真5）。

性別は左右の寛骨の大坐骨切痕の角度が大きいことから女性と判定できる。年齢は頭蓋の3主縫合の癒合状況と歯のまた、妊娠痕が左耳状面前溝に確認できた。したがって、出産を経験した老年の女性であると考えられる。

歯式は次の通りである。

●●●●4●●○	1234●●●●
●●●●4321	○2○●5○●●

う蝕は認められない。下顎左中切歯と下顎左犬歯の歯髄が露出しており、下顎左犬歯の根尖には歯根嚢胞が認められる（写真6）。

左右の外耳道に骨腫が認められる。

4号人骨（性別不明・幼児3〜4歳）

頭部と下肢が遺存する。保存が比較的よいのは頭部のみである。検出時、頭蓋の縫合は開いてしまっており、頭蓋各部の骨は独立した状態で遺存していた。前頭部に少量ではあるが、赤色顔料が遺存する。眼窩の内に赤色顔料は確認できない。埋葬姿勢は仰臥伸展葬である。肘を曲げていたかどうかは、不明である。

性別は不明である。歯式は以下に示す。

⑥E×③②①	①②③×E×
⑥EDCB①	①B○DE⑥

上下顎とも第二乳臼歯まで萌出している。第二乳臼歯の咬耗はMartinの2度である。下顎中切

歯および上下顎第一大臼歯永久歯の歯冠がほぼ完成している。また、上顎中切歯の歯冠は5/6が、上顎側切歯のそれは2/3が、上下顎犬歯の歯冠は1/2が完成している。以上の歯の所見から、3～4歳と推定した。う蝕は下顎左第二乳臼歯の咬合面にC2のものが認められる。これ以外の萌出している歯には認められない。

頭蓋櫛は認められないが、眼窩櫛は確認できる。左外耳道骨腫は認められない。下肢に特別な所見は見あたらない。下顎左第二乳臼歯の咬合面にC2のう蝕がある。確認できるう蝕はこれのみである。

5号人骨（男性・壮年）　　（写真7）

全身が遺存している。保存状態は比較的よい。赤色顔料は骨にも骨周囲にも確認できなかった。埋葬姿勢は顔を西に向けた仰臥伸展葬で、右肘は伸ばしており、右手首は内旋した状態である。したがって、寛骨上にある右手は手の甲が上を向き、掌が寛骨に接する。左足は膝が上を向き、まっすぐ伸びた状態である。右足は膝が外側を向いており、足全体を外旋した格好で埋葬されたことがわかる。

脳頭蓋は計測できないが、顔面頭蓋はある程度計測が可能である。顔面は低・広顔で広鼻であるが、眼窩は高い。歯式は以下に示す。

8 7 6 5 4 3 2 1	1 2 3 4 5 6 7 8
8 7 6 5 4 ○ 2 1	1 2 3 4 5 6 7 8

う蝕は認められない。

左右の大腿骨に弱い柱状形成が認められる。脛骨は左右とも扁平性は認められない。

右上腕骨の上腕骨に骨軟骨腫が確認できる（写真7）。この骨隆起は、右上腕骨の近位側の大結節稜の稜線上にあり、形態は台形状を呈する。骨隆起の基部は約18mmある。骨隆起の属する粗な面は大結節稜まで続いており、大結節稜に停止する筋に関係している。大結節稜に停止する筋肉は大胸筋であり、大胸筋が上腕骨に停止する部分に骨隆起が認められることになる。

骨の腫瘍は大きく良性の腫瘍と悪性の腫瘍およびその中間的な腫瘍に分けられる（鈴木, 2003）。鈴木（2003）によれば、良性骨腫瘍としては良性骨腫と骨軟骨腫の2つが代表的な腫瘍である。良性骨腫が頭蓋によく出現するのに対し、骨軟骨腫（外骨腫）は四肢の長骨とくに膝、肩、股関節の周辺によく出現する。骨軟骨腫は骨の長軸方向の成長と大きく関係し、骨端軟骨あるいは成長板の正常な長軸形成以外に骨が突出するように形成される。また、形態学的にはまんじゅう様に山形になるものから茎を有しマッシュルーム様の形になるものまであるという。大きさも数mmの小さいものから、数cm、時に10cmを超えるものまである。単発性の場合と多発性の場合があるが、後者は遺伝的要因が関与し、形態も茎を有する例よりも広基性の比較的大きな骨隆起として認められる例が多いといわれている（鈴木, 2003）。したがって、本人骨の骨軟骨腫は、単発性のものである。

島内地下式横穴墓群114号墓

1号人骨（男性・熟年）

全身が遺存しているが、保存状態はよくない。仰臥伸展位で埋葬されている。頭蓋から上半身にかけて、大量の赤色顔料が検出された。赤色顔料は骨に付着しているだけでなく、骨と骨の間や遺体の周囲にまで広がる。骨盤周辺からも赤色顔料は検出される。頭蓋では、前頭骨から左右の側頭部にかけての部分に赤色顔料は付着する（上顎下顎骨を含め。下顎骨は内面にも付着している）。これらの所見を考えあわせると、髪の毛の生え際を少し越えた場所まで赤色顔料を塗るなり、まくなり、落とすなりしている。骨盤から上の上半身については、赤色顔料をまいていると考えるのが妥当と思われる。

性別は左右の側頭骨の乳様突起が大きいことから、男性と判定した。年齢は、頭蓋の三主縫合の内、冠状縫合と矢状縫合の内・外板のほとんどが癒合している。歯は、ほとんど歯の咬耗度がMartinの２度であり、喪失歯もない。頭蓋の三主縫合と歯の所見を考えあわせ、本人骨の年齢は熟年と推定した。

歯式は次の通りである。

8 7 6 5 4 × × 1	1 2 3 4 5 6 7 ×
7 6 5 4 3 2 1	1 2 3 4 5 6 7 8

２号人骨（性別不明・小児10歳）

全身が遺存しているが、保存状態は悪い。部位同定ができるのは頭部の一部の骨や歯だけで、体幹･体肢骨は部位同定できない状態である。頭部から下肢にかけて、赤色顔料が検出されているが、人骨の保存状態が悪いため、本人骨にどのように赤色顔料を使用したのか言及できるだけの情報が得られない。

また、埋葬姿勢も、仰臥伸展葬の可能性が高いが、人骨の保存状態が悪いため、断言できない。

歯式は次の通りである。

⑧⑦×⑤④③2 1	××③×E 6⑦⑧
×⑦×⑤④×2 ×	××③○E 6⑦⑧

歯の萌出状況と咬耗度、顎骨中で発育途中の永久歯の歯冠や歯根の形成状況から考えると、本人骨の死亡年齢は10歳と推定される。性別は不明である。

特に特記すべき事項はない。

３号人骨（性別不明・熟年）

主に頭部と下半身が遺存しているが、保存状態は悪い。人骨の保存状態が悪いため、赤色顔料も頭部でも下半身でも検出されるが、本人骨にどのように赤色顔料を使用したのか言及できるだけの情報が得られない。また、埋葬姿勢も、仰臥伸展葬の可能性が高いが、決め手に欠く。

歯式は次の通りである。

××$\dot{6}$××$\dot{3}$××	××××××××
×××5432×	××××××××

遺存している歯の咬耗度はMartinの2度である。特に前歯部の咬耗が進んでいる。歯の咬耗度から、本人骨の死亡時の年齢を熟年と推定した。性別は性判定可能な部位が遺存していないため、不明である。

そのほか、特に特記すべき事項はない。

4号人骨（性別不明・小児8～9歳）

全身が遺存しているが、保存状態は悪い。部位同定ができるのは頭部の一部の骨や歯だけで、体幹・体肢骨は部位同定できないものがほとんどである。赤色顔料は全身のどこからも検出されなかった。埋葬姿勢は、仰臥伸展葬の可能性が高いが、人骨の保存状態が悪いため、断言できない。

歯式は次の通りである。

××6E④×21	12××E6××
××6EDC21	12③DE6××

歯の萌出状況と咬耗度、顎骨中で発育途中の永久歯の歯冠や歯根の形成状況から考えると、本人骨の死亡年齢は8～9歳と推定される。性別は不明である。

特に特記すべき事項はない。

5号人骨（女性・壮年）

全身が遺存している。保存状態は悪くはない。埋葬姿勢は仰臥伸展位で、右肘は伸ばしている。右手は右寛骨上に載っている。左腕の状態は不明である。赤色顔料は前頭部から下顎にかけての顔面部（右側頭部を含む）、胸部、骨盤部、下腿で検出されている。頭部については、髪の毛の生えていない場所、額や耳から下顎にかけてのいわゆる「顔」の部分に赤色顔料をつけたことがわかる。

性別は、左寛骨大坐骨切痕の角度が大きいこと、頭蓋の眉弓の突出が弱いこと、外後頭隆起の発達が弱いことから、女性と判定される。年齢は頭蓋の三主縫合は内板・外板ともに癒合しておらず、歯の咬耗もMartinの1度の歯が多いことから壮年と推定される。

歯式は次の通りである。

76●4321	1234567
⑧7654○21	1234567⑧

右上顎第二小臼歯は先天的に欠如している。う蝕は認められない。

遺存している四肢骨は華奢である。右上腕骨、左右鎖骨、左大腿骨のいずれもが同様であり、体全体が華奢であったことがわかる。

114号墓の5号人骨の右寛骨から4号人骨にかけての部分にハエ蛹殻と植物質が遺存している。特にハエ蛹殻は多量に遺存している。ハエの種類や植物質の研究は今後の課題であるが、これらの研究が進めば、遺体の埋葬過程に関連する新たな事実が明らかになる可能性が高い。今後の研究の

進展に期待したい。

島内地下式横穴墓群115号墓

1号人骨（女性・壮年）　　（写真8・9）

全身が遺存しており、保存状態は比較的よい。仰臥屈葬状態で埋葬されている。膝は左右とも東側に「くの字」に軽く曲げた状態である。顔面頭蓋から上半身にかけて、赤色顔料が検出された。赤色顔料は骨に付着しているだけでなく、骨と骨の間に広がる。頭蓋では、前頭骨から左右の側頭部にかけての部分に赤色顔料は付着する（上顎下顎骨を含め。下顎骨は内面にも付着している）。顔を少し左に向けて埋葬され、玄室内で赤色顔料をつけられたためであろう、上（天井方向）を向く右側頭部から右顔面部にかけての場所に赤色顔料が多量に検出され、左側の顔面部から側頭部にかけての場所には赤色顔料は少ない。左右の寛骨にも、赤色顔料は付着する。これらの所見を考えあわせると、髪の毛の生え際を少し越えた場所まで赤色顔料を塗るなり、まくなり、落とすなりしている。

性別は眉弓の突出や外後頭隆起の発達が弱く、左右の側頭骨の乳様突起が小さいことから、女性と判定した。年齢は、頭蓋の三主縫合の内板も外板も癒合していない。歯は、ほとんど歯の咬耗度がMartinの1度であり、頭蓋の三主縫合の所見を考えあわせ、本人骨の年齢は壮年と推定した。

歯式は次の通りである。

８７６５４３２１	１２Ｃ３４５６７８
８７６５４３２１	１２　３４５６７８

上顎左犬歯部に乳犬歯（上顎左乳犬歯）が残存している。そのために永久歯の側切歯と犬歯の位置が通常並ぶべき場所になく、位置異常を来している。また、う蝕が、上顎左犬歯、下顎左第一大臼歯、下顎右第一大臼歯に認められる。

その他に、左右の寛骨の耳状面前溝には妊娠痕が確認できる。左右の大腿骨には柱状形成は認められない。

2号人骨（性別不明・小児6歳）

上半身が遺存している。保存状態は悪い。仰臥位で埋葬されている。腕の状態や、下半身は不明である。遺存している全身の骨から赤色顔料が検出された。赤色顔料は骨に付着しているだけでなく、骨と骨の間に広がる。

歯式は次の通りである。

６ＥＤＣＢＡ	ＡＢＣＤＥ６
６ＥＤＣ××

他に特記すべき事項はない。

3号人骨（男性・熟年）

全身が遺存しているが、保存状態は悪い。仰臥伸展位で埋葬されている。右肘は真っ直ぐ伸ばし、手は寛骨の外側にある。赤色顔料は、全身の骨から検出される。

性別は、左寛骨の大坐骨切痕の角度が小さいことから、男性と判定できる。年齢は、頭蓋の矢状縫合の内板に癒合している部分があること、歯の咬耗がMartinの2度であることを考え合わせると熟年と推定される。

歯式は次の通りである。う蝕は認められない。

8 7 6 5 4 3 2 1	1 2 3 4 5 6 7 8
8 7 6 5 4 3 2 ×	1 2 3 4 5 6 7 8

4号人骨（性別不明・若年15～16歳）

全身が遺存している。保存状態は悪い。埋葬姿勢は仰臥伸展位で、右肘は曲げている。左腕の状態は不明である。赤色顔料は頭蓋から足先に至るまであらゆる骨から検出される。赤色顔料は骨に付着しているだけでなく、骨と骨の間に広がる。

性別は、性差が区別できる骨が遺存しておらず、不明である。年齢は歯が第二大臼歯まで萌出していること、歯の咬耗がMartinの1～2度であること、蝶後頭軟骨結合が癒合していないことから、若年で15～16歳と推定される。

歯式は次の通りである。う蝕は認められない。

× 7 6 5 × × × ×	1 2 × × 5 6 7 ×
⑧ 7 6 5 × × × ×	1 2 3 4 5 6 7 ⑧

他に特記すべき事項はない。

5号人骨（女性・熟年）　　（写真10）

全身が遺存しており、保存状態は比較的よい。仰臥伸展位で埋葬されている。腕の状態は不明であるが、下半身は左右の両膝が大きく開いた状態で、両足首は中央にある。したがって、下半身は左右の足がくの字に外側に広がる不自然な状態で存在している。顔面頭蓋から体幹上部にかけて、赤色顔料が検出された。赤色顔料は骨に付着しているだけでなく、骨と骨の間に広がる。頭蓋では、前頭骨から左右の側頭部にかけての部分に赤色顔料は付着する（上顎下顎骨を含め。下顎骨は内面にも付着している）。これらの所見を考えあわせると、髪の毛の生え際を少し越えた場所まで赤色顔料を塗るなり、まくなり、落とすなりしている。

性別は、眉弓の突出が弱いこと、左乳様突起が小さいことから、女性と判定できる。年齢は、頭蓋三主縫合の内板は既に癒合しており、外板も癒合している部分があること、歯の咬耗がMartinの2～3度であることを考え合わせると、熟年と推定される。

歯式は次の通りである。う蝕は下顎左側切歯に認められる。

●●６５４３２１｜１○３４５●●●
●●６５４３２１｜１２３４５６７

遺存している大腿骨に柱状形成は認められない。特記所見としては、癒合椎が認められ、第二頸椎から第四頸椎までが癒合している。

島内地下式横穴墓群117号墓

１号人骨（性別不明・小児8歳）

全身が遺存しているが、保存状態はよくない。仰臥位で埋葬されている。腕の状態や、下半身は不明である。顔面頭蓋から胸椎にかけての場所から赤色顔料が検出された。

歯式は次の通りである。

６ＥＤＣ②１｜１②ＣＤＥ６
６ＥＤＣ２１｜１２ＣＤＥ６

歯は上下顎の第一大臼歯が萌出している。歯の萌出状況と咬耗度、顎骨中で発育途中の永久歯の歯冠や歯根の形成状況から考えると、本人骨の死亡年齢は８歳と推定される。性別は不明である。う蝕は認められない。他に特記すべき事項はない。

２号人骨（性別不明・小児10～11歳）

全身の骨が遺存している。保存状態は悪くはない。仰臥伸展位で埋葬されている。腕の状態は不明である。本人骨およびその周囲からは赤色顔料は検出されていない。

歯式は次の通りである。

⑦６Ｅ○３２１｜１２３４Ｅ６⑦
⑦６Ｅ４３２１｜１２３４Ｅ６７

歯の萌出状況と咬耗の程度、顎骨中で発育途中の永久歯の歯冠や歯根の形成状況から考えると、本人骨の死亡年齢は10～11歳と推定される。性別は不明である。う蝕は認められない。他に特記すべき事項はない。

３号人骨（男性・壮年）

全身が遺存しているが、保存状態はそれほどよくはない。仰臥伸展位で埋葬されている。腕の状態は不明である。下半身は左膝を伸ばしているが、右膝は中程度曲げ外側にくの字に開いた状態で埋葬されたことが、出土状態からわかる。右脛骨は埋葬時の位置を保っておらず、動いている。両耳に耳環を着装していた。また、骨盤の下に糞石が遺存している。

顔面部から赤色顔料が検出された。頭蓋では、前頭部から側頭部にかけての部分に赤色顔料が付着する。本例では、左右の頭頂骨にも赤色顔料が付着している。その中には前頭骨から続くものも

ある。しかし、額から下顎にかけての場所に比べると、付着面積も顔料の量も格段に少ない。

性別は、眉弓の突出が強く、右乳様突起が大きく、さらに外後頭隆起の発達が大であることから、女性と判定できる。年齢は、頭蓋三主縫合の内・外板が癒合しておらず、歯の咬耗がMartinの2度であることを考え合わせると、壮年と推定される。

歯式は次の通りである。う蝕が多数の歯に認められる。

×7×5432 1	1234567×
×7654321	12○456○×

遺存している大腿骨に柱状形成が認められる。特記所見としては、顎関節の形態に異常が認められる。顎関節強直症と考えられる。筋突起の形態も一般的ではない。

4号人骨（性別不明・小児8～9歳）

全身が遺存しているが、保存状態はよくない。仰臥伸展位で埋葬されている。腕の状態は不明である。顔面頭蓋に微量の赤色顔料が検出された。

歯式は次の通りである。

6ED③2 1	1 2③DE6
6ED③2 1	1 2③DE6

う蝕は認められない。歯の咬耗は乳歯がMartinの2度、永久歯はMartinの1度である。歯の萌出状況と咬耗度、顎骨中で発育途中の永久歯の歯冠や歯根の形成状況から考えると、本人骨の死亡年齢は8～9歳と推定される。性別は不明である。他に特記すべき事項はない。

島内地下式横穴墓群118号墓

1号人骨（女性・熟年）　　（写真11）

全身が遺存しており、保存状態は比較的よい。仰臥伸展位で埋葬されている。腕の状態は、右腕は肘を真っ直ぐ伸ばしているが、左腕は肘を軽く曲げている。したがって、右手は寛骨の外側に位置し、左手は腰椎の上にある。顔面部から上半身にかけ、赤色顔料が遺存している。右肋骨、右橈骨、右寛骨腸骨翼にも赤色顔料が認められる。頭蓋では、上下方向では、前頭骨の下半分から下顎にかけての場所が、左右方向では、右眼窩の中心側1/3から左側の部分に赤色顔料は付着する。左の側頭部には赤色顔料が確認できるが、同部の右側では確認できない。本人骨は顔を右側に曲げた状態で発見されており、右側頭部は地面と接する向きとなっている。これらの所見を考えあわせると、髪の毛の生え際付近まで、赤色顔料を塗るなり、まくなり、落とすなりしている。施朱は玄室に遺体を搬入する前に行われたのではない。玄室に遺体を搬入し、遺体を安置した後に、施朱された可能性が高い。

性別は、寛骨の大坐骨切痕の角度が大きいことから、女性と判定できる。年齢は、頭蓋三主縫合の内板は既に癒合しており、外板も癒合している部分があること、歯の咬耗がMartinの2～3度

であることを考え合わせると、熟年と推定される。

歯式は次の通りである。う蝕は上顎右中切歯、同左側切歯に認められ、C4である。

８７●５４３○１	○２３４５６７８
○●６５４３２１	１２３４５６７８

遺存している大腿骨に弱い柱状形成が認められる。脛骨は扁平性が強い。特記所見としては、上顎左中切歯と側切歯の歯槽中に歯根嚢胞による骨吸収が認められる。右寛骨の耳状面前溝に妊娠痕が認められる。

２号人骨（性別不明・壮年）

全身が遺存しており、保存状態は悪くはない。仰臥位で埋葬されている。腕の状態は不明であるが、下半身は左右の両膝が大きく開いた状態で、両足首は中央付近。したがって、下半身は左右の足が「くの字」に外側に広がる不自然な状態で存在している。右大腿骨の前面に微量の赤色顔料が検出された。

性差が現れる骨の部位が遺存していないため性別は判定できない。年齢は、第三大臼歯まで萌出しており、咬耗がMartinの１～２度であることから、壮年と推定される。

歯式は次の通りである。う蝕は認められない。

	６７８
○２３４５６７○	

遺存している大腿骨に弱い柱状形成が認められる。他に特記すべき事項はない。

３号人骨（性別不明・若年15～16歳）

全身が遺存しているが、保存状態は比較的よいわけではない。埋葬姿勢は仰臥伸展位で、左右の肘は軽く曲げている。赤色顔料は顔面と右肘と右肋骨に認められる。

性別は、性差が区別できる骨が遺存しておらず、不明である。歯式は次の通りである。

⑧７６５４３２１	１２３４５６７⑧
⑧○６５４３２１	１２３４５６７⑧

年齢は歯が第二大臼歯まで萌出していること、歯の咬耗がMartinの１～２度であること、蝶後頭軟骨結合が癒合していないことから、若年で15～16歳と推定される。う蝕は認められない。

他に特記すべき事項はない。

島内地下式横穴墓群119号墓

１号人骨（女性・壮年）

全身が遺存しており、保存状態は悪くはない。仰臥伸展位で埋葬されている。腕の状態は、右腕は肘を軽く曲げている。したがって、右手は右寛骨上に乗っている。前頭部、右上腕、右前腕、右

寛骨に赤色顔料が遺存している。

性別は、寛骨の大坐骨切痕の角度が大きいことや左側頭骨の乳様突起が大きくないこと、外後頭隆起が発達していないことなどから、女性と判定できる。年齢は、観察できる頭蓋三主縫合の内外板はまだ癒合しておらず、歯の萌出状況や咬耗の程度がMartinの１～２度であることを考え合わせると、壮年と推定される。

歯式は次の通りである。う蝕は認められない。

８７●５４○２１	×××４５６７８
８７６５４３２１	１２３４５６７８

右寛骨の耳状面に前溝は確認できない。特記所見としては、前頭骨の内板に炎症に対応する骨膜反応（弱い骨増殖）の痕跡が確認できる。これは前頭骨の左側半分の場所の内板に認められる。これは、髄膜炎による骨膜反応の可能性が考えられる。また、右手の場所から、ハエ蛹殻が検出されている。

２号人骨（性別不明・小児8～9歳）

全身が遺存しているが、保存状態はよいわけではない。埋葬姿勢は仰臥位で、左の肘は伸ばしている。赤色顔料は遺存していない。性別は不明である。歯式は次の通りである。

６ＥＤＣ２１	１２ＣＤＥ６
６ＥＤ　２１	１２　ＤＥ６

年齢は歯の萌出状況、歯根の完成度と咬耗の程度がMartinの１度であることから、小児８～９歳と推定した。う蝕は認められない。特記事項としては、腰椎から仙骨にかけての場所に、ハエ蛹殻が検出された。また、頭部や左前腕部に、植物質の小片が遺存していた。

３号A人骨（性別不明・小児8～9歳）

全身が遺存しているが、保存状態はよいわけではない。仰臥伸展位で埋葬されている。左右の肘を伸ばしていたのか、曲げていたのかはわからない。赤色顔料は、頭部と左上腕骨、右側の肋骨にわずかに遺存している。性別は不明である。歯式は次の通りである。

6ED ×××	××× DE6
×××××	×××× E6

年齢は歯の萌出状況、歯根の完成度と咬耗の程度がMartinの１度であることから、小児８～９歳と推定した。う蝕は認められない。大腿骨に柱状形成は認められない。また、脛骨も扁平性は認められない。他に特記すべき事項はない。

３号B人骨（性別不明・幼児2～3歳）

上下顎のみが確認できた。埋葬姿勢は不明である。赤色顔料の有無は不明である。性別は不明である。歯式は次の通りである。

ÈDC ××	×××× È
È × CBA	AB ×××

年齢は歯の萌出状況、歯根の完成度と咬耗の程度がMartinの１度であることから、幼児２～３歳と推定した。う蝕は認められない。他に特記すべき事項はない。

島内地下式横穴墓群120号墓

１号人骨（女性・熟年）

全身が遺存するものの、保存状態はそれほど良くはない。顔面部、前頭部から下顎にかけての場所に赤色顔料が遺存している。

性別は前頭骨の突出が弱いこと、左側頭骨の乳様突起が小さいこと、外後頭隆起の発達が弱いことから、女性と判定される。歯式は次の通りである。

８７６５４３２	１２３４５６７８
７６５４３２１	●２３４５６７

年齢は、頭蓋三主縫合の観察できる内板のすべての場所が閉じており、外板の一部も閉じているということと、歯の萌出状況と咬耗の程度がMartinの２度のものがあることから、熟年と推定される。う蝕は認められない。他に特記すべき事項はない。

２号人骨（性別不明・小児7～9歳）

頭蓋の一部(前頭骨と歯)が遺存する。前頭骨には赤色顔料が付着している。性別は不明である。歯式は次の通りである。

6 È D C × 1	×××××× 6
6 È ×× 2 ×	××××××

年齢は歯の萌出状況と咬耗の程度がMartinの１～２度であることから、小児７～９歳と推定した。う蝕は認められない。他に特記すべき事項はない。

島内地下式横穴墓群121号墓（性別不明・未成人）

取り上げ時、１号人骨、２号人骨として取り上げたが、両者とも頭蓋片であること、骨の質感がよく似ており、一番厚い場所でもわずか3mm程度しかないこと、玄室の構造も小さく、幅が狭いことから、同一個体の頭蓋と考える。したがって、本墓には１体のみの埋葬と考えられる。頭蓋縫合を含む小片や前頭洞を含む小片、赤色顔料の付着した小片も認められる。性別は不明である。年齢は、頭蓋の薄さから、子供と考えられるが、詳細な年齢区分はできない。他に特記すべき事項はない。

島内地下式横穴墓群122号墓

1号人骨（男性・壮年）

全身が遺存しており、保存状態は比較的よい。仰臥伸展位で埋葬されている。腕の状態は、左腕は肘を真っ直ぐ伸ばしているが、右腕は肘を軽く曲げている。したがって、左手は寛骨の外側に位置し、右手は寛骨の上にある。全身に赤色顔料が遺存している。赤色顔料は頭から足先までの骨の周囲や骨と骨の間、軟組織があった場所に分布する。骨の裏側（後側）には赤色顔料は付着していない。頸椎にもほとんど付着していない。ただ脳頭蓋の内腔の後頭骨と右頭頂骨の内板には赤色顔料が微量ながら付着している。これは、頭頂部に類円形の欠損があることと、前頭骨が外れていることから、欠損や前頭骨が外れた後に、外板の赤色顔料が内腔に入り込んだ結果の可能性が高い。頭蓋では、赤色顔料は顔面全体と脳頭蓋の額から頭頂骨の前側 3/4 に付着している。左右の側頭骨にも付着しており外耳孔の上部まで含まれる。右の乳様突起は遺存していないのでわからないが、左の乳様突起には赤色顔料は付着していない。これらの所見を考えあわせると、髪の毛の生え際を越え外耳の上方まで、赤色顔料を塗るなり、まくなり、落とすなりしている。本例は頭部全体に施朱する意図があった例である。

性別は、寛骨の大坐骨切痕の角度が小さいことから、男性と判定できる。年齢は、頭蓋三主縫合の内･外板に癒合が認められないこと、歯の咬耗が Martin の 1 ～ 2 度であることを考え合わせると、壮年と推定される。歯式は次の通りである。

8 7 6 5 4 3 2 1	1 2 × $\dot{4}$ × 6 7 8
8 7 6 5 4 3 2 1	1 2 3 4 5 6 7 8

う蝕は上顎左第三大臼歯、下顎右第三大臼歯に認められる。遺存している大腿骨に弱い柱状形成が認められる。右上腕骨の筋付着部位の隆線は発達している。他に特記すべき事項はない。

2号人骨（性別不明・小児9歳）

全身が遺存しているが、保存状態はよいわけではない。仰臥屈位で埋葬されている。左右の肘を伸ばしていたのか、曲げていたのかはわからない。左右の膝が玄門側に軽く曲げられ、足先は奥壁側を向く。赤色顔料は、頭部に遺存している。顔面全体から頭頂骨にかけての場所である。側頭部は外耳孔および乳様突起まで付着している。ただ矢状縫合を間にはさんで左右約 8cm 幅の部分には赤色顔料は遺存していない。これは、髪型などの影響なのだろうか。本例も髪の毛の生え際を越え外耳を越えるところまで、赤色顔料を塗るなり、まくなり、落とすなりした例である。ただ、顔面から耳にかけての肌が露出している部分だけでなく頭部全体に施朱する意図が明確かというと、矢状縫合周囲に赤色顔料が残っていないことから、断言はできない。性別は不明である。歯式は次の通りである。

6 E D C 2 1	1 2 C D E 6
$\dot{6}$ E D C 2 1	1 2 C D E 6

年齢は歯の萌出状況、歯根の完成度と咬耗の程度がMartinの1度であることから、小児9歳と推定した。う蝕は下顎左第二乳臼歯、下顎右乳犬歯、下顎右第一乳臼歯に認められる。遺存している左上腕骨、左鎖骨は華奢である。大腿骨に弱い柱状形成が認められる。他に特記すべき事項はない。

3号人骨（女性・壮年後期）

全身が遺存しており、保存状態は比較的よい。仰臥伸展位で埋葬されている。腕の状態は、左右の腕は肘を軽く曲げている。したがって、左右の手は骨盤の上に乗っている。頭蓋から右胸部にかけて、赤色顔料が遺存している。胸部に付着する赤色顔料は、右鎖骨、右肩甲骨、右肋骨、胸椎の一部である。頭蓋では、顔面全体と脳頭蓋では額から頭頂骨の前側3/4に赤色顔料が付着している。添付の図の通りである。左右の側頭骨にも付着しており外耳孔の上部まで含まれる。右の乳様突起は遺存していないのでわからないが、左の乳様突起には赤色顔料は付着している。これらの所見を考えあわせると、本例も髪の毛の生え際を越え外耳を越えるところまで、赤色顔料を塗るなり、まくなり、落とすなりしたということである。

性別は、寛骨の大坐骨切痕の角度が大きいことから、女性と判定できる。年齢は、頭蓋三主縫合の内・外板に癒合が認められないこと、歯の咬耗がMartinの1～2度であることを考え合わせると、壮年と推定される。

歯式は次の通りである。う蝕は下顎右犬歯、下顎右第二小臼歯に認められる。

××××○321	$\dot{1}\dot{2}$××××$\dot{7}$×
●7654321	12345×$\dot{7}$×

下顎右第二小臼歯の根尖部に歯根嚢胞が確認できる。本歯の根尖端近くのセメント質には第二セメント質が形成され、肥大化している。遺存している大腿骨に弱い柱状形成が認められる。左右の上腕骨および前腕は華奢である。左右の寛骨の耳状面の前溝に妊娠痕が確認できた。他に特記すべき事項はない。

島内地下式横穴墓群123号墓

1号人骨（男性・熟年）

全身が遺存しており、保存状態は比較的よい。仰臥伸展位で埋葬されている。左右の腕の状態は不明である。頭部から頸部にかけて赤色顔料が遺存している。頭蓋では、顔面全体と脳頭蓋では額から頭頂骨の前側3/4に赤色顔料が付着している。左右の側頭骨には付着しており外耳孔まで含まれる。左右の乳様突起には赤色顔料は付着していない。これらの所見を考えあわせると、髪の毛の生え際を越え外耳の上方まで、赤色顔料を塗るなり、まくなり、落とすなりしている。

性別は、左右の乳様突起が大きいこと、外後頭隆起の発達が著しいことから、男性と判定できる。年齢は、頭蓋三主縫合の内板に癒合が認められ、外板も癒合している場所があること、歯の咬耗が

Martinの２度であることを考え合わせると、熟年と推定される。

歯式は次の通りである。う蝕は認められない。

８７６５４３２１｜１２３４５６７８
８７６５４３２１｜１２３４５６７８

第二頸椎から第四頸椎にかけて、変形性関節症が認められる。胸骨の左第一肋骨の肋軟骨が骨化し胸骨と癒合している。他に特記すべき事項はない。

２号人骨（女性・熟年）

全身が遺存しており、保存状態は悪くはない。仰臥伸展位で埋葬されている。左右の腕の状態は不明である。頭蓋に赤色顔料が遺存している。前頭骨から下顎骨にかけての顔面部に赤色顔料が付着している。

性別は、眉弓の突出が弱いことから、女性と判定される。歯式は次の通りである。

●●６５４３２１｜１２３４５６７８
●○５４３２１｜１２３４５×●●

年齢は、歯の咬耗がMartinの２度であることから、壮年後期～熟年と推定される。う蝕は認められない。耳環が検出されている。他に特記すべき事項はない。

３号人骨（性別不明・未成人）

頭蓋片のみが遺存する。保存状態はよくない。埋葬姿勢は不明である。遺存する頭蓋片に赤色顔料は付着していない。

性別や年齢を推定する手がかりになる部位が遺存していない。ただ、頭蓋の厚さが4mmしかないので、未成年者である可能性が考えられる。４号人骨と頭蓋の厚さが変わらないことから、３号人骨として取り上げた本頭蓋片は４号人骨の一部がなんらかの理由で移動してしまったものである可能性も考えられる。他に特記すべき事項はない。

４号人骨（性別不明・小児6～12歳）

頭蓋のみが遺存する。保存状態はよくない。よいわけではない。埋葬姿勢は不明である。遺存する頭蓋片に赤色顔料は付着していない。性別は不明である。歯式は次の通りである。

６｜６

年齢は歯の咬耗の程度がMartinの１度であることから、小児６～12歳と推定した。３号人骨の項で述べたとおり、３号人骨の頭蓋片は４号人骨の頭蓋の一部である可能性も考えなければならない。う蝕は認められない。他に特記すべき事項はない。

島内地下式横穴墓群124号墓

1号人骨（男性・壮年）　　（写真12）

全身が遺存しており、保存状態は比較的よい。仰臥伸展位で埋葬されている。腕の状態は、右腕は肘を曲げている。左腕の状態は不明である。脚の状態は右脚をまっすぐ伸ばししている。左脚は大腿骨が外側に開き、左膝を曲げている。

性別は、頭蓋の眉弓の発達の程度が強いことから、男性と判定できる。年齢は、頭蓋三主縫合の内･外板に癒合が認められないこと、歯の咬耗がMartinの1～2度であることを考え合わせると、壮年と推定される。

2号人骨（男性・壮年）　　（写真13）

全身が遺存しており、保存状態は比較的よい。1号人骨の左足の上に2号人骨の両足が乗っていることから、1号人骨が先にこの墓に納められ、次いで2号人骨が納められたことがわかる。2号人骨は顔を西に向け、体は仰臥伸展位で埋葬されている。腕は、左右の肘をまっすぐ伸ばしている。

島内地下式横穴墓群出土人骨の形質

今回報告する島内地下式横穴墓群の113号墓～115号墓、117号墓～124号墓から出土した古墳時代人骨は、これまでに島内から出土した人骨とほぼ同様の特徴を持っている。これまで報告された島内の男性成人骨の頭蓋計測値と今回報告する113号墓～115号墓、117号墓～124号墓から出土した古墳時代男性成人骨のそれを集計し、比較したのが表6である。島内の成人骨は周辺の南九州山間部の古墳人と同様の特徴を多く持つ（表6）。サイズの比較的大きな脳頭蓋、頭蓋長幅示数が中頭型、広鼻、前頭部の突出、鼻骨の湾曲などが、周辺の南九州山間部の古墳人と同様の特徴である。計測値の比較から、島内古墳人は集団としては、基本的に縄文人的特徴を多く持つことがわかる。

参考文献

松下孝幸（1990）「南九州地域における古墳時代人骨の人類学的研究」．『長崎医学会雑誌』65巻．781-804.

内藤芳篤（1984）「九州における縄文人骨から弥生人骨への移行」．『人類学　その他様な発展』．pp.52-59．東京．日経サイエンス.

Saiki K., Wakebe T., Nagashima S. (2000) Cranial nonmetrical analyses of the Yayoi people in the northwestern Kyushu area. Anthropological Science. Vol.108. 27-44.

竹中正巳・大西智和（1998）「宮崎県えびの市島内地下式横穴墓群69･70号墓発掘調査概報」．『人類史研究』10号．5-6，185-189.

竹中正巳・大西智和（1999）「宮崎県えびの市島内地下式横穴墓群69･70･71･72･73･74･75号墓発掘調査報告」．『人類史研究』11号．5-9，159-188.

竹中正巳・大西智和（2000）「宮崎県えびの市島内地下式横穴墓群76・77・78・79・87・88・89・90・91号墓発掘調査概報」．『人類史研究』12号．3-4，141-150.

竹中正巳・峰　和治・大西智和・小片丘彦・染田英利（2001）「宮崎県えびの市島内地下式横穴墓群出土人骨」．『島内地下式横穴墓群』．えびの市埋蔵文化財調査報告書29：別編1-109.

表1. 島内地下式横穴墓群 113 号墓～ 115 号墓、117 号墓～ 124 号墓出土人骨

墓番号	人骨番号	性別	年齢	保存状態	赤色顔料			特記事項
					頭部	上半身	下半身	
113 号墓	1 号人骨	男性	壮年後期	○	○	×	×	左後頭顆関節面の形態異常
	2 号人骨	不明	小児（7 歳）	×	×	×	×	
	3 号人骨	女性	老年	△	○	○	○	ハエの蛹殻が多数検出
	4 号人骨	不明	幼児（3 ～ 4 歳）	△	×	×	×	
	5 号人骨	男性	壮年	△	×	×	×	右上腕骨に骨軟骨腫
114 号墓	1 号人骨	男性	熟年	×	○	○	×	
	2 号人骨	不明	小児（10 歳）	×	○	○	○	
	3 号人骨	不明	熟年	×	○	○	○	
	4 号人骨	不明	小児（8 ～ 9 歳）	×	×	×	×	
	5 号人骨	女性	壮年	△	○	○	○	ハエの蛹殻が多数検出
115 号墓	1 号人骨	女性	壮年	○	○	○	×	上顎右犬歯萌出位置異常
	2 号人骨	不明	小児（6 歳）	×	○	○	○	
	3 号人骨	男性	熟年	×	○	○	○	
	4 号人骨	不明	若年（15 ～ 16 歳）	×	○	○	○	
	5 号人骨	女性	熟年	○	○	○	×	癒合椎（頚椎）
117 号墓	1 号人骨	不明	小児（8 歳）	△	○	○	×	
	2 号人骨	不明	小児（10 ～ 11 歳）	△	×	×	×	
	3 号人骨	男性	壮年	△	○	×	×	顎関節強直症　糞石
	4 号人骨	不明	小児（8 ～ 9 歳）	△	○	×	×	
118 号墓	1 号人骨	女性	熟年	○	○	○	×	
	2 号人骨	不明	壮年	×	不明	不明	○	
	3 号人骨	不明	若年（15 ～ 16 歳）	○	○	○	×	
119 号墓	1 号人骨	女性	壮年	△	○	○	×	前頭骨の内板に骨膜反応 ハエ蛹殻の検出
	2 号人骨	不明	小児（8 ～ 9 歳）	×	×	×	×	ハエ蛹殻の検出
	3 号 A 人骨	不明	小児（8 ～ 9 歳）	△	○	○	×	
	3 号 B 人骨	不明	幼児（3 ～ 4 歳）	×	不明	不明	不明	
120 号墓	1 号人骨	女性	熟年	△	○	不明	不明	
	2 号人骨	不明	小児（7 ～ 8 歳）	△	○	不明	不明	
121 号墓	人骨	不明	未成人	×	○	不明	不明	
122 号墓	1 号人骨	男性	壮年	○	○	○	○	
	2 号人骨	不明	小児（9 歳）	△	○	×	×	
	3 号人骨	女性	壮年後期	○	○	○	×	
123 号墓	1 号人骨	男性	熟年	△	○	×	×	変形性関節症（頚椎）
	2 号人骨	女性	熟年	△	○	×	×	
	3 号人骨	不明	未成人	×	×	不明	不明	
	4 号人骨	不明	小児（6 ～ 12 歳）	×	×	不明	不明	
124 号墓	1 号人骨	男性	壮年	○	○	不明	不明	
	2 号人骨	男性	壮年	○	×	不明	不明	

表2 男性頭蓋計測値（mm）および示数の比較

		島内（古墳）			南九州山間部（古墳）[1]		宮崎平野Ⅰ（古墳）[1]		宮崎平野Ⅱ（古墳）[1]		大隅半島（古墳）		山陽（古墳）[2]		津雲（縄文）[3]		北部九州・山口（弥生）[4]		西北九州（弥生）[5]		広田（弥生）[6]		松之尾（近世）[7]		鹿児島（現代）[8]	
		N	M	S.D.	N	M	N	M	N	M	N	M	N	M	N	M	N	M	N	M	N	M	N	M	N	M
1	頭蓋最大長	14	181.9	6.23	15	181.1	4	176.8	1	171.0	4	186.3	44	180.8	16	186.4	179	183.4	21	182.8	23	164.4	11	185.2	26	177.4
8	頭蓋最大幅	17	143.4	5.12	24	141.3	5	142.0	1	(130)	5	148.4	46	141.6	18	144.4	179	142.3	20	145.0	23	146.8	12	138.4	26	143.4
17	ﾊﾞｼﾞｵﾝ・ﾌﾞﾚｸﾞﾏ高	21	137.2	4.33	22	135.8	5	136.2	1	129	4	134.5	35	134.0	13	134.0	146	137.0	15	134.6	15	129.9	7	137.4	26	139.1
8/1	頭蓋長幅示数	8	77.6	4.78	9	77.2	4	80.9	1	(76.0)	2	79.2	39	78.8	16	77.7	163	77.7	20	79.2	23	89.4	11	74.9	26	81.0
17/1	頭蓋長高示数	12	75.7	2.52	12	75.0	4	76.5	1	75.4	2	72.6	31	74.2	13	71.6	134	75.0	15	74.2	15	79.0	6	74.9	26	78.5
17/8	頭蓋幅高示数	15	96.4	3.68	14	96.1	4	94.6	1	(99.2)	3	89.2	34	94.5	13	92.2	136	96.3	14	93.1	15	88.4	7	97.8	26	97.1
23	頭蓋水平周	7	528.0	7.03	8	512.8	2	513.5	1	499	3	533.3	32	519.0	15	532.3	143	528.4	19	530.4	17	497.6	10	527.1		
24	横弧長	13	323.6	8.87	16	308.8	5	310.0			2	318.5	35	311.7	16	310.3	173	316.1	15	324.7	19	321.6	8	310.8		
25	正中矢状弧長	10	377.3	10.57	8	371.6					2	372.5	23	367.7	13	375.0	119	377.6	17	376.5	12	344.6	5	379.8		
45	頬骨弓幅	6	139.2	3.02	10	139.8	1	138.0	1	[134]	4	144.0	32	136.6	6	143.2	147	139.8	12	138.4	7	137.7	5	133.4	23	135.2
46	中顔幅	17	100.6	4.63	19	101.9	1	98.0			4	104.0	44	102.1	9	103.6	160	104.6	17	105.0	8	98.9	10	100.4	26	99.5
47	顔高	19	115.9	5.87	22	114.2	2	120.5	1	124	5	121.8	27	115.8	11	115.8	107	123.2	14	117.1	9	109.3	11	120.3		
48	上顔高	23	68.9	3.53	29	64.0	5	68.0	1	72	7	71.7	49	68.8	13	67.0	152	74.3	17	68.1	10	62.2	8	66.8	10	68.5
47/45	Kollmann 顔示数	5	86.9	3.14	8	81.3	1	89.1	1	[92.5]	3	84.1	18	79.9	4	79.6	95	88.0	12	84.6	7	79.9	5	87.9		
47/46	Virchow 顔示数	14	116.5	5.94	15	112.0	1	125.5			3	115.7	26	112.8			101	117.6	14	111.8	7	111.6	10	120.0		
48/45	Kollmann 上顔示数	6	51.2	2.00	8	45.3	1	47.8	1	[53.7]	4	49.7	29	50.7	6	48.3	129	53.0	12	49.3	7	45.6	3	48.7	8	51.1
48/46	Virchow 上顔示数	17	69.1	2.38	15	62.6	1	67.4			4	68.7	41	67.5	8	67.7	142	71.0	17	64.8	8	63.4	7	67.5	10	69.5
51	眼窩幅	21	42.7	1.55	25	43.0	4	42.0	1	45	4	44.5	46	43.0	14	43.5	128	43.3	15	43.1	8	43.1	9	42.9	26	43.0
52	眼窩高	21	33.5	1.43	33	32.6	4	33.3	1	33	4	32.0	43	34.1	12	33.5	134	34.5	15	32.8	9	31.8	9	33.7	26	34.8
52/51	眼窩示数	18	78.7	3.60	25	76.4	2	77.3	1	73.3	4	72.0	43	79.4	12	76.5	124	79.7	15	76.2	8	74.2	9	78.6	26	80.9
54	鼻幅	23	27.2	1.53	34	27.5	5	25.4	1	28	7	26.9	53	26.4	13	26.6	160	27.1	16	27.8	10	26.1	10	25.6	26	26.3
55	鼻高	25	49.7	3.17	36	49.4	6	52.0	1	52	7	53.0	53	51.8	14	48.6	158	52.8	16	51.0	10	45.2	11	52.5	26*	52.0
54/55	鼻示数	18	55.2	3.84	32	55.7	5	49.6	1	53.9	7	50.8	50	51.2	12	54.5	154	51.3	16	54.4	9	57.0	10	48.7	26	50.6
57	鼻骨最小幅	20	9.2	1.62	29	9.6	5	8.4	1	9	7	8.4	47	7.7	9	9.2	155	8.2	13	10.2						
50/F	鼻根湾曲示数	16	81.2	7.63	29	83.5	6	86.2	1	81.0	5	82.6	42	88.7			150	88.5	13	76.7						

[1]松下（1990），[2]池田（1993），[3]清野・宮本（1926），[4]中橋・永井（1989），[5]内藤（1971），[6]九州大学医学部解剖学第二講座（1988），[7]松下（1981），[8]現代日本人頭骨研究班（1983）
*NLH 鼻高の値を代用

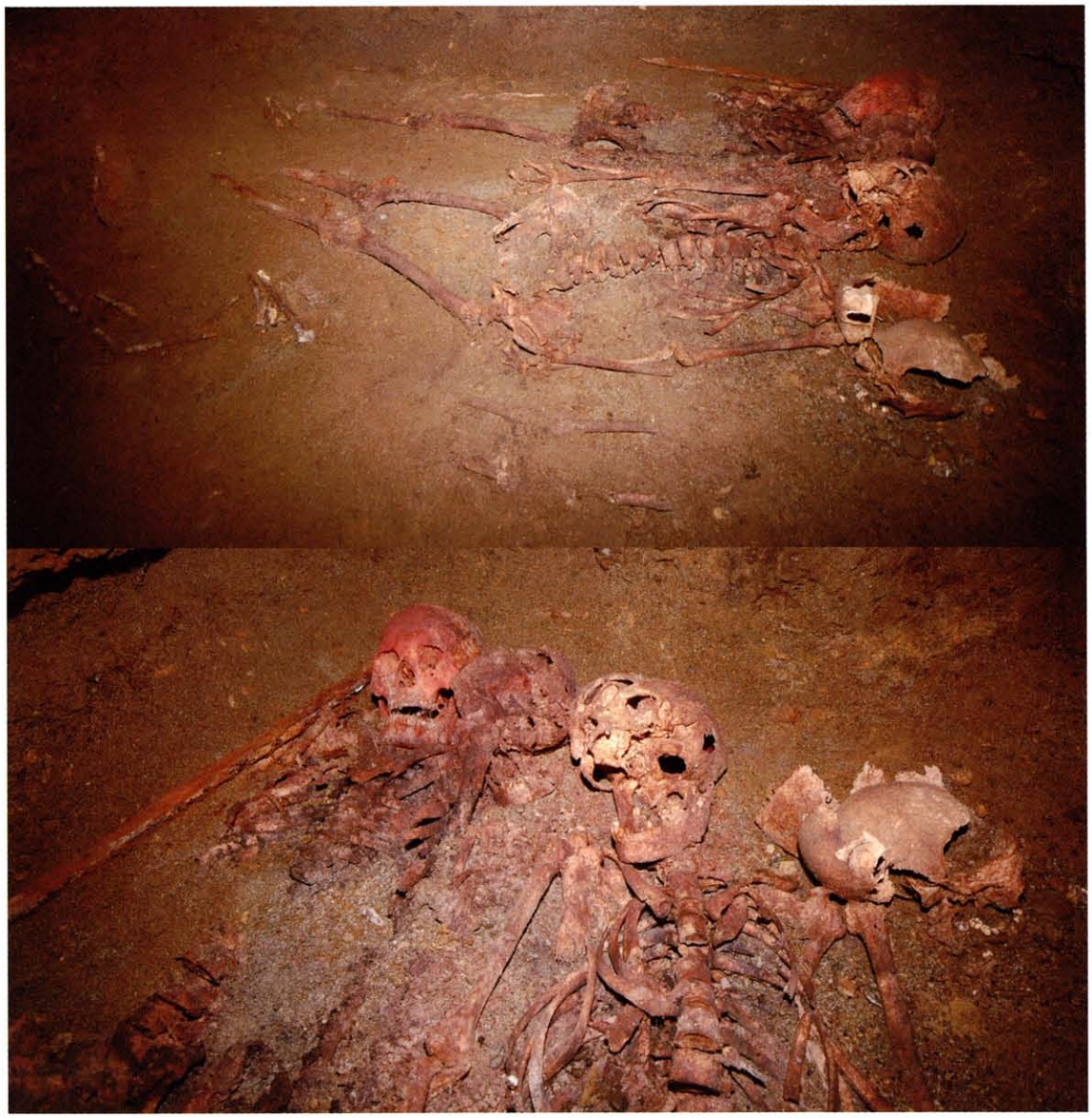


写真１　島内地下式横穴墓群 113 号墓　人骨出土状況

写真２　島内地下式横穴墓群 113 号墓　１号人骨　頭蓋　正面・側面・上面観

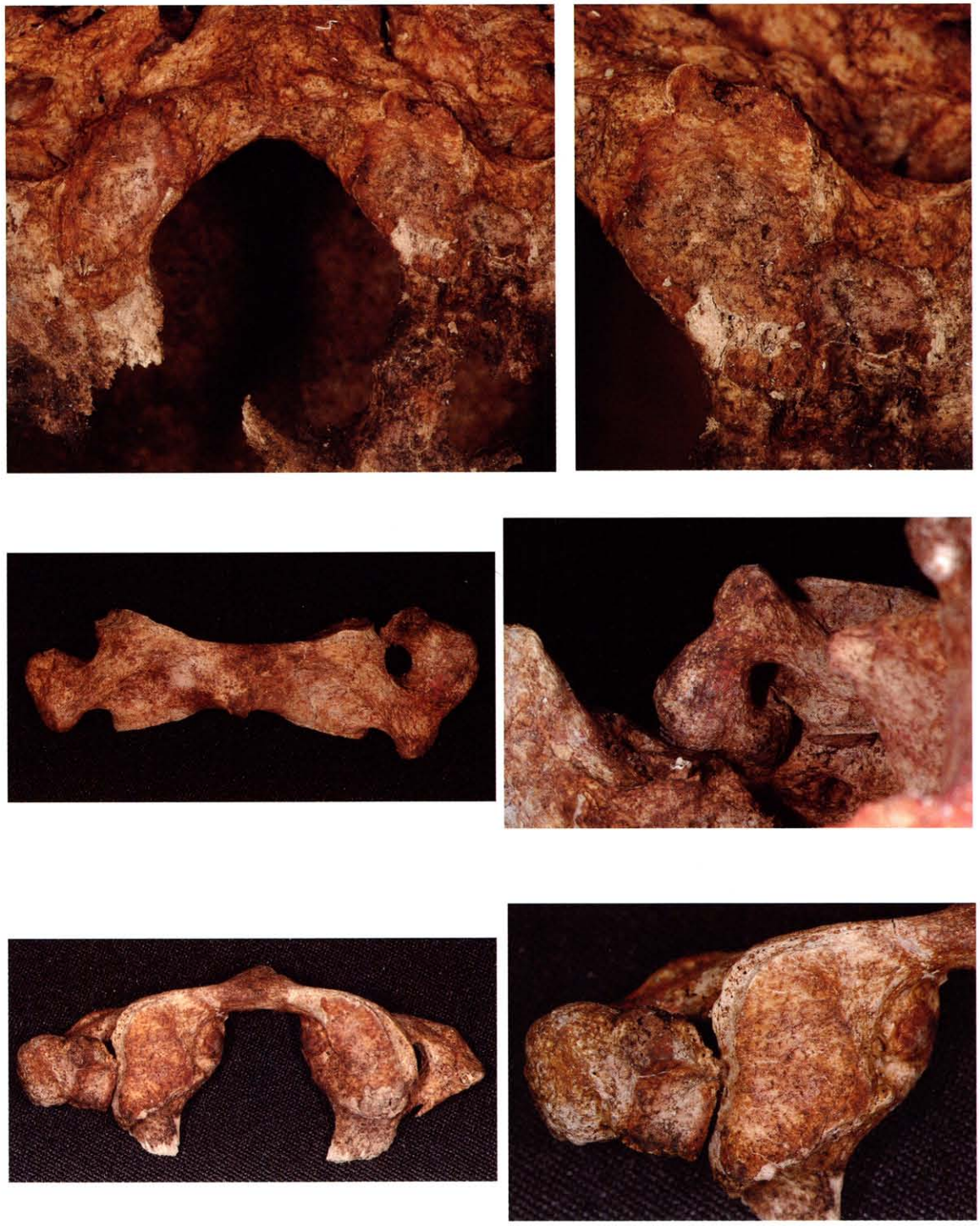


写真３　島内地下式横穴墓群 113 号墓　１号人骨　頭蓋　左後頭顆形態異常

写真４　島内地下式横穴墓群 113 号墓　３号人骨　頭蓋　正面・側面・上面観

写真５　島内地下式横穴墓群 113 号墓　３号人骨　右側腹部のハエ蛹殻出土状況
（上：右腕と右肋骨の間　下：ハエ蛹殻の拡大写真）

写真６　島内地下式横穴墓群 113 号墓　３号人骨　歯髄露出と歯根嚢胞
（上：下顎左中切歯と下顎左犬歯の歯髄露出　下：下顎左犬歯の歯根嚢胞）

写真７　島内地下式横穴墓群 113 号墓　５号人骨　右上腕骨大結節稜　骨軟骨腫
（上：右上腕骨大結節稜　骨軟骨腫　下：骨軟骨腫の拡大写真）

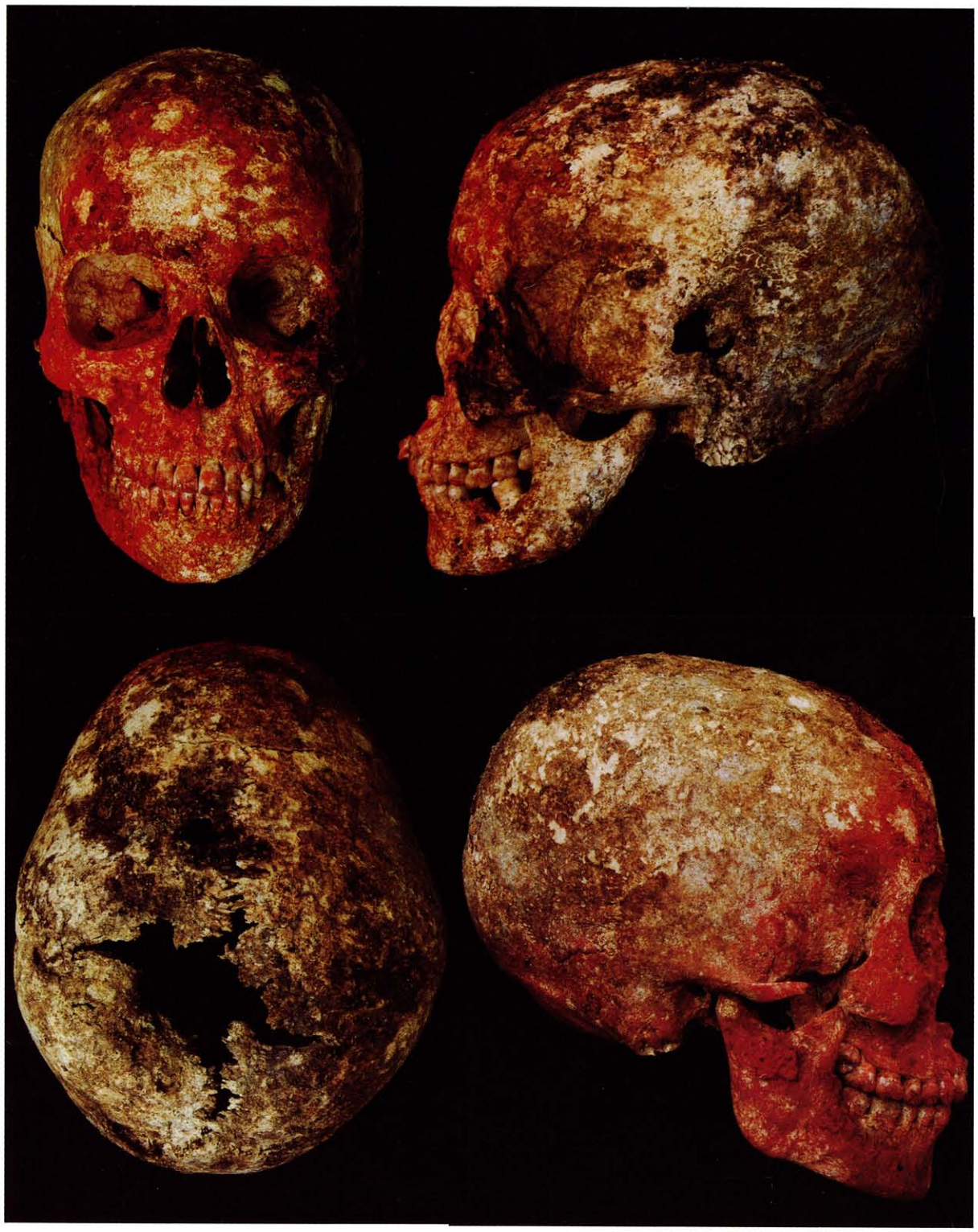


写真８　島内地下式横穴墓群 115 号墓　１号人骨　頭蓋　正面・側面・上面観

写真９　島内地下式横穴墓群 115 号墓　１号人骨
上顎左犬歯の萌出位置の異常に伴う乳犬歯の残存

写真 10　島内地下式横穴墓群 115 号墓　5 号人骨　頭蓋　上面観

写真 11　島内地下式横穴墓群 118 号墓　1 号人骨　頭蓋　正面・側面・上面観

写真 12　島内地下式横穴墓群 124 号墓　1 号人骨　頭蓋　正面・側面・上面観

写真 13　島内地下式横穴墓群 124 号墓　2 号人骨　頭蓋　正面・側面・上面観

付表1. 1. 島内地下式横穴墓群出土男性成人骨の脳頭蓋計測値（mm）及び示数

M No.	人骨番号	島内 113－1	島内 123－1
	性別	男性	男性
	年齢	壮年 後期	熟年
1	頭蓋最大長	186	
8	頭蓋最大幅	141	
17	ﾊﾞｼﾞｵﾝ･ﾌﾞﾚｸﾞﾏ高	135	
3	ｸﾞﾗﾍﾞﾛﾗﾑﾀﾞ長	184	
20	耳ﾌﾞﾚｸﾞﾏ高		
5	頭蓋底長	97	
9	最小前頭幅	92	
10	最大前頭幅	119	
11	両耳幅	130	
12	最大後頭幅	111	
13	乳突幅	105	
7	大後頭孔長	35	36
16	大後頭孔幅	28	30
23	頭蓋水平周	532	
24	横弧長	330	
25	正中矢状弧長	387	
26	正中矢状前頭弧長	131	
27	正中矢状頭頂弧長	138	
28	正中矢状後頭弧長	118	120
29	正中矢状前頭弦長	116	
30	正中矢状頭頂弦長	121	
31	正中矢状後頭弦長	100	95
8/1	頭蓋長幅示数	75.8	
17/1	頭蓋長高示数	72.6	
17/8	頭蓋幅高示数	95.7	
20/1	頭長耳ﾌﾞﾚｸﾞﾏ高示数		
20/8	頭幅耳ﾌﾞﾚｸﾞﾏ高示数		
9/10	横前頭示数	77.3	
9/8	横前頭頭頂示数	65.2	
16/7	大後頭孔示数	80.0	83.3
1+8+17/3	頭蓋ﾓｽﾞﾙｽ	154.0	
26/25	前頭矢状弧示数	33.9	
27/25	頭頂矢状弧示数	35.7	
28/25	後頭矢状弧示数	30.5	
27/26	矢状前頭頭頂示数	105.3	
28/26	矢状前頭後頭示数	90.1	
28/27	矢状頭頂後頭示数	85.5	
29/26	矢状前頭示数	88.5	
30/27	矢状頭頂示数	87.7	
31/28	矢状後頭示数	84.7	79.2

付表1. 2. 島内地下式横穴墓群出土女性成人骨の脳頭蓋計測値（mm）及び示数

M No.	人骨番号	島内 113－3	島内 115－1	島内 115－5	島内 118－1	島内 122－3	島内 123－2
	性別	女性	女性	女性	女性	女性	女性
	年齢	老年	壮年	熟年	熟年	壮年後期	熟年
1	頭蓋最大長		177	(171)	177		
8	頭蓋最大幅		135	131			
17	ﾊﾞｼﾞｵﾝ･ﾌﾞﾚｸﾞﾏ高		130		130	119	
3	ｸﾞﾗﾍﾞﾛﾗﾑﾀﾞ長		173	168	173	161	
20	耳ﾌﾞﾚｸﾞﾏ高						
5	頭蓋底長		92		101		
9	最小前頭幅		91	90			91
10	最大前頭幅		110	105			
11	両耳幅		122		117		
12	最大後頭幅		105		100		
13	乳突幅						
7	大後頭孔長		36		28	33	
16	大後頭孔幅		27		26	27	
23	頭蓋水平周		506				
24	横弧長		302				
25	正中矢状弧長		370		367		
26	正中矢状前頭弧長		121	111	117		119
27	正中矢状頭頂弧長	126	131	124	133		
28	正中矢状後頭弧長		118		117		
29	正中矢状前頭弦長		106	101	104		105
30	正中矢状頭頂弦長	114	114	106	114		
31	正中矢状後頭弦長		100		97		
8/1	頭蓋長幅示数		76.3	(76.6)			
17/1	頭蓋長高示数		73.4		73.4		
17/8	頭蓋幅高示数		96.3				
20/1	頭長耳ﾌﾞﾚｸﾞﾏ高示数						
20/8	頭幅耳ﾌﾞﾚｸﾞﾏ高示数						
9/10	横前頭示数		82.7	85.7			
9/8	横前頭頭頂示数		67.4	68.7			
16/7	大後頭孔示数		75.0		92.9	81.8	
1+8+17/3	頭蓋ﾓｽﾞﾙｽ		147.3				
26/25	前頭矢状弧示数		32.7		31.9		
27/25	頭頂矢状弧示数		35.4		36.2		
28/25	後頭矢状弧示数		31.9		31.9		
27/26	矢状前頭頭頂示数		108.3	111.7	113.7		
28/26	矢状前頭後頭示数		97.5		100.0		
28/27	矢状頭頂後頭示数		90.1		88.0		
29/26	矢状前頭示数		87.6	91.0	88.9		88.2
30/27	矢状頭頂示数	90.5	87.0	85.5	85.7		
31/28	矢状後頭示数		84.7		82.9		

付表1. 3. 島内地下式横穴墓群出土未成人骨の脳頭蓋計測値（mm）及び示数

M No.	人骨番号	島内 113－4	島内 117－2	島内 122－2
	性別	?	?	?
	年齢	幼児 (3～4歳)	小児 (10～11歳)	小児 (9歳)
1	頭蓋最大長			
8	頭蓋最大幅			
17	ﾊﾞｼﾞｵﾝ･ﾌﾞﾚｸﾞﾏ高			
3	ｸﾞﾗﾍﾞﾛﾗﾑﾀﾞ長			
20	耳ﾌﾞﾚｸﾞﾏ高			
5	頭蓋底長			
9	最小前頭幅			
10	最大前頭幅			
11	両耳幅			
12	最大後頭幅			
13	乳突幅			
7	大後頭孔長			
16	大後頭孔幅			
23	頭蓋水平周			
24	横弧長			
25	正中矢状弧長			
26	正中矢状前頭弧長	123	120	119
27	正中矢状頭頂弧長			127
28	正中矢状後頭弧長			
29	正中矢状前頭弦長	103	104	102
30	正中矢状頭頂弦長			111
31	正中矢状後頭弦長			
8/1	頭蓋長幅示数			
17/1	頭蓋長高示数			
17/8	頭蓋幅高示数			
20/1	頭長耳ﾌﾞﾚｸﾞﾏ高示数			
20/8	頭幅耳ﾌﾞﾚｸﾞﾏ高示数			
9/10	横前頭示数			
9/8	横前頭頭頂示数			
16/7	大後頭孔示数			
1+8+17/3	頭蓋ﾓｽﾞﾙｽ			
26/25	前頭矢状弧示数			
27/25	頭頂矢状弧示数			
28/25	後頭矢状弧示数			
27/26	矢状前頭頭頂示数			106.7
28/26	矢状前頭後頭示数			
28/27	矢状頭頂後頭示数			
29/26	矢状前頭示数	83.7	86.7	85.7
30/27	矢状頭頂示数			87.4
31/28	矢状後頭示数			

付表2. 1. 島内地下式横穴墓群出土男性成人骨の顔面頭蓋計測値（mm）及び示数

	人骨番号	島内 113－1	島内 113－5	島内 114－1	島内 117－3	島内 122－1	島内 123－1
	性別	男性	男性	男性	男性	男性	男性
M No.	年齢	壮年後期	壮年	熟年	壮年	壮年	熟年
40	顔長	100					
45	頬骨弓幅	139	((147))				
46	中顔幅	96	((110))				
47	顔高	114	((115))				
48	上顔高	70	66				
51	眼窩幅（左）	40					
	眼窩幅（右）	41	43				
52	眼窩高（左）	33					
	眼窩高（右）	33	36				
54	鼻幅	26	30				
55	鼻高	50	47				
H.	NLH鼻高	50	47				
43	上顔幅	104					
44	両眼窩間幅	99					
50	前眼窩間幅	17					
F.	鼻根横弧長	25					
57	鼻骨最小幅	8	9				
60	上顎歯槽長	54	53				
61	上顎歯槽幅	63	71				
62	口蓋長	48	49				
63	口蓋幅	39	41				
47/45	Kollmann顔示数	82.0					
47/46	Virchow顔示数	118.8					
48/45	Kollmann上顔示数	50.4	((44.9))				
48/46	Virchow上顔示数	72.9	((60.0))				
52/51	眼窩示数（左）	82.5					
	眼窩示数（右）	80.5	83.7				
54/55	鼻示数	52.0	63.8				
40+45+47/3	顔面ﾓｽﾞﾙｽ	117.7					
61/60	上顎歯槽示数	116.7	134.0				
63/62	口蓋示数	81.3	83.7				
64/63	口蓋高示数						
40/5	顎示数	103.1					
50/44	眼窩間示数	17.2					
50/F.	鼻根湾曲示数	68.0					
65	下顎関節突起幅	131					
65（1）	下顎筋突起幅	109	109				
66	下顎角幅	101					
69	ｵﾄｶﾞｲ高	34	36		33		34
69（1）	下顎体高（左）	30	35	33			35
	下顎体高（右）	31		33		33	34
69（3）	下顎体厚（左）	15	15				
	下顎体厚（右）	15		15		13	13
70a	下顎頭高（左）	62					
	下顎頭高（右）	64					58
70	下顎枝高（左）	65					
	下顎枝高（右）	68					
71	下顎枝幅（左）	36	38				
	下顎枝幅（右）	35	38				
71a	最小下顎枝幅（左）	36	38				
	最小下顎枝幅（右）	35	38				
68	下顎（体）長	74					84
68（1）	下顎長	100					
79	下顎枝角（左）	118	119				
	下顎枝角（右）	120					
71/70	下顎枝示数（左）	55.4					
	下顎枝示数（右）	51.5					

付表2. 2. 島内地下式横穴墓群出土女性成人骨の顔面頭蓋計測値（mm）及び示数

	人骨番号	島内 113－3	島内 114－5	島内 115－1	島内 115－5	島内 118－1	島内 119－1	島内 120－1	島内 122－3	島内 123－2
	性別	女性	女性	女性	女性	女性	女性	女性	女性	女性
M No.	年齢	老年	壮年	壮年	熟年	熟年	壮年	熟年	壮年後期	熟年
40	顔長			92		97				
45	頬骨弓幅			127		((128))				
46	中顔幅	95		92		((98))				
47	顔高			106	91	95				
48	上顔高			61	107	58				
51	眼窩幅（左）			40	64	38				
	眼窩幅（右）			39	38					
52	眼窩高（左）			34	37	32				
	眼窩高（右）			32	35					
54	鼻幅	26		25	35	27				25
55	鼻高			44	25	44				
H.	NLH鼻高			44	45	44				
43	上顔幅			99						
44	両眼窩間幅			93						
50	前眼窩間幅			16		18				
F.	鼻根横弧長			20		22				
57	鼻骨最小幅			9		5				
60	上顎歯槽長			49						
61	上顎歯槽幅			62						
62	口蓋長			43						
63	口蓋幅			37						
47/45	Kollmann顔示数			83.5		((74.2))				
47/46	Virchow顔示数			115.2	117.6	((96.9))				
48/45	Kollmann上顔示数			48.0		((45.3))				
48/46	Virchow上顔示数			66.3	70.3	((59.2))				
52/51	眼窩示数（左）			85.0	92.1	84.2				
	眼窩示数（右）			82.1	94.6					
54/55	鼻示数			56.8	55.6	61.4				
40+45+47/3	顔面ﾓｽﾞﾙｽ			108.3		((106.7))				
61/60	上顎歯槽示数			126.5						
63/62	口蓋示数			86.0						
64/63	口蓋高示数									
40/5	顎示数			100.0		96.0				
50/44	眼窩間示数			17.2						
50/F.	鼻根湾曲示数			80.0		81.8				
65	下顎関節突起幅			115				136		
65（1）	下顎筋突起幅			95		94		108		
66	下顎角幅									
69	ｵﾄｶﾞｲ高		29	31		28	27	36	29	
69（1）	下顎体高（左）		27	28		26	31	36		
	下顎体高（右）		29	29		27	29		28	
69（3）	下顎体厚（左）	16	13	12		13	14	15		
	下顎体厚（右）	15	13	12		13	15	15	15	
70a	下顎頭高（左）			44		48				
	下顎頭高（右）			47						
70	下顎枝高（左）					53				
	下顎枝高（右）			54						
71	下顎枝幅（左）					53				
	下顎枝幅（右）		35	34						
71a	最小下顎枝幅（左）					33				
	最小下顎枝幅（右）		34	34						
68	下顎（体）長		70	70						
68（1）	下顎長			98						
79	下顎枝角（左）									
	下顎枝角（右）			126						
71/70	下顎枝示数（左）					62.3				
	下顎枝示数（右）			63.0						

付表2．3．島内地下式横穴墓群出土未成人骨の顔面頭蓋計測値（mm）及び示数

M No.	人骨番号	島内 117－1	島内 117－2	島内 118－3	島内 122－2
	性別	?	?	?	?
	年齢	小児（8歳）	小児（10～11歳）	若年（15～16歳）	小児（9歳）
40	顔長				
45	頬骨弓幅				
46	中顔幅				
47	顔高				
48	上顔高				
51	眼窩幅（左）				
	眼窩幅（右）				
52	眼窩高（左）				
	眼窩高（右）				
54	鼻幅				
55	鼻高				
H.	NLH 鼻高				
43	上顔幅				
44	両眼窩間幅				
50	前眼窩間幅				
F.	鼻根横弧長				
57	鼻骨最小幅				
60	上顎歯槽長				
61	上顎歯槽幅				
62	口蓋長				
63	口蓋幅				
47/45	Kollmann 顔示数				
47/46	Virchow 顔示数				
48/45	Kollmann 上顔示数				
48/46	Virchow 上顔示数				
52/51	眼窩示数（左）				
	眼窩示数（右）				
54/55	鼻示数				
40+45+47/3	顔面ﾓｽﾞﾙｽ				
61/60	上顎歯槽示数				
63/62	口蓋示数				
64/63	口蓋高示数				
40/5	顎示数				
50/44	眼窩間示数				
50/F.	鼻根湾曲示数				
65	下顎関節突起幅				
65（1）	下顎筋突起幅				
66	下顎角幅				
69	ｵﾄｶﾞｲ高	24	28	30	25
69（1）	下顎体高（左）	24	26		25
	下顎体高（右）	24	26	26	
69（3）	下顎体厚（左）	12	13		14
	下顎体厚（右）	12	13	13	
70a	下顎頭高（左）				
	下顎頭高（右）				
70	下顎枝高（左）				
	下顎枝高（右）				
71	下顎枝幅（左）				
	下顎枝幅（右）				
71a	最小下顎枝幅（左）				
	最小下顎枝幅（右）				
68	下顎（体）長				
68（1）	下顎長				
79	下顎枝角（左）				
	下顎枝角（右）				
71/70	下顎枝示数（左）				
	下顎枝示数（右）				

付表3．1．島内地下式横穴墓群出土男性成人骨の顔面平坦度計測値（mm）及び示数

人骨番号	島内 113－1	島内 113－5
性別	男性	男性
年齢	壮年後期	壮年
前頭骨弦	97.1	
前頭骨左辺	51.8	
前頭骨右辺	50.0	
前頭骨垂線	15.3	
前頭骨平坦示数	15.7	
鼻骨弦	8.1	9.3
鼻骨左辺	5.7	4.7
鼻骨右辺	5.1	4.7
鼻骨垂線	3.6	0.7
鼻骨平坦示数	44.0	7.4
頬上顎骨弦	97.4	
頬上顎骨左辺	53.5	
頬上顎骨右辺	54.9	
頬上顎骨垂線	23.8	
頬上顎骨平坦示数	24.4	

付表3．2．島内地下式横穴墓群出土女性成人骨の顔面平坦度計測値（mm）及び示数

人骨番号	島内 113－3	島内 115－1	島内 118－1
性別	女性	女性	女性
年齢	老年	壮年	熟年
前頭骨弦		91.5	
前頭骨左辺		47.4	
前頭骨右辺		47.9	
前頭骨垂線		13.3	
前頭骨平坦示数		14.6	
鼻骨弦		9.2	4.5
鼻骨左辺		6.0	2.9
鼻骨右辺		5.3	2.6
鼻骨垂線		3.3	1.6
鼻骨平坦示数		35.6	35.1
頬上顎骨弦	93.8	91.3	
頬上顎骨左辺	51.6	50.0	
頬上顎骨右辺	50.9	51.4	
頬上顎骨垂線	20.7	22.1	
頬上顎骨平坦示数	22.0	24.2	

付表4. 1. 島内地下式横穴墓群出土男性成人骨の頭蓋形態小変異の出現状況

	人骨番号	島内 113－1		島内 113－5		島内 114－1		島内 115－3		島内 117－3		島内 122－1		島内 123－1	
	性別	男性		男性		男性		男性		男性		男性		男性	
	年齢	壮年後期		壮年		熟年		熟年		壮年		壮年		熟年	
		右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左
1	ラムダ小骨		－										＋		
2	ラムダ縫合骨											＋	＋		
3	インカ骨		－												
4	横後頭縫合痕跡	－	－												
5	アステリオン小骨	＋	－	－											－
6	後頭乳突縫合骨	－	－	－											－
7	頭頂切痕骨	＋	－	－											－
8	頭頂孔														
9	冠状縫合骨														
10	前頭縫合残存		－				－				－		－		
11	眼窩上神経溝	－	－												
12	眼窩上孔	－	－							－					
13	前頭孔	－	－							－					
14	二分頬骨	－	－	－											
15	横頬骨縫合痕跡	－	－	－											
16	頬骨顔面孔欠如														
17	口蓋隆起		＋		－						－				－
18	内側口蓋管骨橋	＋	＋	＋	－						－			－	－
19	外側口蓋管骨橋	－	－	－	－						－			－	－
20	歯槽口蓋管	－	－	－	－						－			－	－
21	顆管欠如	＋	－			－				－				－	－
22	後頭顆前結節	－	－											－	－
23	第３後頭顆		－												－
24	後頭顆旁突起														－
25	舌下神経管二分	－	－	－		－				＋	－		－	－	－
26	頸静脈孔二分	－	－												
27	偏側頸静脈孔優位		－												
28	外耳道骨瘤	＋	＋	＋	＋			－		－	－	－			－
29	フシュケ孔	－	－	－	－					－	－	－			－
30	ベサリウス孔	－	＋	－											
31	卵円孔形成不全	＋	－	－											
32	棘孔開裂	－	－												
33	翼棘孔	－	－	－											
34	床状突起間骨橋	－	－											－	－
35	左側横洞溝優位													R	
36	鱗状縫合骨														
37	矢状縫合骨														
38	プレグマ小骨		－												
39	後頭顆二分														
40	下顎隆起														
41	顎舌骨筋神経管														
42	副オトガイ孔	－	－	－	－	－	－					－	－		
43	下顎隆起	＋	＋	＋	＋	＋	＋				＋	－	－	＋	＋
44	顎舌骨筋神経管	－	－	－	－	－								－	－
45	副下顎管				－										

付表 4. 2. 島内地下式横穴墓群出土女性成人骨の頭蓋形態小変異の出現状況 (1)

	人骨番号	島内 113－3		島内 114－5		島内 115－1		島内 115－5		島内 118－1		島内 119－1		島内 120－1		島内 122－3	
	性別	女性		女性		女性		女性		女性		女性		女性		女性	
	年齢	老年		壮年		壮年		熟年		熟年		壮年		熟年		壮年後期	
		右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左
1	ラムダ小骨	+					－				－						
2	ラムダ縫合骨		－			－	+			－	+						
3	インカ骨						－				－						
4	横後頭縫合痕跡	－				－	－			－	－						
5	アステリオン小骨					－	－			－	－						
6	後頭乳突縫合骨					－	－			－	－						
7	頭頂切痕骨		－			+			－		－						
8	頭頂孔																
9	冠状縫合骨																
10	前頭縫合残存				－		－		－		－		－		－		－
11	眼窩上神経溝			－							－					－	
12	眼窩上孔	－		－		－	－	+	+	－	－						－
13	前頭孔	－		－		－	－	－	－	－	－						－
14	二分頬骨	－	－			－	－				－						
15	横頬骨縫合痕跡	－	－			－	－				－						
16	頬骨顔面孔欠如																
17	口蓋隆起		－		－		－		－		+						
18	内側口蓋管骨橋	－	－	－	－	+	－	－	－	－	－	－	+	－	－		
19	外側口蓋管骨橋	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
20	歯槽口蓋管	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
21	顆管欠如	－				+	－			+	－					+	+
22	後頭顆前結節	－	－			－	－			－	－						
23	第３後頭顆		－				－				－						
24	後頭顆旁突起	－	－			－	－			－	－						+
25	舌下神経管二分	+	+			－	－			－	－	－	－			－	－
26	頸静脈孔二分	－				－	－			－	－						
27	偏側頸静脈孔優位						－				－						
28	外耳道骨瘤	+	+			－	－			－	－		－	－	－	－	－
29	フシュケ孔	+	+			－	－		－	－	－		+	－	－	+	－
30	ベサリウス孔	+	－			－	+	－	+	+	－						－
31	卵円孔形成不全	－				－	－	－	－	－	－						－
32	棘孔開裂	－				－	－	－	－	－	－						－
33	翼棘孔	－	－			－	－	－	－	－	－						
34	床状突起間骨橋					－	－	－	－	－	－						
35	左側横洞溝優位		－								R						
36	鱗状縫合骨																
37	矢状縫合骨																
38	プレグマ小骨																
39	後頭顆二分																
40	下顎隆起																
41	顎舌骨筋神経管																
42	副オトガイ孔	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				－	－	－
43	下顎隆起	+	+	－	－	－	－	+	－	－	－	－	－	+	+	－	－
44	顎舌骨筋神経管	－	－	－	－	－	－			－	－				－		
45	副下顎管	－	－	－	－	－	－										

付表4. 2. 島内地下式横穴墓群出土女性成人骨の頭蓋形態小変異の出現状況 (2)

	人骨番号	島内 123－2	
	性別	女性	
	年齢	熟年	
		右	左
1	ラムダ小骨		
2	ラムダ縫合骨		
3	インカ骨		
4	横後頭縫合痕跡		
5	アステリオン小骨		
6	後頭乳突縫合骨		
7	頭頂切痕骨		
8	頭頂孔		
9	冠状縫合骨		
10	前頭縫合残存	－	
11	眼窩上神経溝	－	
12	眼窩上孔	－	－
13	前頭孔	－	－
14	二分頬骨		
15	横頬骨縫合痕跡		
16	頬骨顔面孔欠如		
17	口蓋隆起	－	
18	内側口蓋管骨橋	－	－
19	外側口蓋管骨橋	－	－
20	歯槽口蓋管	－	－
21	顆管欠如	－	
22	後頭顆前結節		
23	第3後頭顆		
24	後頭顆旁突起		
25	舌下神経管二分	－	－
26	頸静脈孔二分		
27	偏側頸静脈孔優位		
28	外耳道骨瘤		－
29	フシュケ孔		＋
30	ベサリウス孔		
31	卵円孔形成不全		
32	棘孔開裂		
33	翼棘孔		
34	床状突起間骨橋		
35	左側横洞溝優位		
36	鱗状縫合骨		
37	矢状縫合骨		
38	プレグマ小骨		
39	後頭顆二分		
40	下顎隆起		
41	顎舌骨筋神経管		
42	副オトガイ孔		
43	下顎隆起	＋	＋
44	顎舌骨筋神経管		＋
45	副下顎管		

付表4. 3. 島内地下式横穴墓群出土未成人骨の頭蓋形態小変異の出現状況 (1)

	人骨番号	島内 113－2		島内 113－4		島内 114－4		島内 115－2		島内 115－4		島内 117－1		島内 117－2		島内 117－4	
	性別	不明		不明		不明		不明		不明		不明		不明		不明	
	年齢	小児 7歳		幼児 3～4歳		小児 8～9歳		小児 6歳		若年 15～16歳		小児 8歳		小児 10～11歳		小児 8～9歳	
		右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左
1	ラムダ小骨																
2	ラムダ縫合骨		+														
3	インカ骨																
4	横後頭縫合痕跡																
5	アステリオン小骨																
6	後頭乳突縫合骨																
7	頭頂切痕骨																
8	頭頂孔																
9	冠状縫合骨																
10	前頭縫合残存				－										－		
11	眼窩上神経溝			－	－									－	－		
12	眼窩上孔			－										－	－		
13	前頭孔			－										－	－		
14	二分頬骨																
15	横頬骨縫合痕跡																
16	頬骨顔面孔欠如																
17	口蓋隆起														－		
18	内側口蓋管骨橋													－	－	－	－
19	外側口蓋管骨橋													－	－	－	－
20	歯槽口蓋管													－	－	－	－
21	顆管欠如							+	－					+	－		
22	後頭顆前結節																
23	第3後頭顆																
24	後頭顆旁突起													－	－		
25	舌下神経管二分						－	－	－	－	－			+	+		
26	頸静脈孔二分																
27	偏側頸静脈孔優位																
28	外耳道骨瘤				－	++	++	－	－	++		－		－	－		
29	フシュケ孔				－					－		+		－	－		
30	ベサリウス孔			+	－									－	－		
31	卵円孔形成不全			－	－									－	－		
32	棘孔開裂			－	－									－	－		
33	翼棘孔			－	－									－	－		
34	床状突起間骨橋			－	－									－	－		
35	左側横洞溝優位		－														
36	鱗状縫合骨																
37	矢状縫合骨																
38	プレグマ小骨																
39	後頭顆二分																
40	下顎隆起																
41	顎舌骨筋神経管																
42	副オトガイ孔											+	+	－	－		
43	下顎隆起											－	－	－	－		
44	顎舌骨筋神経管											－			－		
45	副下顎管																

付表4. 3. 島内地下式横穴墓群出土未成人骨の頭蓋形態小変異の出現状況 (2)

	人骨番号	島内 118－3		島内 119－2		島内 122－2	
	性別	不明		不明		不明	
	年齢	若年 15～16歳		小児 8～9歳		小児 9歳	
		右	左	右	左	右	左
1	ラムダ小骨						
2	ラムダ縫合骨						
3	インカ骨						
4	横後頭縫合痕跡						
5	アステリオン小骨						
6	後頭乳突縫合骨						
7	頭頂切痕骨						
8	頭頂孔						
9	冠状縫合骨						
10	前頭縫合残存		－			－	
11	眼窩上神経溝						－
12	眼窩上孔						－
13	前頭孔						－
14	二分頬骨						－
15	横頬骨縫合痕跡						－
16	頬骨顔面孔欠如						
17	口蓋隆起		－			－	
18	内側口蓋管骨橋						－
19	外側口蓋管骨橋						－
20	歯槽口蓋管						－
21	顆管欠如	－	－				
22	後頭顆前結節	－	－				
23	第3後頭顆		－				
24	後頭顆旁突起						
25	舌下神経管二分	－	－	－	－		
26	頸静脈孔二分						
27	偏側頸静脈孔優位						
28	外耳道骨瘤	－				－	
29	フシュケ孔	＋	＋			－	
30	ベサリウス孔						
31	卵円孔形成不全						－
32	棘孔開裂						
33	翼棘孔						
34	床状突起間骨橋						
35	左側横洞溝優位					R	
36	鱗状縫合骨						
37	矢状縫合骨						
38	プレグマ小骨						
39	後頭顆二分						
40	下顎隆起						
41	顎舌骨筋神経管						
42	副オトガイ孔	－					－
43	下顎隆起	－	－			－	－
44	顎舌骨筋神経管						－
45	副下顎管						

付表5. 1. 島内地下式横穴墓群出土女性成人骨の上腕骨計測値(mm)及び示数

上腕骨 M No.	人骨番号		島内 113－3	島内 114－5	島内 115－1	島内 118－1	島内 122－3
	性　別		女性	女性	女性	女性	女性
	年　齢		老年	壮年	壮年	熟年	壮年後期
1	最大長	左	259				
		右	263	260			
2	全長	左	256				
		右	260	255			
5	中央最大径	左	18				18
		右	19	16	20	21	19
6	中央最小径	左	14				15
		右	15	15	14	13	15
7	骨体最小周	左	54				52
		右	55	52	53	56	55
7a	中央周	左	54				54
		右	56	53	57	58	58
6/5	骨体断面示数	左	77.8				83.3
		右	78.9	93.8	70.0	61.9	78.9
7/1	長厚示数	左	20.8				
		右	20.9	20.0			

付表5. 2. 島内地下式横穴墓群出土未成人骨の上腕骨計測値(mm)及び示数

上腕骨 M No.	人骨番号		島内 122－2
	性　別		不明
	年　齢		小児
			9歳
1	最大長	左	
		右	
2	全長	左	
		右	
5	中央最大径	左	14
		右	
6	中央最小径	左	10
		右	
7	骨体最小周	左	39
		右	
7a	中央周	左	42
		右	
6/5	骨体断面示数	左	71.4
		右	
7/1	長厚示数	左	
		右	

付表6. 1. 島内地下式横穴墓群出土男性成人骨の橈骨計測値 (mm) 及び示数

橈骨 M No.	人骨番号		島内 133－5	島内 122－1
	性　別		男性	男性
	年　齢		壮年	壮年
1	最大長	左		
		右		
2	機能長	左		
		右		
3	最小周	左		43
		右	45	
4	骨体横径	左		16
		右		15
5	骨体矢状径	左		12
		右		12
4a	骨体中央横径	左		
		右		
5a	骨体中央矢状径	左		
		右		
5(5)	骨体中央周	左		
		右		
3/2	長厚示数	左		
		右		
5/4	骨体断面示数	左		75.0
		右		80.0
5a/4a	中央断面示数	左		
		右		

付表6. 2. 島内地下式横穴墓群出土女性成人骨の橈骨計測値 (mm) 及び示数

橈骨 M No.	人骨番号		島内 113－3	島内 118－1	島内 122－3
	性別		女性	女性	女性
	年齢		老年	熟年	壮年後期
1	最大長	左			
		右	193		190
2	機能長	左			
		右	181		183
3	最小周	左	33		34
		右	35	37	35
4	骨体横径	左	13	15	12
		右	14	15	14
5	骨体矢状径	左	9	11	9
		右	9	10	9
4a	骨体中央横径	左			
		右	13	14	14
5a	骨体中央矢状径	左			
		右	10	10	9
5(5)	骨体中央周	左			
		右	36	40	38
3/2	長厚示数	左			
		右	19.3		19.1
5/4	骨体断面示数	左	69.2	73.3	75.0
		右	64.3	66.7	64.3
5a/4a	中央断面示数	左			
		右	76.9	71.4	64.3

付表6. 2. 島内地下式横穴墓群出土未成人骨の橈骨計測値 (mm) 及び示数

橈骨 M No.	人骨番号		島内 119－2
	性別		不明
	年齢		小児 8～9歳
1	最大長	左	
		右	
2	機能長	左	
		右	
3	最小周	左	29
		右	
4	骨体横径	左	12
		右	
5	骨体矢状径	左	8
		右	
4a	骨体中央横径	左	
		右	
5a	骨体中央矢状径	左	
		右	
5(5)	骨体中央周	左	
		右	
3/2	長厚示数	左	
		右	
5/4	骨体断面示数	左	66.7
		右	
5a/4a	中央断面示数	左	
		右	

付表7. 1. 島内地下式横穴墓群出土男性成人骨の尺骨計測値(mm)及び示数

尺骨 M No.	人骨番号		島内 113－5
	性別		男性
	年齢		壮年
1	最大長	左	
		右	
2	機能長	左	
		右	
3	最小周	左	
		右	39
3'	中央周	左	
		右	
11	尺骨前後径	左	
		右	
12	尺骨横径	左	
		右	
11'	中央最小径	左	
		右	
12'	中央最大径	左	
		右	
3/2	長厚示数	左	
		右	
11/12	骨体断面示数	左	
		右	
11'/12'	骨体断面示数	左	
		右	

付表7. 2. 島内地下式横穴墓群出土女性成人骨の尺骨計測値(mm)及び示数

尺骨 M No.	人骨番号		島内 113－3	島内 119－1	島内 122－3
	性別		女性	女性	女性
	年齢		老年	壮年	壮年後期
1	最大長	左			
		右	214		
2	機能長	左			
		右	190		
3	最小周	左			
		右	34	37	32
3'	中央周	左			
		右	40		
11	尺骨前後径	左			10
		右	9		12
12	尺骨横径	左			14
		右	15		14
11'	中央最小径	左			
		右	10		
12'	中央最大径	左			
		右	16		
3/2	長厚示数	左			
		右	17.9		
11/12	骨体断面示数	左			71.4
		右	60.0		85.7
11'/12'	骨体断面示数	左			
		右	62.5		

付表8. 1. 島内地下式横穴墓群出土男性成人骨の大腿骨計測値(mm)及び示数

大腿骨 M No.	人骨番号		島内 113－1	島内 113－5	島内 122－1
	性別		男性	男性	男性
	年齢		壮年後期	壮年	壮年
1	最大長	左	380		
		右		408	
2	自然位全長	左			
		右		404	
6	骨体中央矢状径	左	29		
		右		28	
7	骨体中央横径	左	24		
		右		25	
8	骨体中央周	左	85		
		右		83	
9	骨体上横径	左	31		30
		右			
10	骨体上矢状径	左	24		24
		右			
8/2	長厚示数	左			
		右		20.5	
6/7	骨体中央断面示数	左	120.8		
		右		112.0	
10/9	上骨体断面示数	左	77.4		80.0
		右			

付表8. 2. 島内地下式横穴墓群出土女性成人骨の大腿骨計測値(mm)及び示数

大腿骨 M No.	人骨番号		島内 113－3	島内 115－1	島内 118－1
	性別		女性	女性	女性
	年齢		老年	壮年	熟年
1	最大長	左	373		
		右	371		384
2	自然位全長	左	370		
		右	370		374
6	骨体中央矢状径	左	26	23	22
		右	25		23
7	骨体中央横径	左	24	24	25
		右	24		24
8	骨体中央周	左	81	75	75
		右	79		76
9	骨体上横径	左	25	29	
		右	27		29
10	骨体上矢状径	左	22	20	
		右	21		19
8/2	長厚示数	左	21.9		
		右	21.4		20.3
6/7	骨体中央断面示数	左	108.3	95.8	88.0
		右	104.2		95.8
10/9	上骨体断面示数	左	88.0	69.0	
		右	77.8		65.5

付表 8. 3. 島内地下式横穴墓群出土未成人骨の大腿骨計測値 (mm) 及び示数

大腿骨 M No.	人骨番号		島内 117 − 2	島内 118 − 3	島内 119 − 3A	島内 122 − 2
	性　別		不明	不明	不明	不明
	年　齢		小児 10 ～ 11 歳	若年 15 ～ 16 歳	小児 8 ～ 9 歳	小児 9 歳
1	最大長	左				
		右				
2	自然位全長	左				
		右				
6	骨体中央矢状径	左	21		16	
		右	22	21	16	18
7	骨体中央横径	左	20		16	
		右	20	21	16	16
8	骨体中央周	左	66			
		右	69	68	50	56
9	骨体上横径	左				
		右		26	19	
10	骨体上矢状径	左				
		右		20	17	
8/2	長厚示数	左				
		右				
6/7	骨体中央断面示数	左	105.0		100.0	
		右	110.0	100.0	100.0	112.5
10/9	上骨体断面示数	左				
		右		76.9	89.5	

付表 9. 1. 島内地下式横穴墓群出土男性成人骨の脛骨計測値 (mm) 及び示数

脛骨 M No.	人骨番号		島内 113－1	島内 113－5	島内 117－3	島内 122－1
	性　別		男性	男性	男性	男性
	年　齢		壮年後期	壮年	壮年	壮年
1	全長	左				
		右		317		
1a	最大長	左		328		
		右		330		
8	中央最大径	左	31	31		
		右		30		29
9	中央横径	左	22	23		
		右		23		21
10	骨体周	左	84	83		
		右		82		79
8a	栄養孔位最大径	左	33	32		
		右		33	27	33
9a	栄養孔位横径	左	23	25		
		右		24	20	23
10a	栄養孔位周	左	90	90		
		右		91	76	89
10b	骨体最小周	左	76	77		
		右		76		71
9/8	中央断面示数	左	71.0	74.2		
		右		76.7		72.4
9a/8a	栄養孔位断面示数	左	69.7	78.1		
		右		72.7	74.1	69.7
10b/1	長厚示数	左				
		右		24.0		

付表 9. 2. 島内地下式横穴墓群出土女性成人骨の脛骨計測値 (mm) 及び示数

脛骨 M No.	人骨番号		島内 113－3	島内 118－1	島内 122－3
	性　別		女性	女性	女性
	年　齢		老年	熟年	壮年後期
1	全長	左			
		右			
1a	最大長	左			
		右			
8	中央最大径	左			
		右		24	
9	中央横径	左			
		右		17	
10	骨体周	左			
		右		67	
8a	栄養孔位最大径	左		29	
		右	28	29	28
9a	栄養孔位横径	左		17	
		右	21	17	21
10a	栄養孔位周	左		73	
		右	79	75	78
10b	骨体最小周	左		63	
		右		62	65
9/8	中央断面示数	左			
		右		70.8	
9a/8a	栄養孔位断面示数	左		58.6	
		右	75.0	58.6	75.0
10b/1	長厚示数	左			
		右			

付表 9. 3. 島内地下式横穴墓群出土未成人骨の脛骨計測値 (mm) 及び示数

脛骨 M No.	人骨番号		島内 117－2	島内 119－3A
	性　別		不明	不明
	年　齢		小児 10～11歳	小児 8～9歳
1	全長	左		
		右		
1a	最大長	左		
		右		
8	中央最大径	左	20	
		右	23	
9	中央横径	左	17	
		右	17	
10	骨体周	左	62	
		右	64	
8a	栄養孔位最大径	左	23	
		右	27	20
9a	栄養孔位横径	左	17	
		右	18	18
10a	栄養孔位周	左	66	
		右	72	58
10b	骨体最小周	左	59	
		右	60	49
9/8	中央断面示数	左	85.0	
		右	73.9	
9a/8a	栄養孔位断面示数	左	73.9	
		右	66.7	90.0
10b/1	長厚示数	左		
		右		

付表 10. 1. 島内地下式横穴墓群出土男性成人骨の鎖骨計測値 (mm) 及び示数

鎖骨 M No.	人骨番号		島内 113－1	島内 123－1
	性　別		男性	男性
	年　齢		壮年後期	熟年
1	最大長	左		
		右		
4	中央垂直径	左	13	15
		右	13	
5	中央矢状径	左	14	12
		右	14	
6	中央周	左	45	46
		右	45	
6/1	長厚示数	左		
		右		
4/5	中央断面示数	左	92.9	125.0
		右	92.9	

付表 10. 2. 島内地下式横穴墓群出土未成人骨の鎖骨計測値 (mm) 及び示数

鎖骨 M No.	人骨番号		島内 113－2	島内 115－1	島内 118－1	島内 122－3
	性　別		女性	女性	女性	女性
	年　齢		老年	壮年	熟年	壮年後期
1	最大長	左				
		右	125			
4	中央垂直径	左				
		右	10	10	9	9
5	中央矢状径	左				
		右	12	13	11	12
6	中央周	左				
		右	35	35	32	34
6/1	長厚示数	左				
		右	28.0			
4/5	中央断面示数	左				
		右	83.3	76.9	81.8	75.0

付表 10. 3. 島内地下式横穴墓群出土未成人骨の鎖骨計測値 (mm) 及び示数

鎖骨 M No.	人骨番号		島内 122－2
	性　別		不明
	年齢		小児
			9 歳
1	最大長	左	
		右	
4	中央垂直径	左	7
		右	
5	中央矢状径	左	9
		右	
6	中央周	左	25
		右	
6/1	長厚示数	左	
		右	
4/5	中央断面示数	左	77.8
		右	

付表 11. 1. 島内地下式横穴墓群出土男性成人の身長

(cm)

人骨番号		島内 113－1	島内 113－5
性別		男性	男性
年齢		壮年後期	壮年
身長 (ﾋﾟｱｿﾝ式)	左	152.7	
	右		158.0

付表 11.1. 島内地下式横穴墓群出土女性成人の身長

(cm)

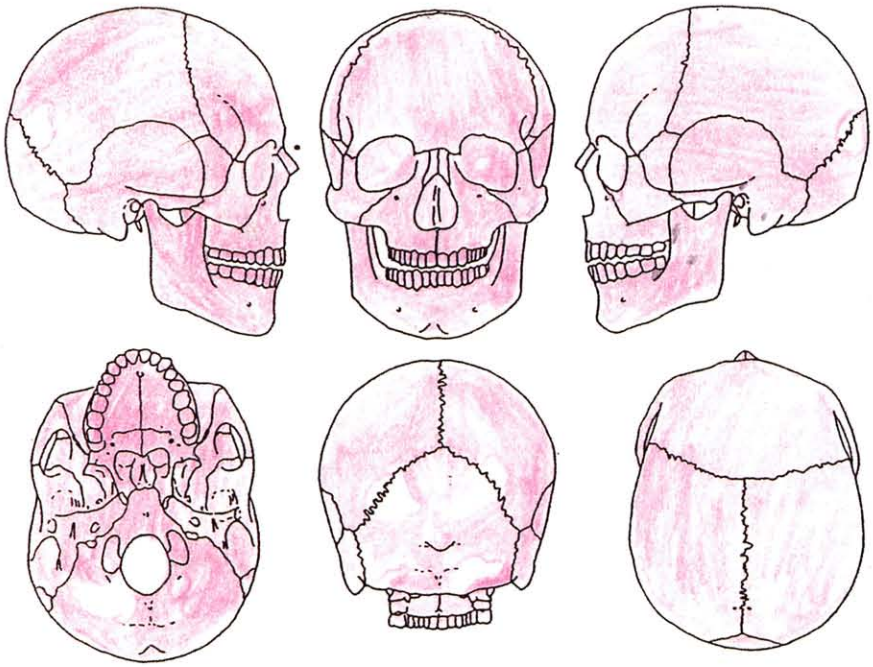
人骨番号		島内 113－3	島内 118－1
性別		女性	女性
年齢		老年	熟年
身長 (ﾋﾟｱｿﾝ式)	左	145.4	
	右		147.5

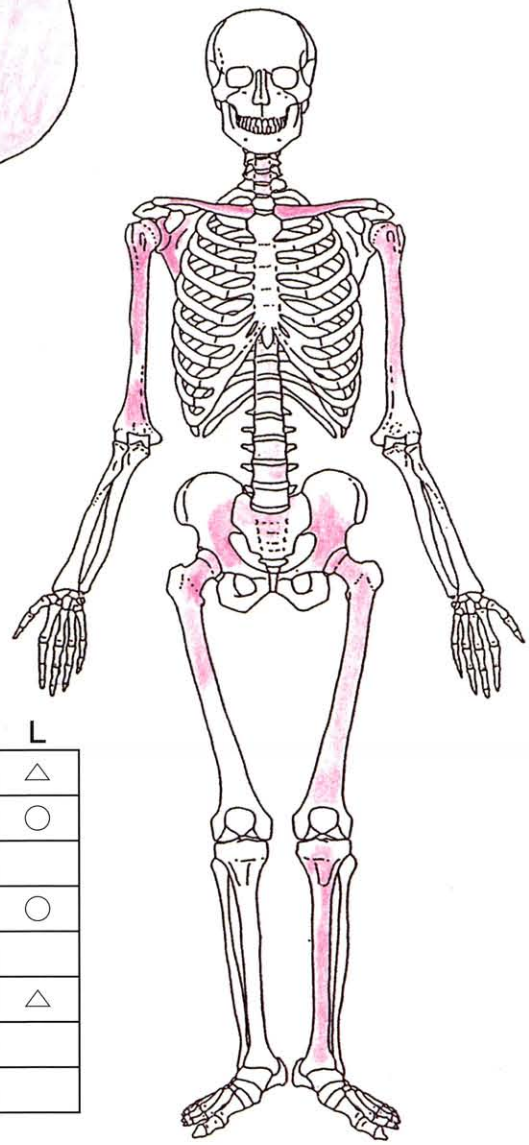
宮崎県えびの市島内地下式横穴墓群

113号墓～115号墓、117号墓～124号墓出土人骨遺存部位

島内地下式横穴墓群遺跡　　113号墓　1号人骨　　性別　男性　年齢　壮年後期

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

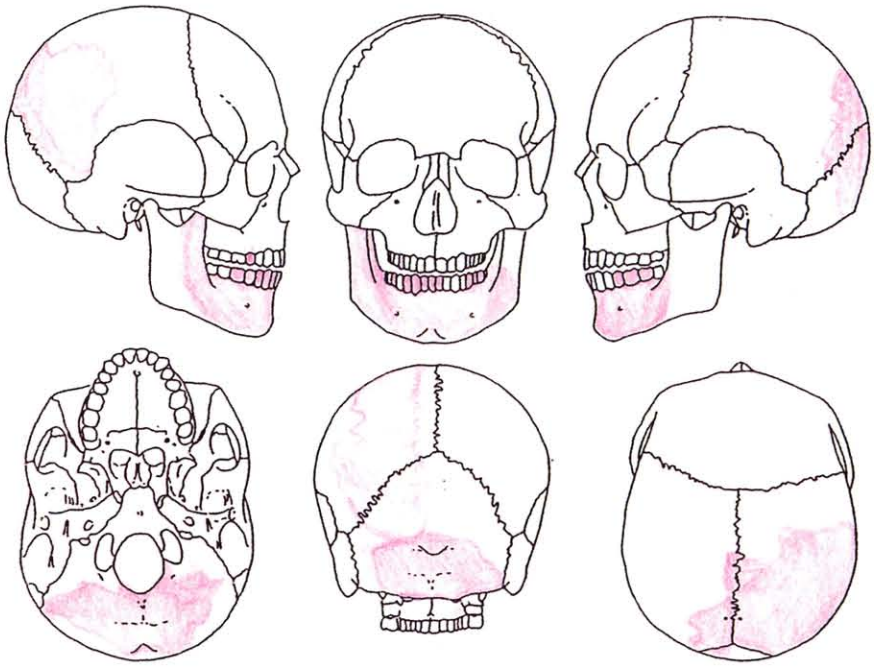
脊椎	頸椎	○	
	胸椎	○	
	腰椎	○	
	仙骨	△	
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨	△	△

		R	L
上肢	肩甲骨	△	
	鎖骨	○	○
	上腕骨		○
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		×
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨	△	△
	大腿骨	△	○
	膝蓋骨		
	脛骨	×	○
	腓骨		
	足根骨		△
	中足骨		
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　　113号墓　2号人骨　　性別　不明　年齢　小児7歳

・各骨の遺存状況

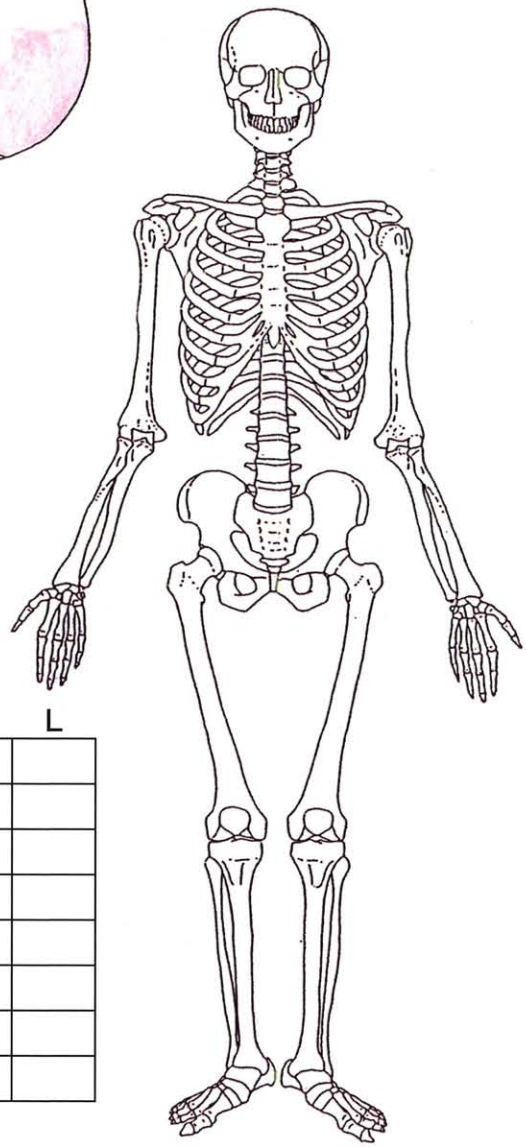


・体幹体肢骨の保存状態

脊椎	頸椎		
	胸椎		
	腰椎		
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨	×	△

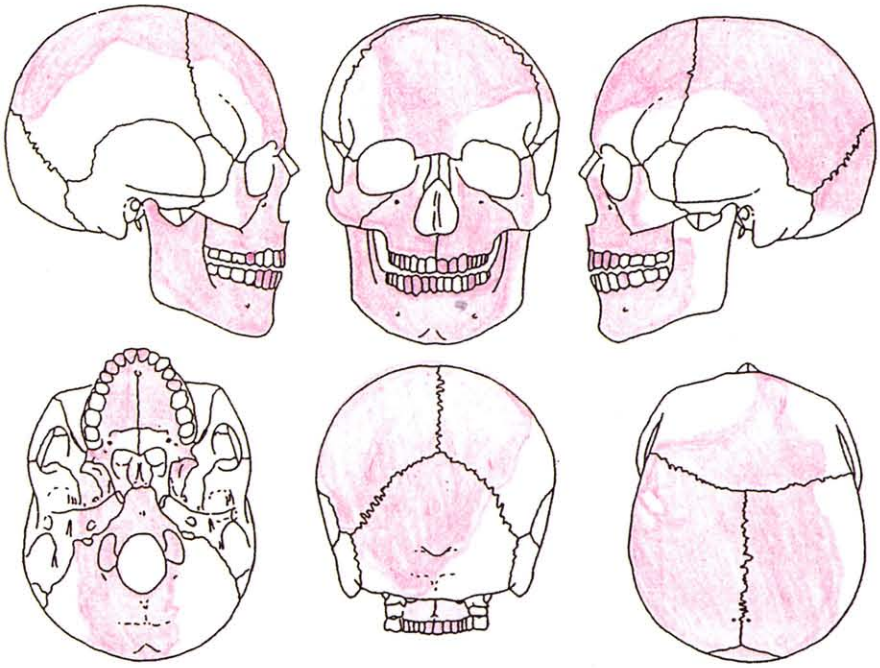
		R	L
上肢	肩甲骨	×	
	鎖骨		
	上腕骨	×	
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

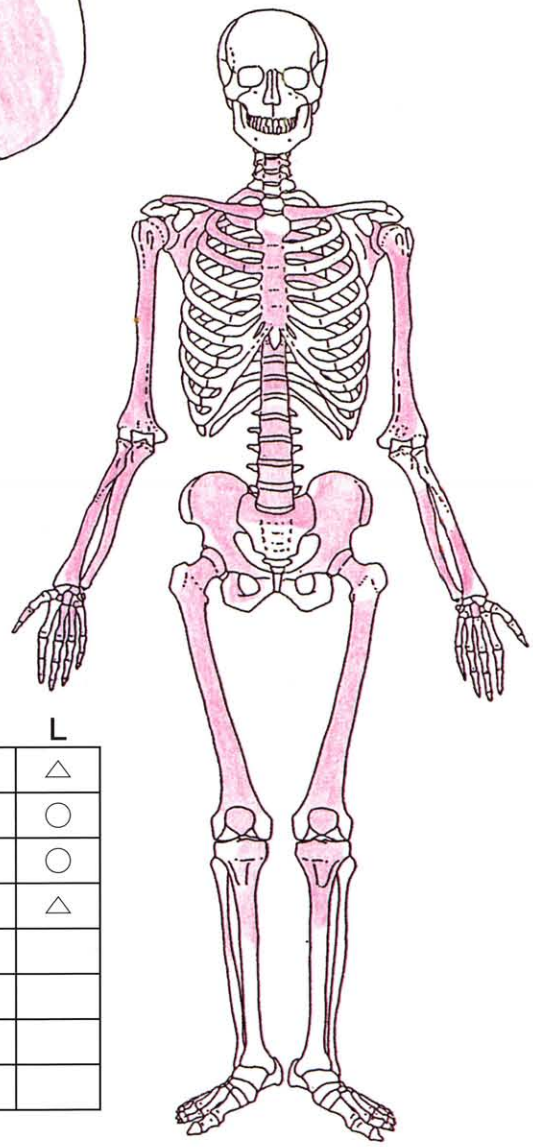
		R	L
下肢	寛骨		
	大腿骨	△	
	膝蓋骨		
	脛骨		
	腓骨		
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		



島内地下式横穴墓群遺跡　　113号墓　3号人骨　　性別　女性　年齢　老年

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

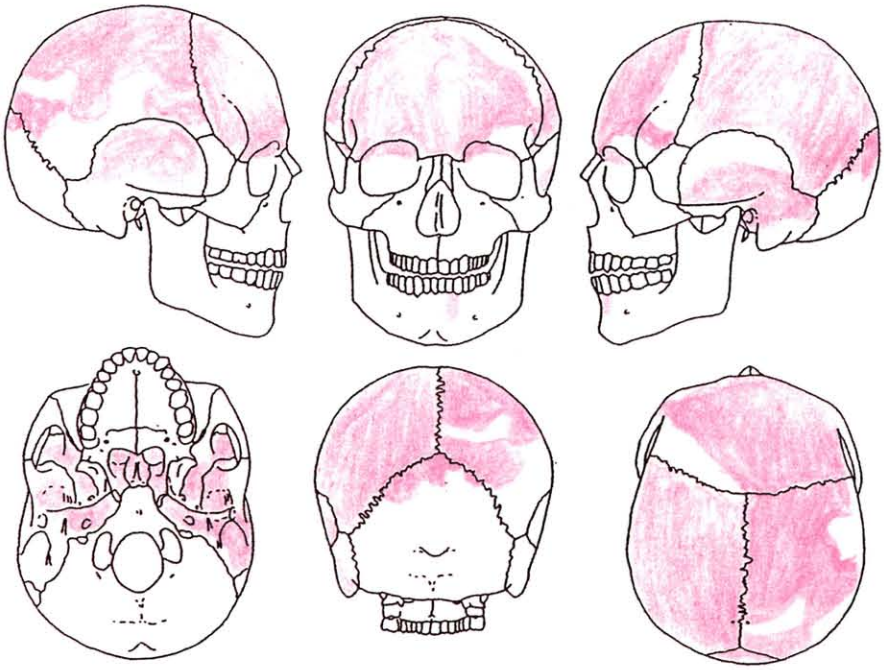
脊椎	頸椎	○	
	胸椎	○	
	腰椎	○	
	仙骨	△	
	尾骨		
胸郭	胸骨	△	
	肋骨	△	△

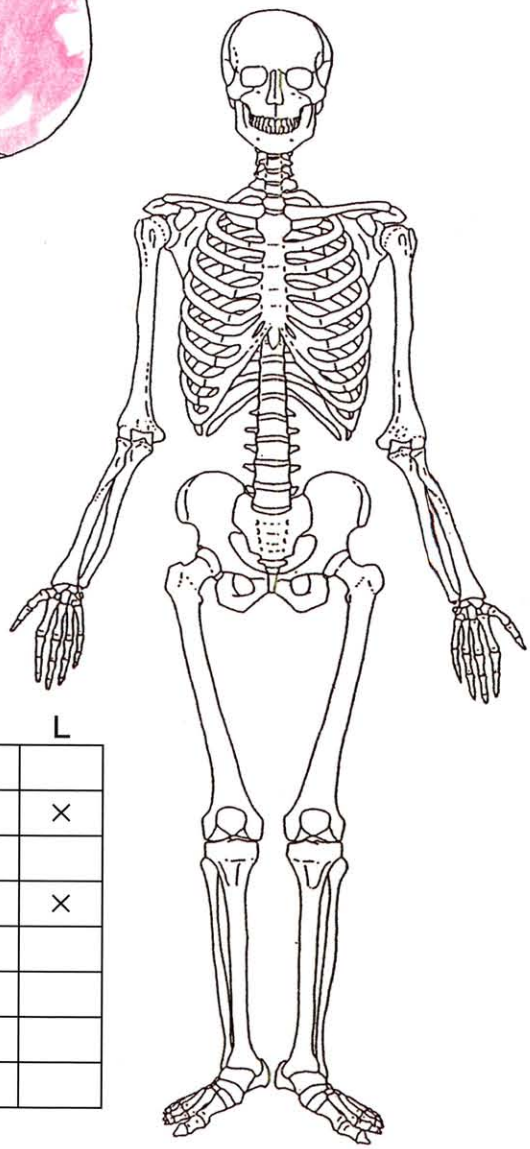
		R	L
上肢	肩甲骨	△	△
	鎖骨	○	△
	上腕骨	○	○
	橈骨	○	△
	尺骨	○	△
	手根骨	△	×
	中手骨	△	×
	指骨（指）	×	×

		R	L
下肢	寛骨	○	△
	大腿骨	○	○
	膝蓋骨	○	○
	脛骨	△	△
	腓骨	△	
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　113号墓　4号人骨　性別　不明　年齢　幼児3－4歳

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

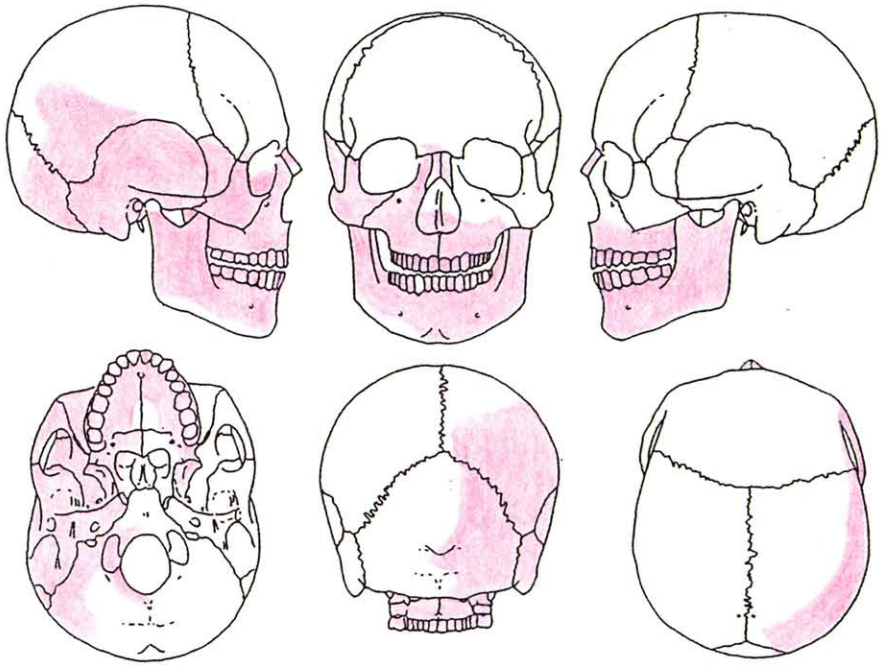
脊椎	頸椎		
	胸椎		
	腰椎		
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		

		R	L
上肢	肩甲骨		
	鎖骨		
	上腕骨		
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）	×	×

		R	L
下肢	寛骨		
	大腿骨	×	×
	膝蓋骨		
	脛骨	×	×
	腓骨		
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　　113号墓　5号人骨　　性別　男性　年齢　壮年

・各骨の遺存状況

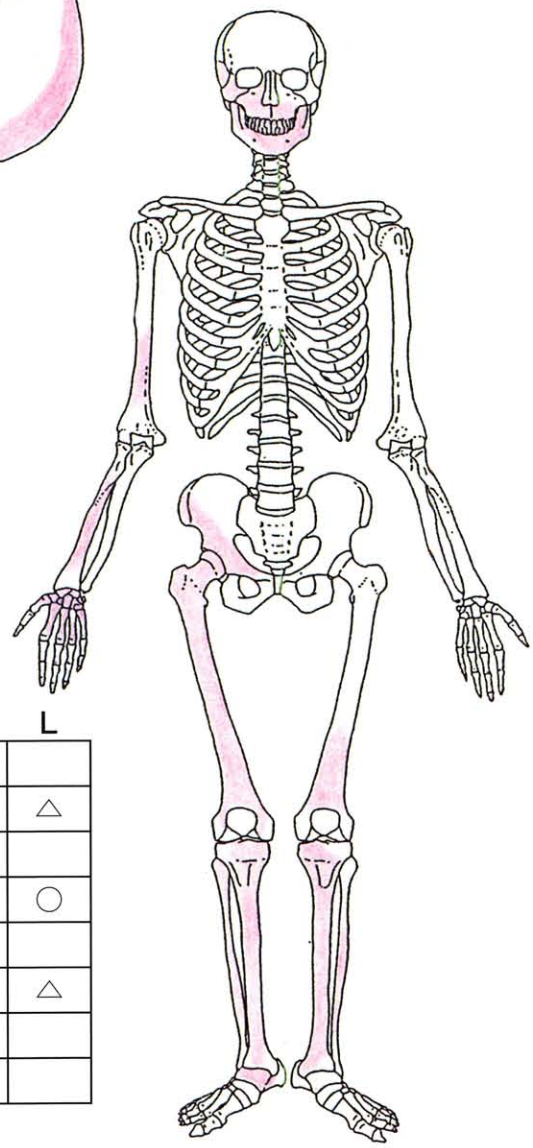


・体幹体肢骨の保存状態

脊椎	頸椎		
	胸椎		
	腰椎		
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		

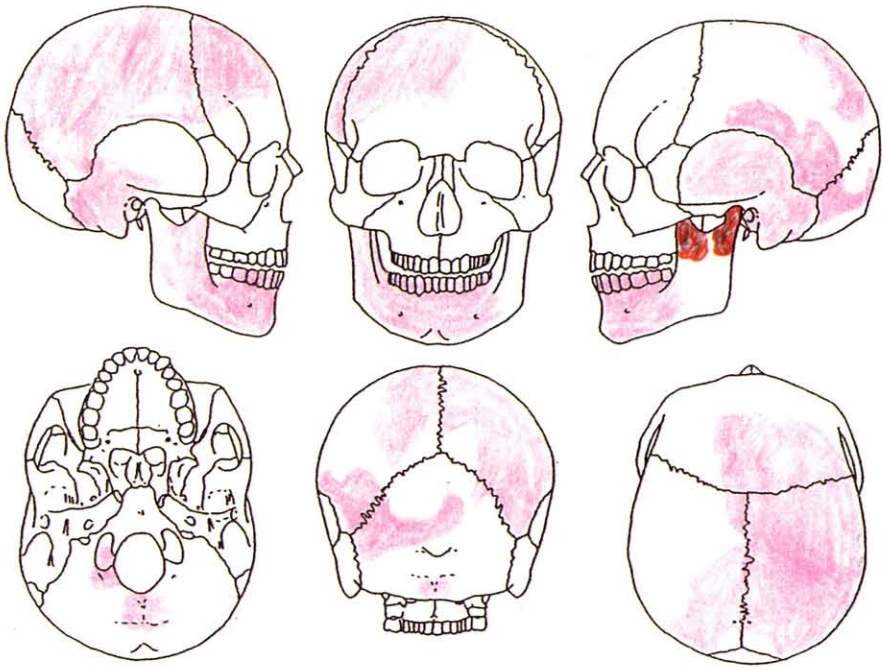
		R	L
上肢	肩甲骨		
	鎖骨		
	上腕骨	×	
	橈骨	○	
	尺骨		
	手根骨	○	
	中手骨	△	
	指骨（指）	×	

		R	L
下肢	寛骨	△	
	大腿骨	○	△
	膝蓋骨		
	脛骨	○	○
	腓骨	○	
	足根骨	△	△
	中足骨		
	指骨（足）		



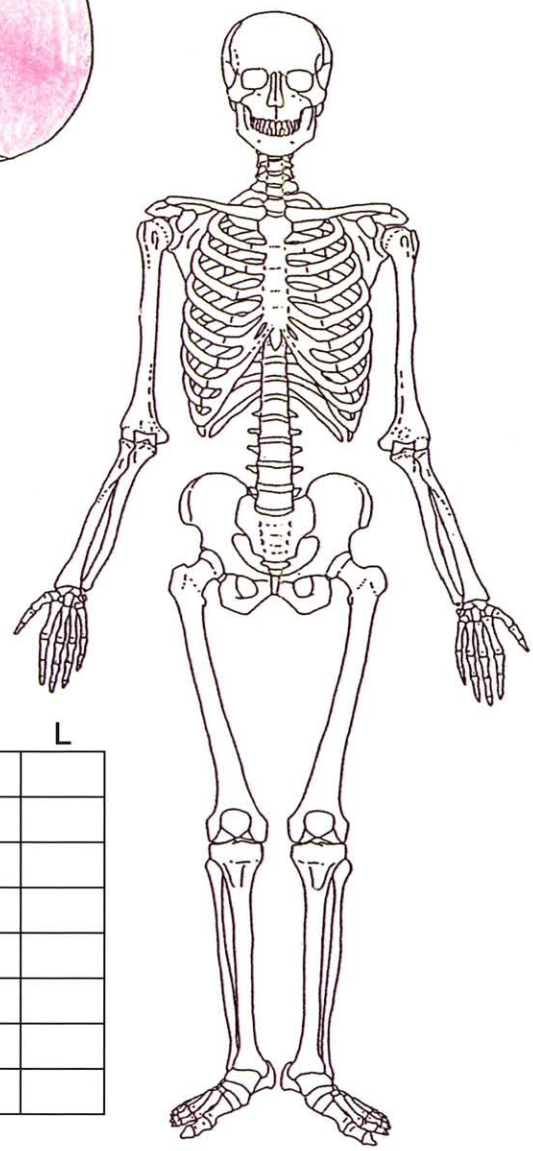
島内地下式横穴墓群遺跡　　114号墓　1号人骨　　性別　男性　年齢　熟年

・各骨の遺存状況



・体幹体肢骨の保存状態

脊椎	頸椎	×
	胸椎	
	腰椎	
	仙骨	
	尾骨	
胸郭	胸骨	
	肋骨	

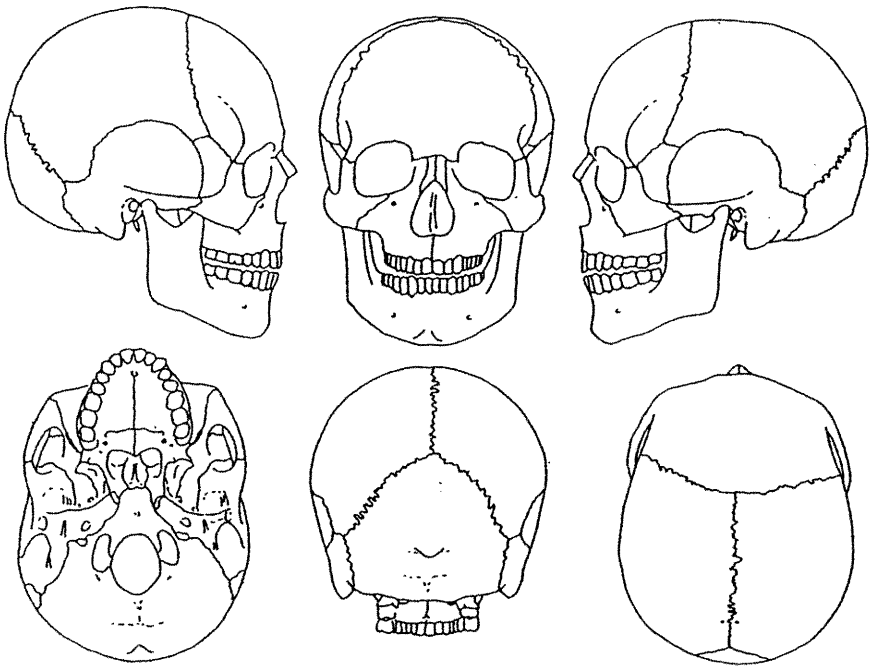


		R	L
上肢	肩甲骨		×
	鎖骨		
	上腕骨		
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨		
	大腿骨		
	膝蓋骨		
	脛骨		
	腓骨		
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　　114号墓　2号人骨　　性別　不明　年齢　小児10歳

・各骨の遺存状況

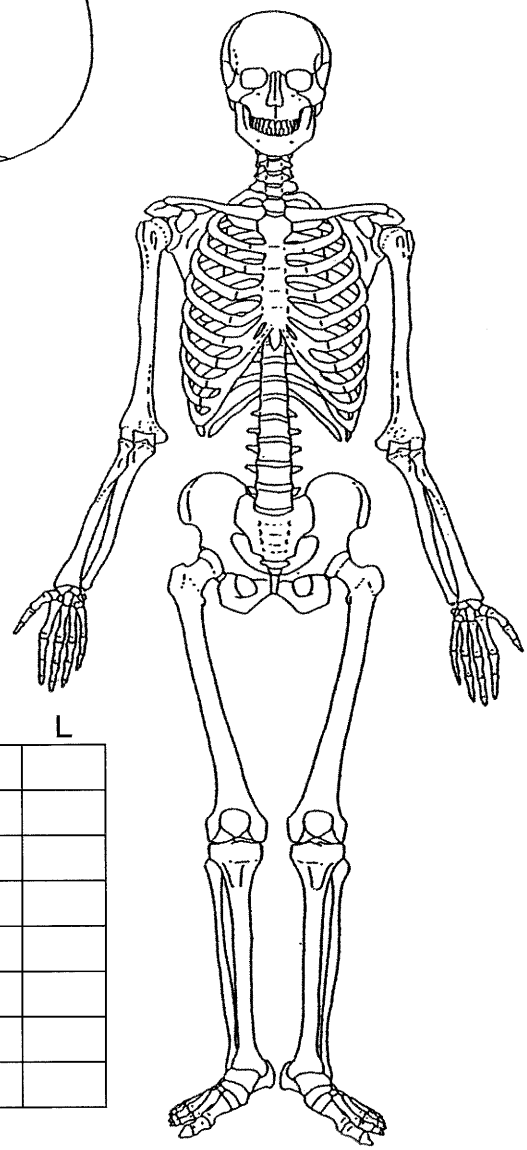


・体幹体肢骨の保存状態

脊椎	頸椎	×	
	胸椎		
	腰椎		
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		

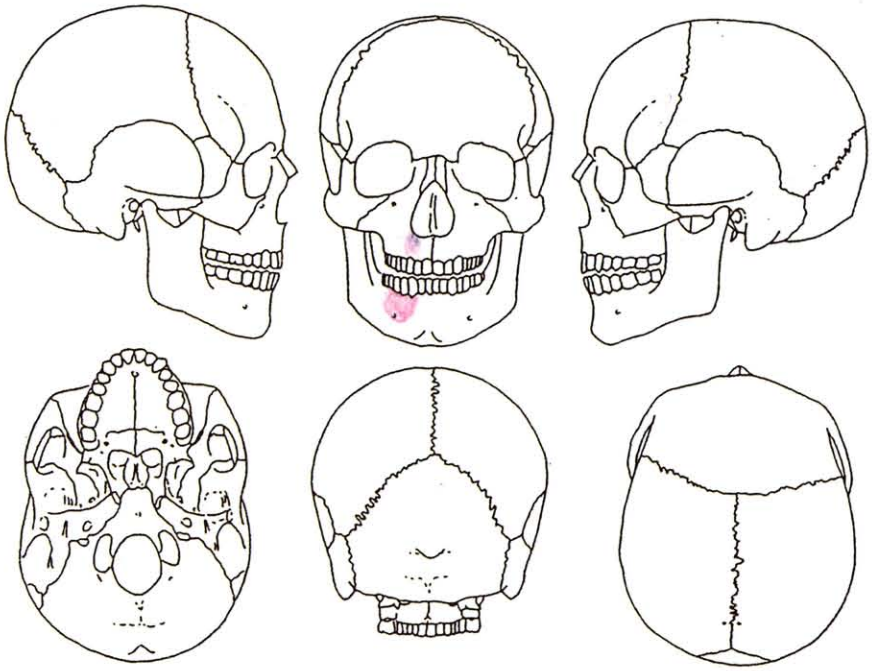
		R	L
上肢	肩甲骨		×
	鎖骨		
	上腕骨		
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨		
	大腿骨		
	膝蓋骨		
	脛骨		
	腓骨		
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		



島内地下式横穴墓群遺跡　　114号墓　3号人骨　　性別　不明　年齢　熟年

・各骨の遺存状況

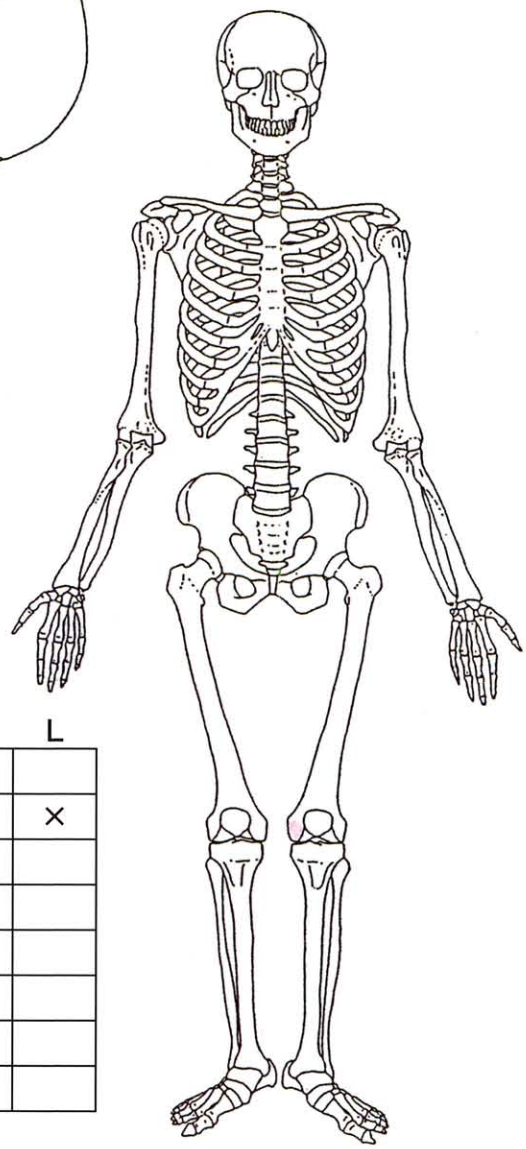


・体幹体肢骨の保存状態

脊椎	頸椎	×	
	胸椎	×	
	腰椎		
	仙骨	×	
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		

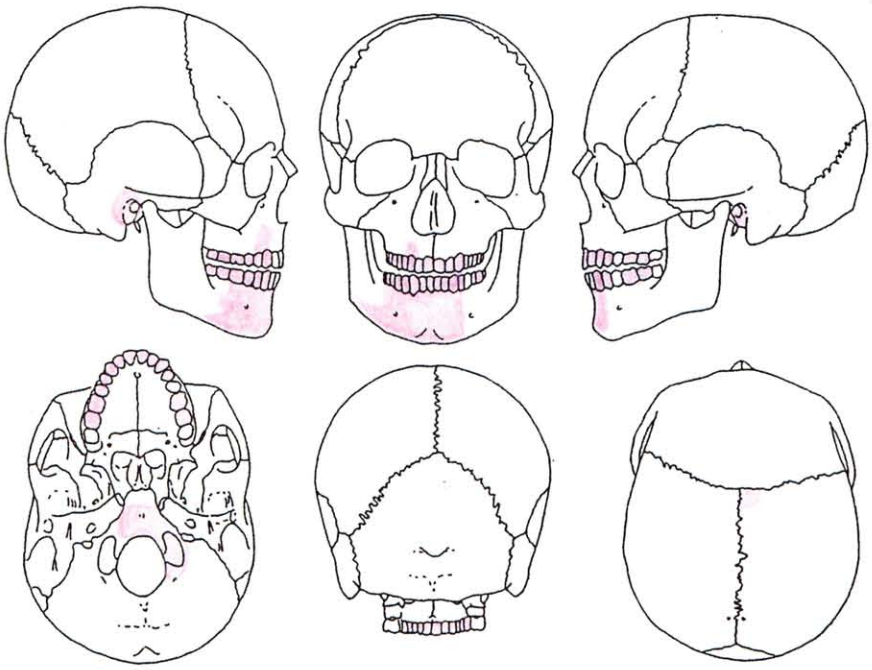
		R	L
上肢	肩甲骨		
	鎖骨		
	上腕骨		
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

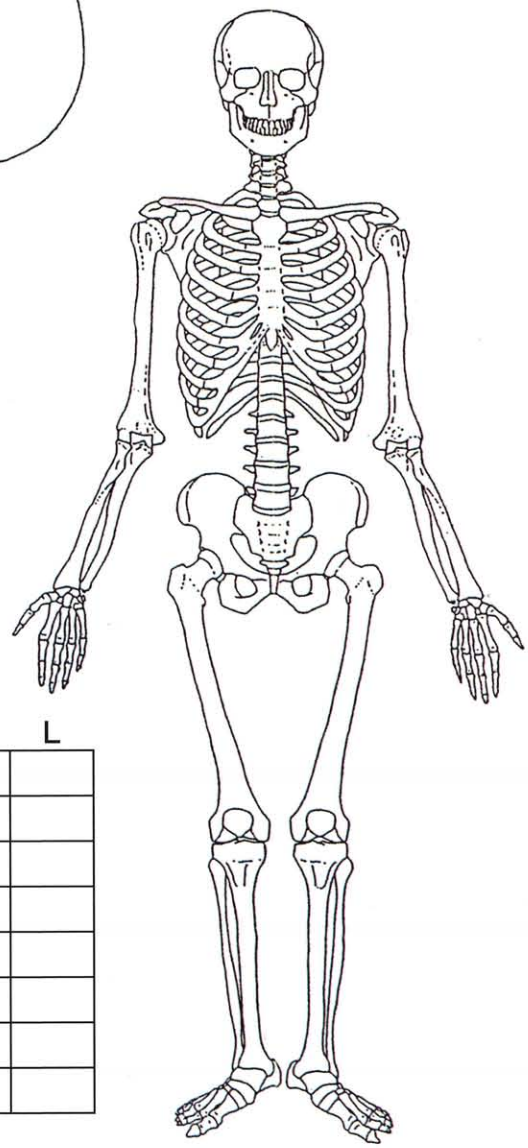
		R	L
下肢	寛骨		
	大腿骨	×	×
	膝蓋骨		
	脛骨	×	
	腓骨		
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		



島内地下式横穴墓群遺跡　　114号墓　4号人骨　　性別　不明　年齢　小児8－9歳

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

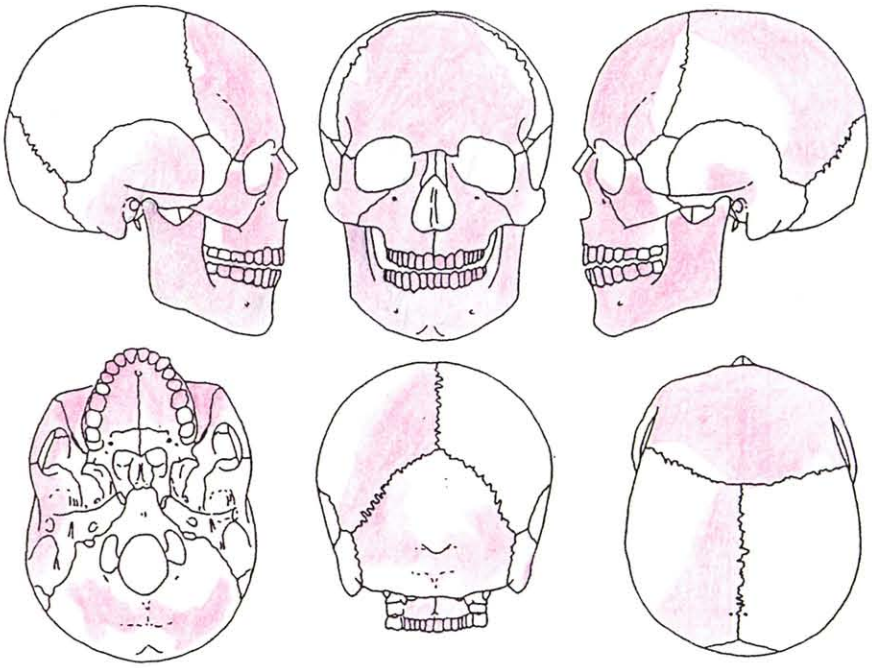
脊椎	頸椎		
	胸椎		
	腰椎		
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		

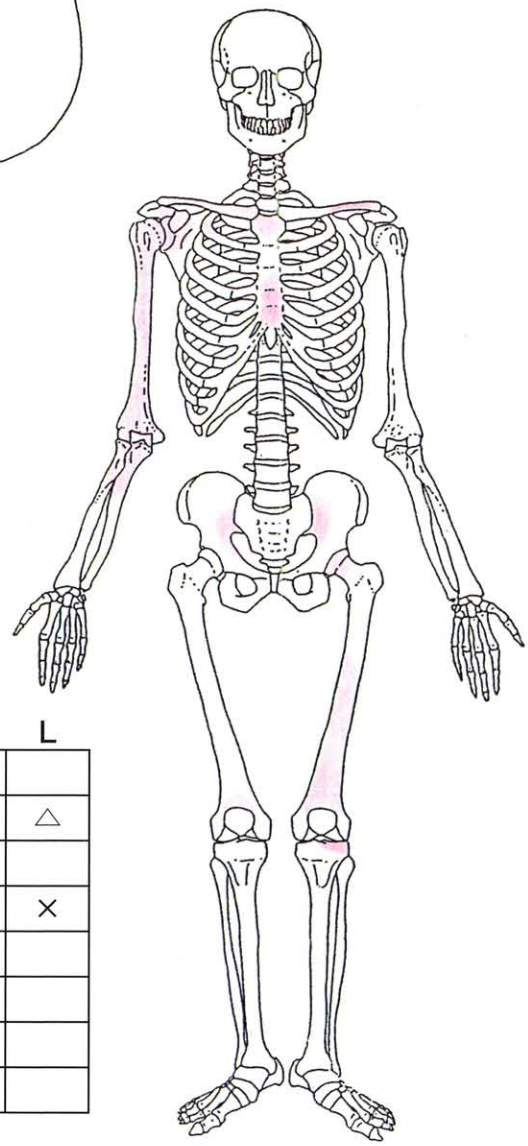
		R	L
上肢	肩甲骨		
	鎖骨	△	
	上腕骨		
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨		
	大腿骨		
	膝蓋骨		
	脛骨		
	腓骨		
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　　114号墓　5号人骨　　性別　女性　年齢　壮年

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

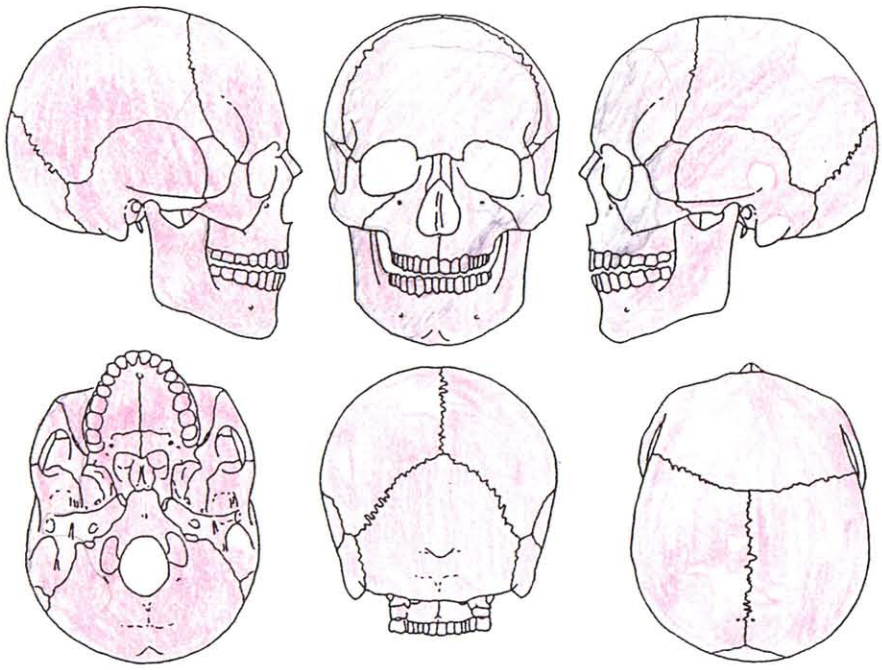
脊椎	頸椎	×	
	胸椎	△	
	腰椎		
	仙骨	×	
	尾骨		
胸郭	胸骨	△	
	肋骨	△	

		R	L
上肢	肩甲骨	△	
	鎖骨	△	×
	上腕骨	○	
	橈骨	△	
	尺骨	△	
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨	×	
	大腿骨	×	△
	膝蓋骨		
	脛骨	×	×
	腓骨		
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　　115号墓　1号人骨　　性別　女性　年齢　壮年

・各骨の遺存状況

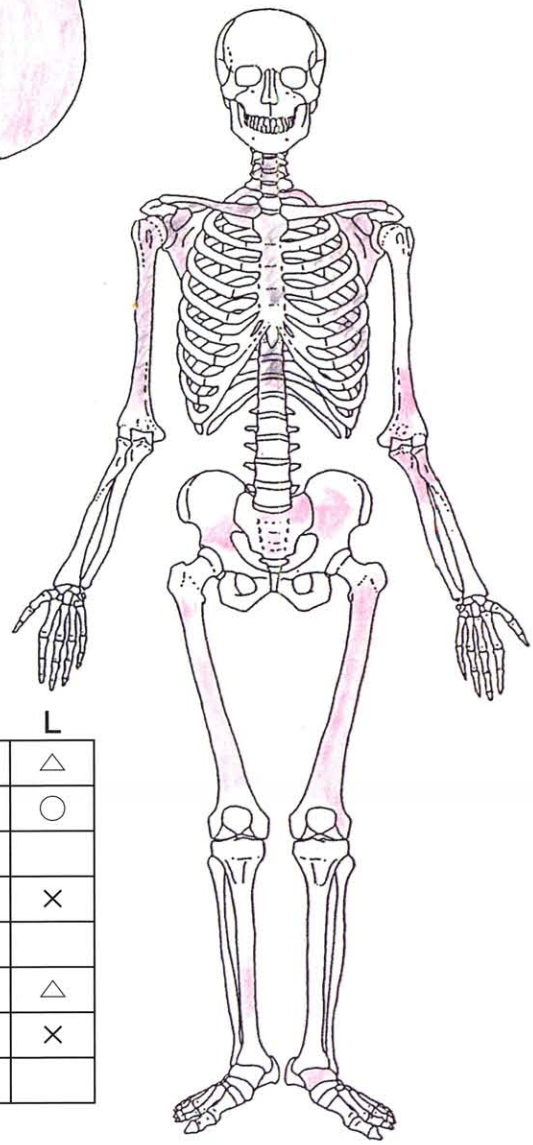


・体幹体肢骨の保存状態

脊椎	頸椎	○	
	胸椎	○	
	腰椎	△	
	仙骨	○	
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		

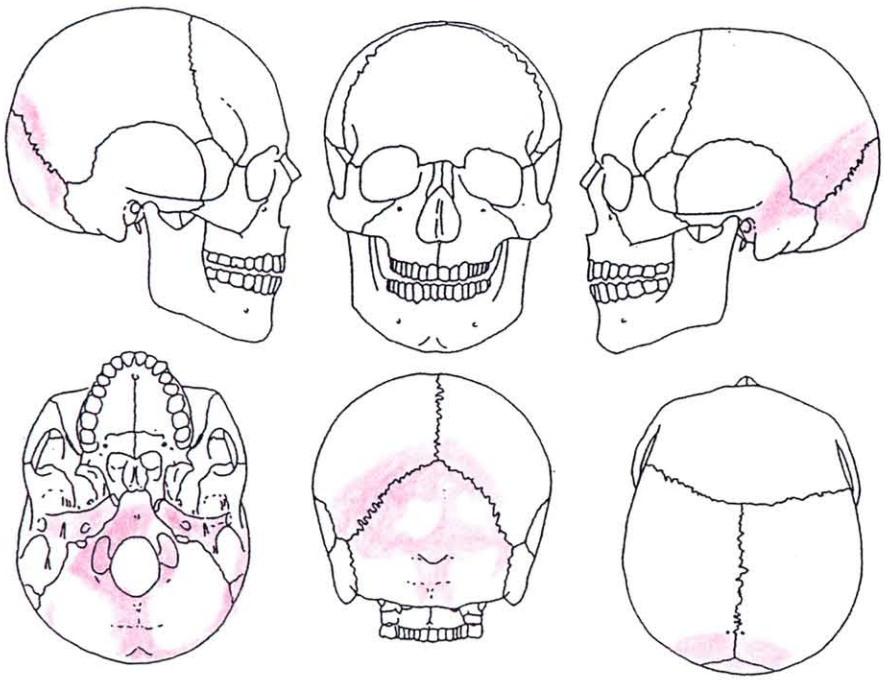
		R	L
上肢	肩甲骨	○	○
	鎖骨	○	○
	上腕骨	○	
	橈骨		×
	尺骨		△
	手根骨		△
	中手骨		×
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨	△	△
	大腿骨	△	○
	膝蓋骨		
	脛骨	△	×
	腓骨		
	足根骨		△
	中足骨		×
	指骨（足）		



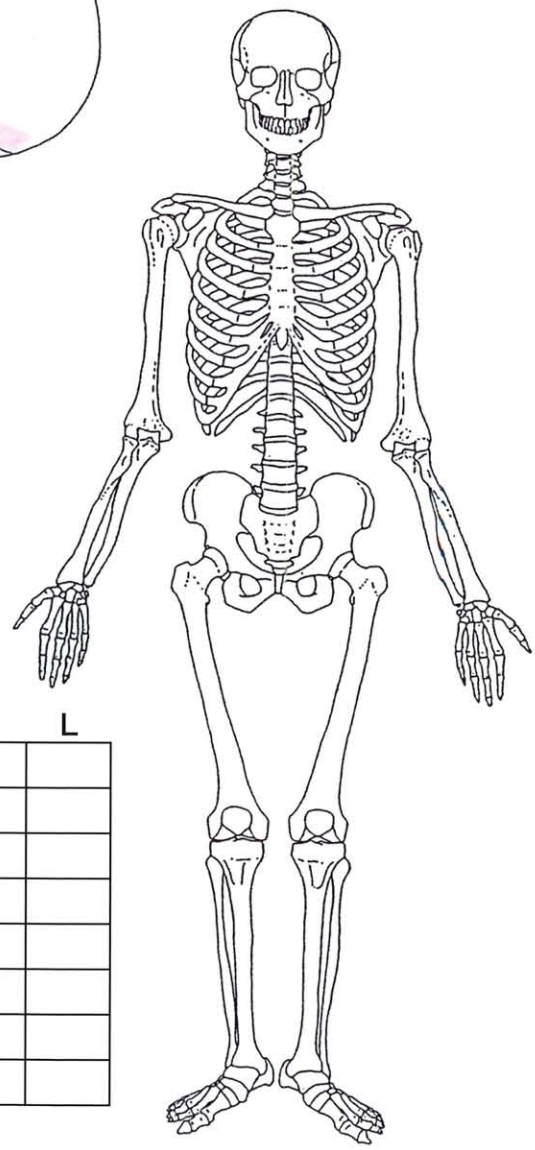
島内地下式横穴墓群遺跡　　115号墓　2号人骨　　性別　不明　年齢　小児6歳

・各骨の遺存状況



・体幹体肢骨の保存状態

脊椎	頸椎	○	
	胸椎	○	
	腰椎		
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨	△	×

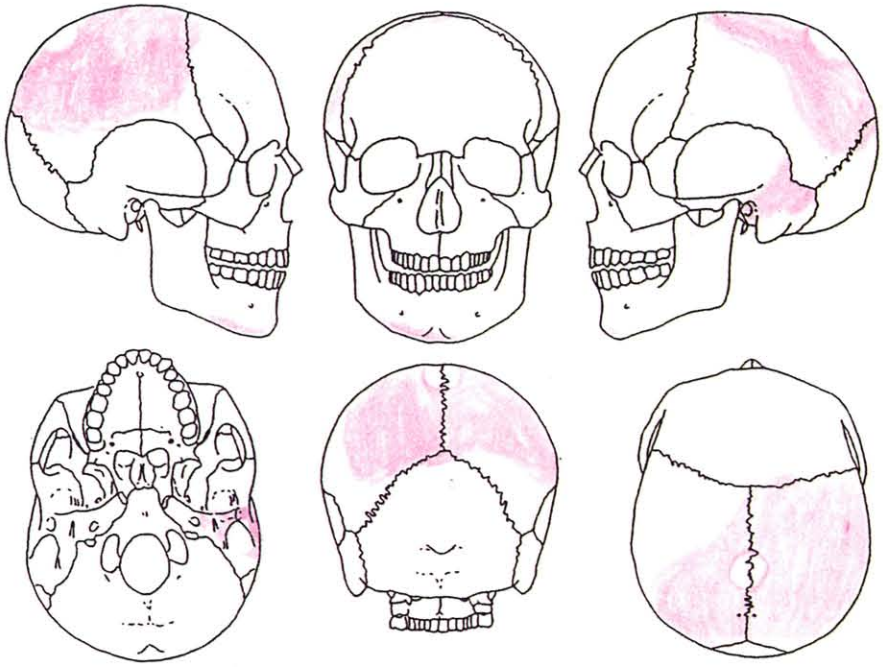


		R	L
上肢	肩甲骨		
	鎖骨		
	上腕骨		
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨		
	大腿骨		
	膝蓋骨		
	脛骨		
	腓骨		
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　　115号墓　3号人骨　　性別　男性　年齢　熟年

・各骨の遺存状況

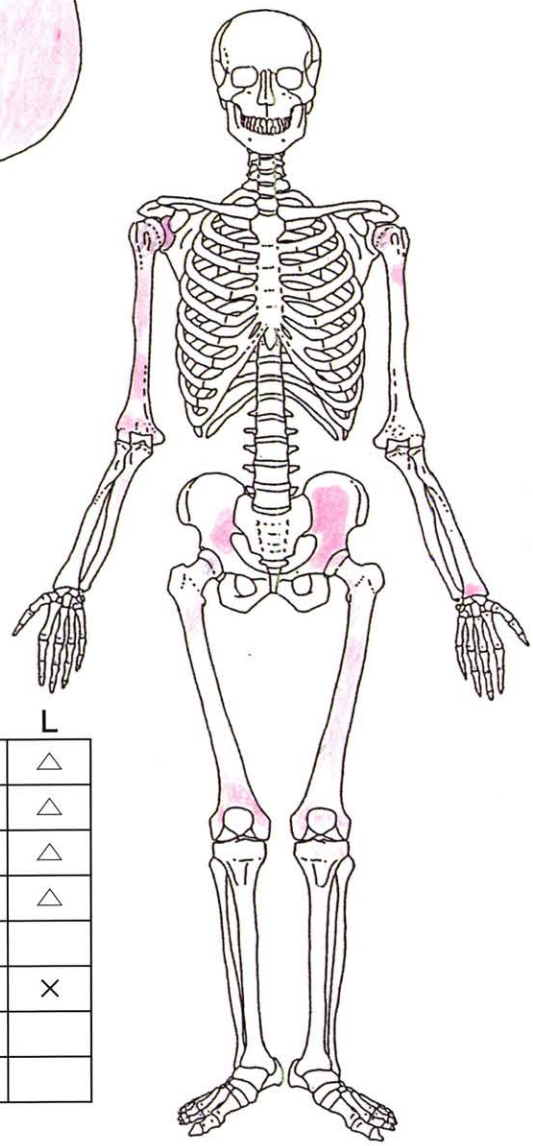


・体幹体肢骨の保存状態

脊椎	頸椎	○	
	胸椎	△	
	腰椎	△	
	仙骨	△	
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		

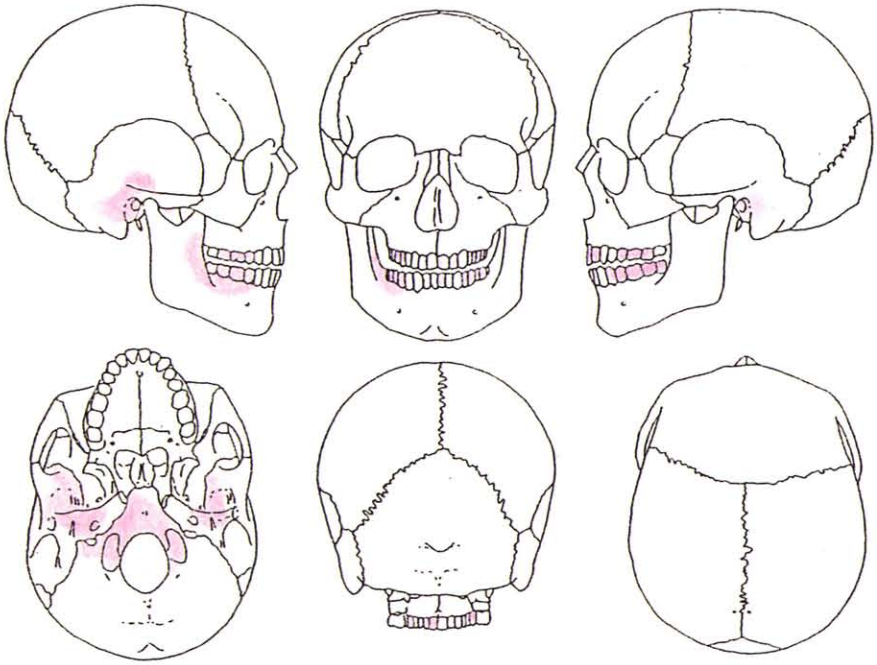
		R	L
上肢	肩甲骨	△	
	鎖骨	×	×
	上腕骨	△	△
	橈骨	×	×
	尺骨	×	×
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

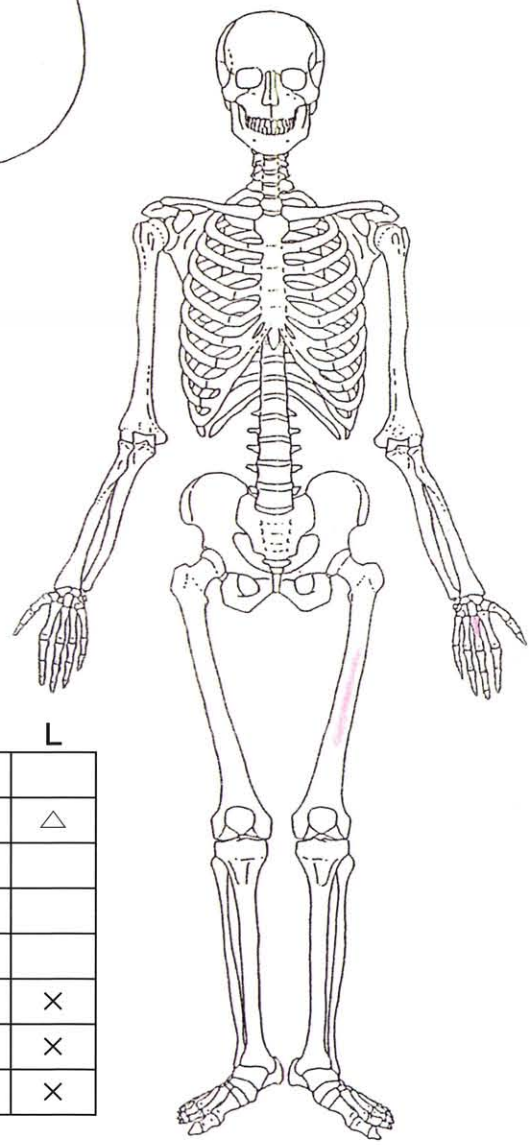
		R	L
下肢	寛骨	△	△
	大腿骨	△	△
	膝蓋骨		△
	脛骨	×	△
	腓骨		
	足根骨	×	×
	中足骨		
	指骨（足）		



島内地下式横穴墓群遺跡　115号墓　4号人骨　性別　不明　年齢　若年15−16歳

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

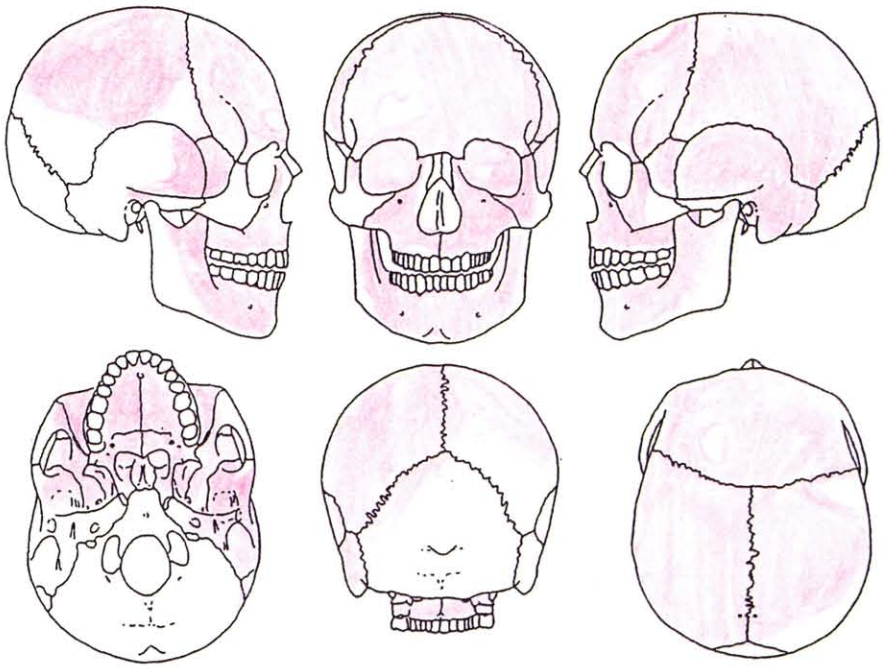
脊椎	頸椎		
	胸椎		
	腰椎	×	
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		

		R	L
上肢	肩甲骨		
	鎖骨		
	上腕骨		
	橈骨		×
	尺骨		×
	手根骨	×	×
	中手骨	×	×
	指骨（指）	×	×

		R	L
下肢	寛骨		
	大腿骨	×	△
	膝蓋骨		
	脛骨		
	腓骨		
	足根骨		×
	中足骨		×
	指骨（足）		×

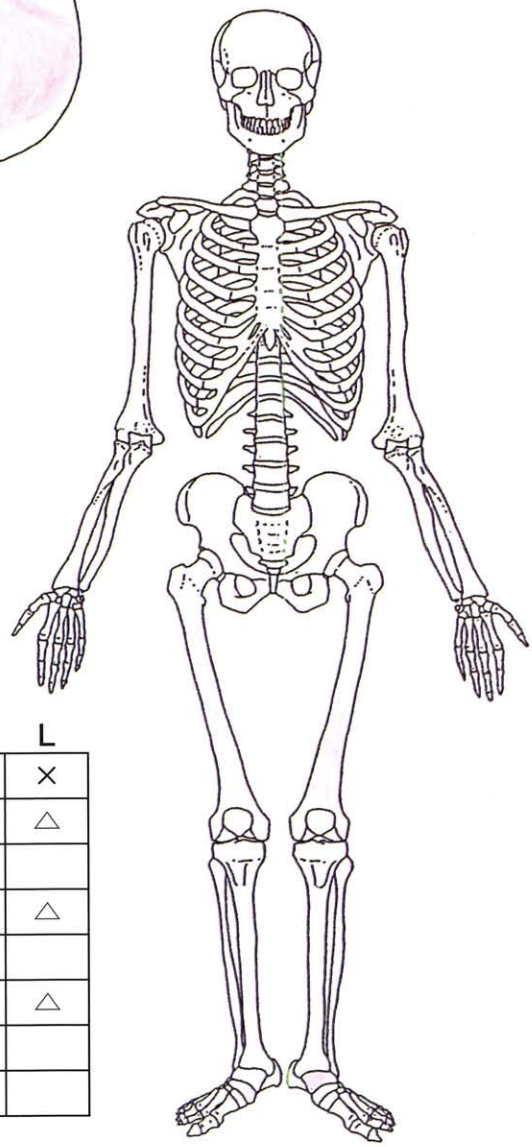
島内地下式横穴墓群遺跡　　115号墓　5号人骨　　性別　女性　年齢　熟年

・各骨の遺存状況



・体幹体肢骨の保存状態

脊椎	頸椎	○	
	胸椎	△	
	腰椎	×	
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		

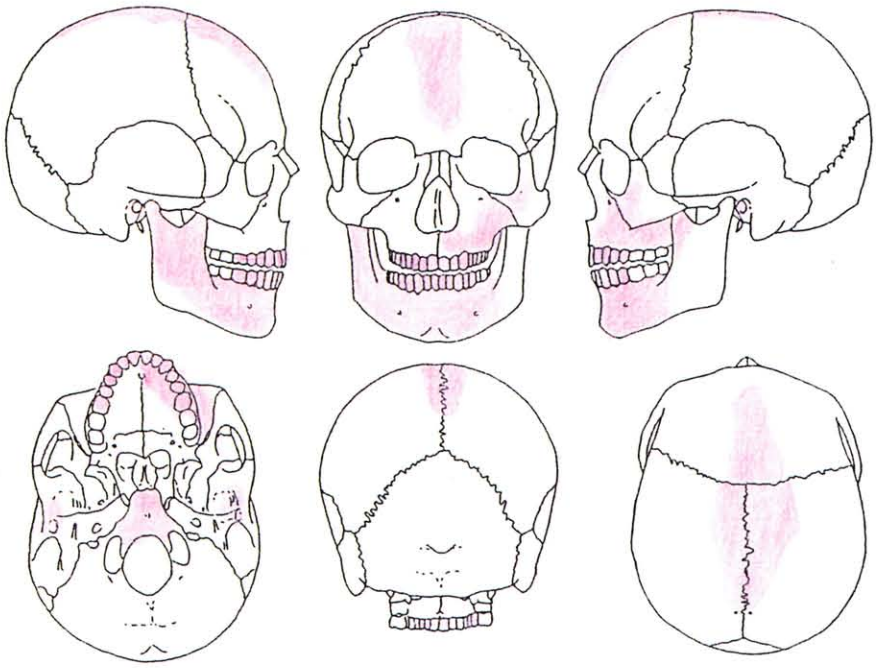


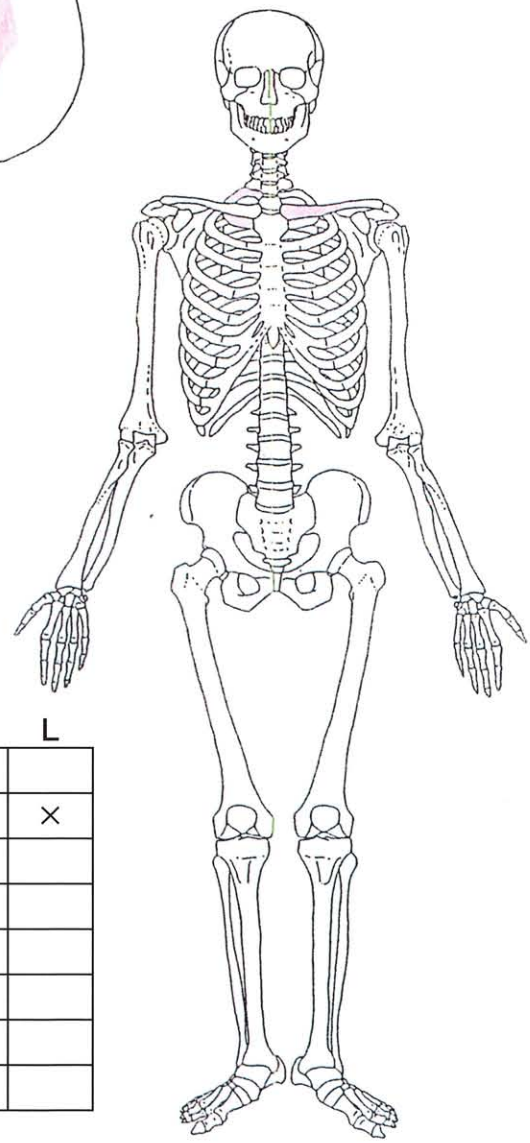
		R	L
上肢	肩甲骨		
	鎖骨	×	×
	上腕骨		
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨	×	×
	大腿骨	△	△
	膝蓋骨		
	脛骨		△
	腓骨		
	足根骨		△
	中足骨		
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　　117号墓　1号人骨　　性別　不明　年齢　小児8歳

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

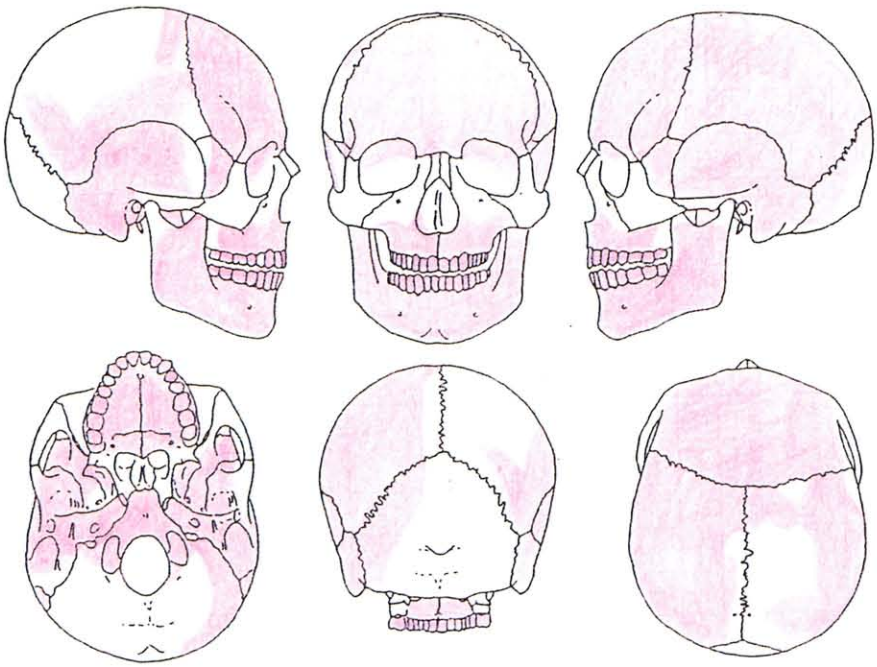
脊椎	頸椎	△	
	胸椎	×	
	腰椎	×	
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨	×	

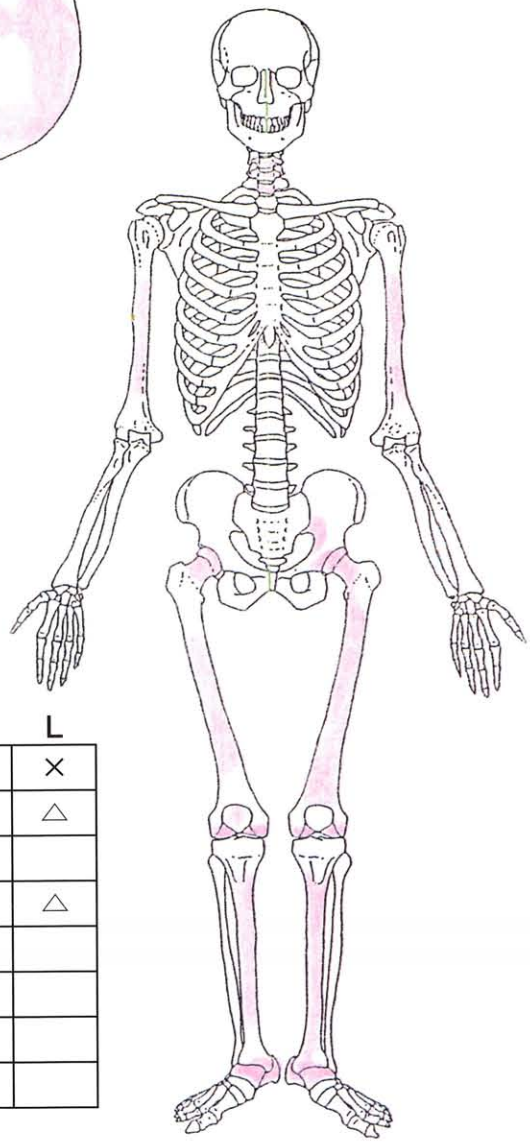
		R	L
上肢	肩甲骨		
	鎖骨		△
	上腕骨		
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨	×	
	大腿骨	×	×
	膝蓋骨		
	脛骨		
	腓骨		
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　　117号墓　2号人骨　　性別　不明　年齢　小児10−11歳

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

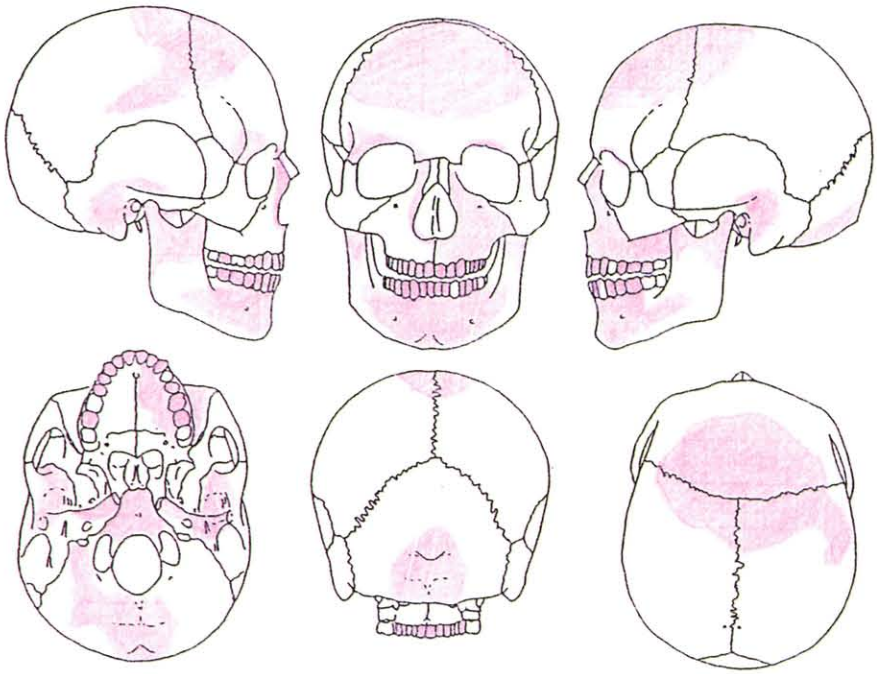
脊椎	頸椎	○	
	胸椎	×	
	腰椎		
	仙骨	×	
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨	×	×

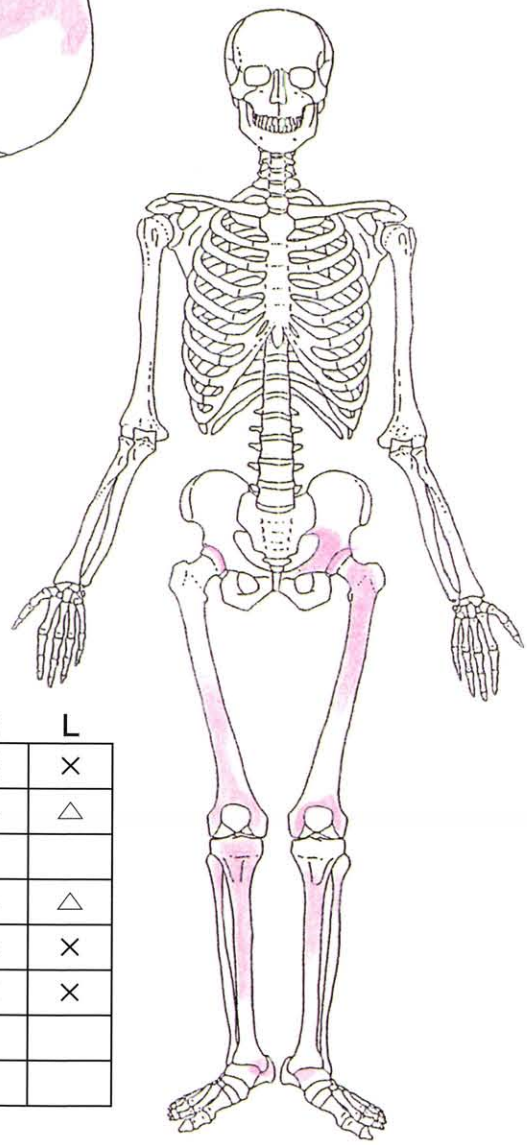
		R	L
上肢	肩甲骨		×
	鎖骨	×	×
	上腕骨	△	△
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨	×	×
	大腿骨	△	△
	膝蓋骨	△	
	脛骨	△	△
	腓骨		
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　　117号墓　3号人骨　　性別　男性　年齢　壮年

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

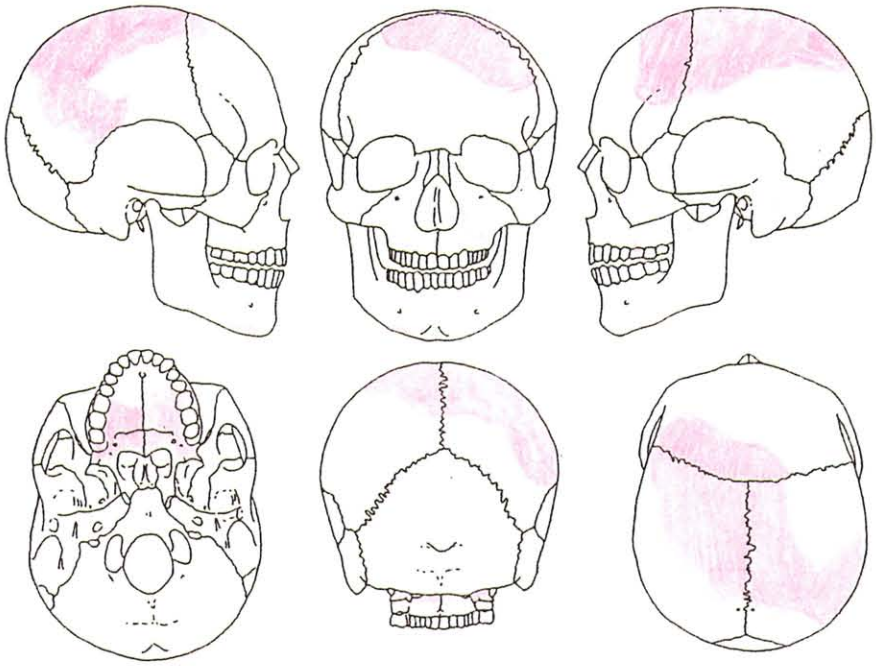
脊椎	頸椎		
	胸椎		
	腰椎		
	仙骨	×	
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		

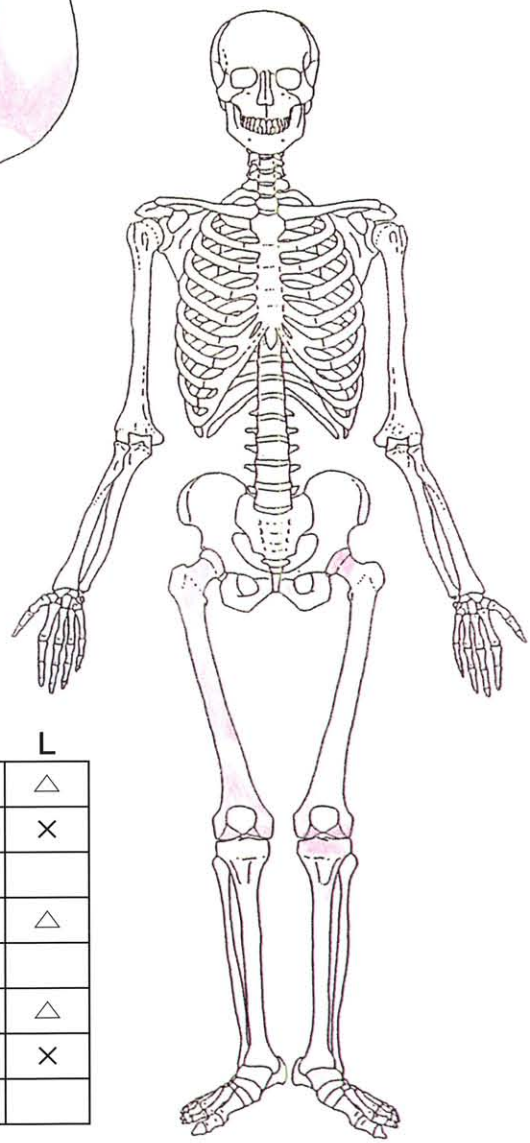
		R	L
上肢	肩甲骨		
	鎖骨		
	上腕骨		
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨	×	×
	大腿骨	△	△
	膝蓋骨		
	脛骨	△	△
	腓骨	△	×
	足根骨	×	×
	中足骨		
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　　117号墓　4号人骨　　性別　不明　年齢　小児8－9歳

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

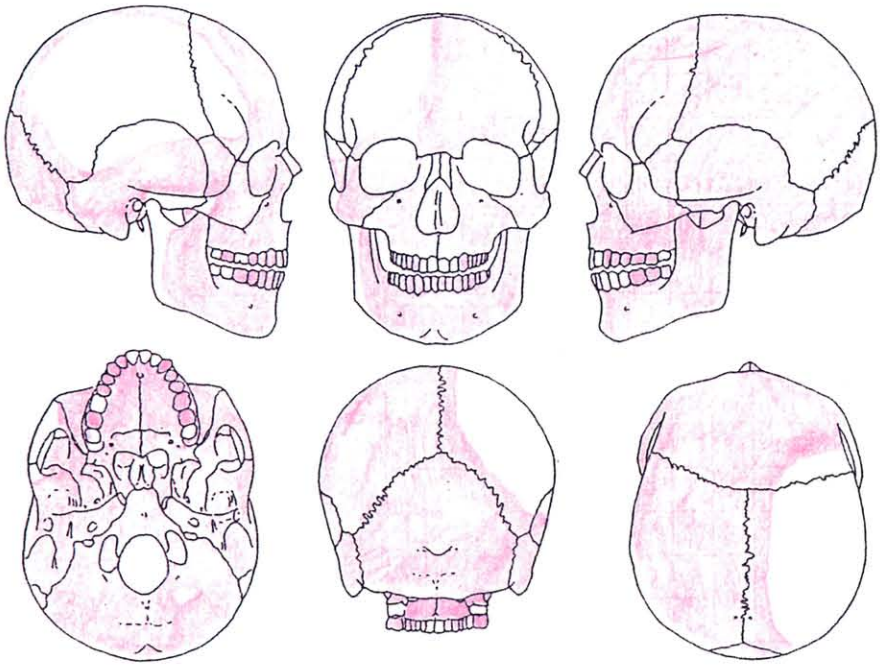
脊椎	頸椎	△	
	胸椎	×	
	腰椎	△	
	仙骨	△	
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		

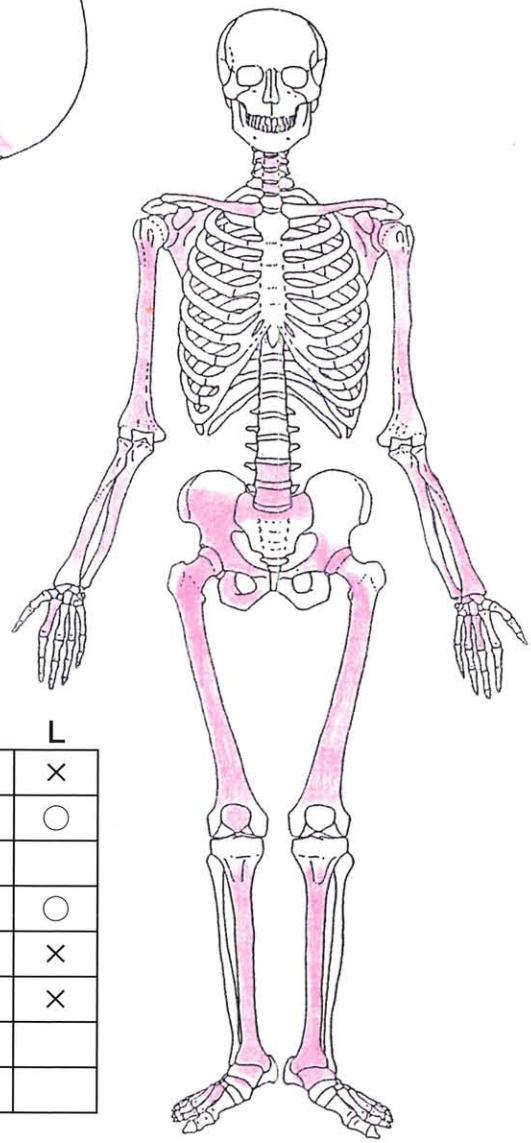
		R	L
上肢	肩甲骨		
	鎖骨		
	上腕骨		
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨	△	△
	大腿骨	△	×
	膝蓋骨		
	脛骨	×	△
	腓骨		
	足根骨	△	△
	中足骨		×
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　　118号墓　1号人骨　　性別　女性　年齢　熟年

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

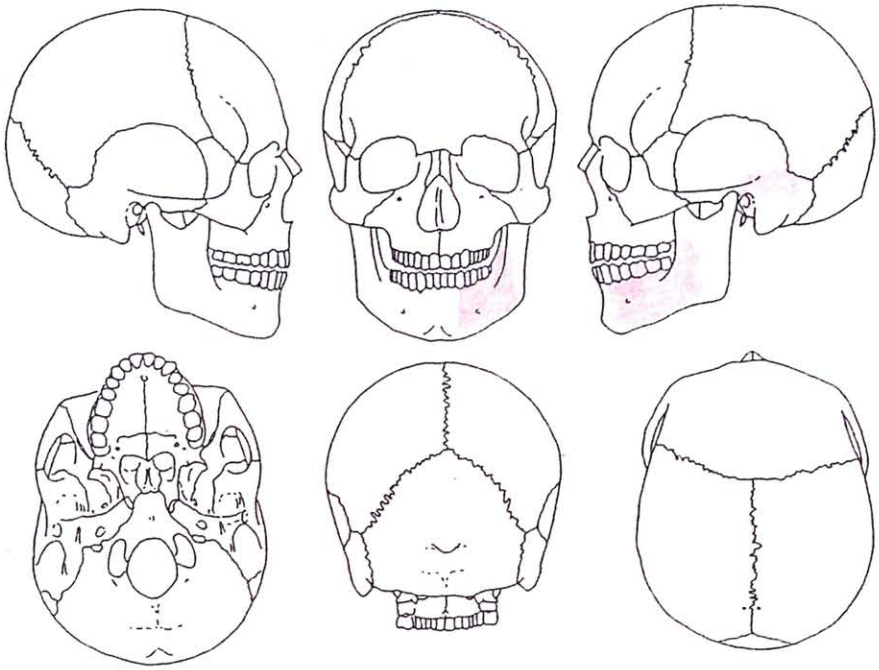
脊椎	頸椎	△	
	胸椎	○	
	腰椎	×	
	仙骨	×	
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨	△	×

		R	L
上肢	肩甲骨	△	△
	鎖骨	○	△
	上腕骨	○	○
	橈骨	○	○
	尺骨	△	△
	手根骨		×
	中手骨	×	×
	指骨（指）	×	×

		R	L
下肢	寛骨	△	×
	大腿骨	○	○
	膝蓋骨	○	
	脛骨	○	○
	腓骨	×	×
	足根骨	×	×
	中足骨	×	
	指骨（足）	×	

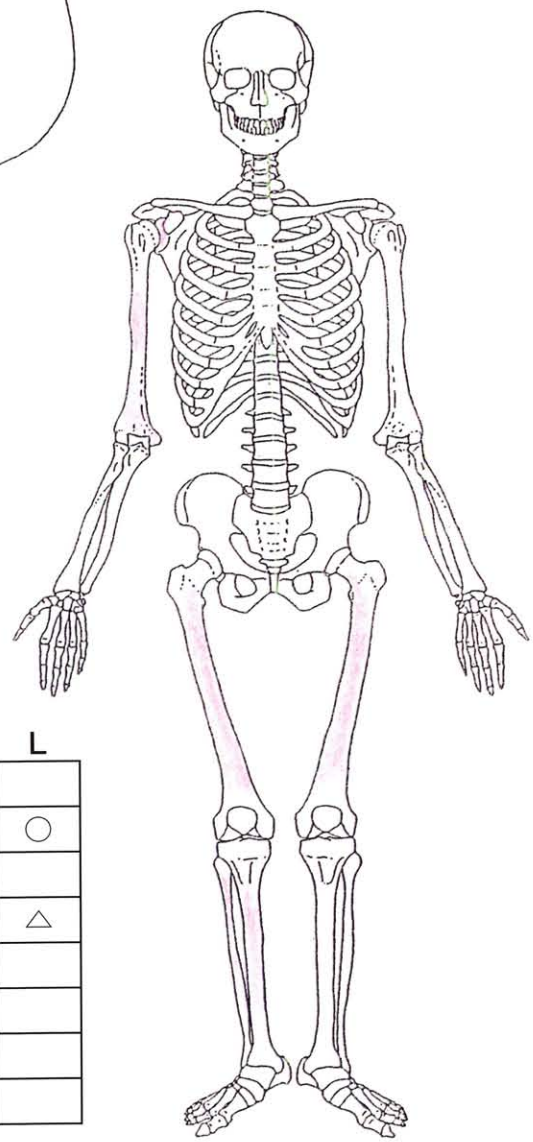
島内地下式横穴墓群遺跡　　118号墓　2号人骨　　性別　不明　年齢　壮年

・各骨の遺存状況



・体幹体肢骨の保存状態

脊椎	頸椎		
	胸椎		
	腰椎		
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		

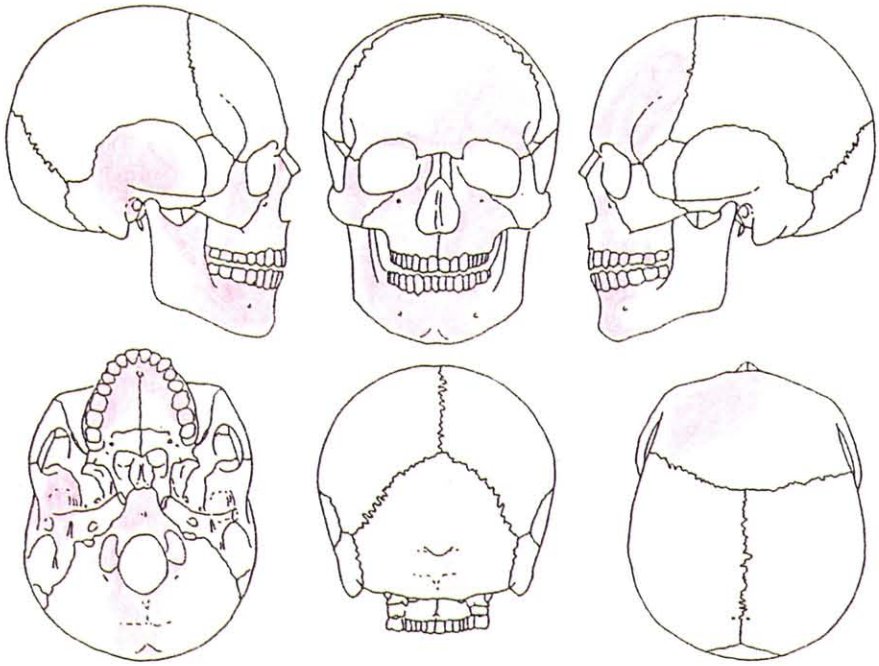


		R	L
上肢	肩甲骨	△	
	鎖骨		
	上腕骨	△	
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨	×	
	大腿骨	○	○
	膝蓋骨		
	脛骨	○	△
	腓骨	○	
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　　118号墓　3号人骨　　性別　不明　年齢　若年15－16歳

・各骨の遺存状況

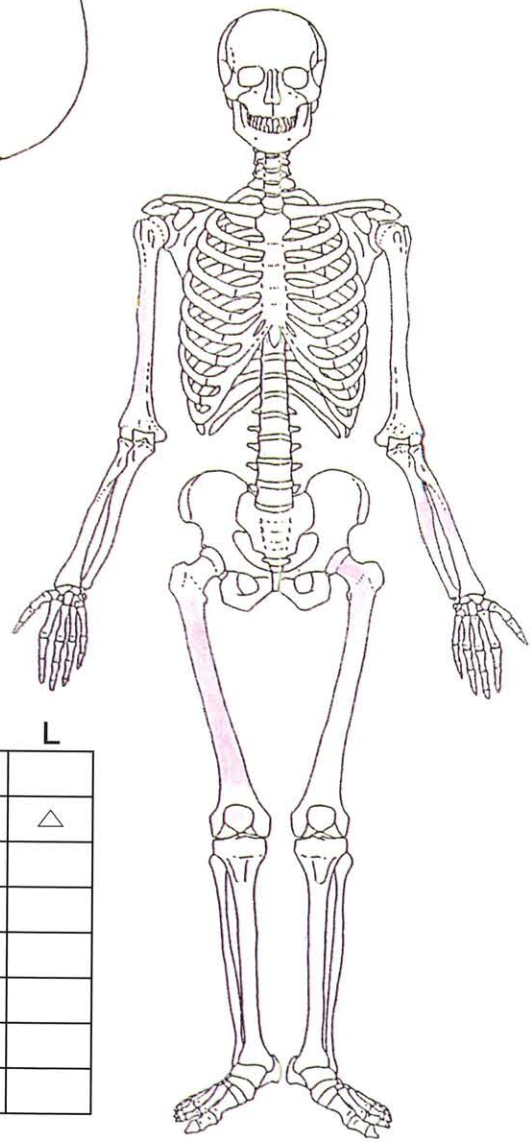


・体幹体肢骨の保存状態

脊椎	頸椎	△	
	胸椎	△	
	腰椎	×	
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨	×	×

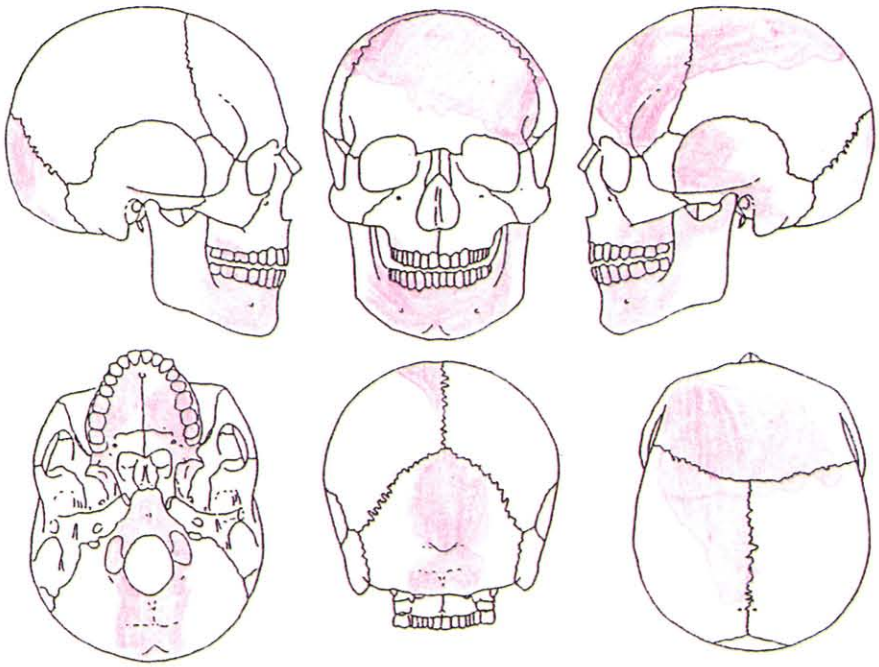
		R	L
上肢	肩甲骨		×
	鎖骨		△
	上腕骨	△	△
	橈骨		△
	尺骨		△
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

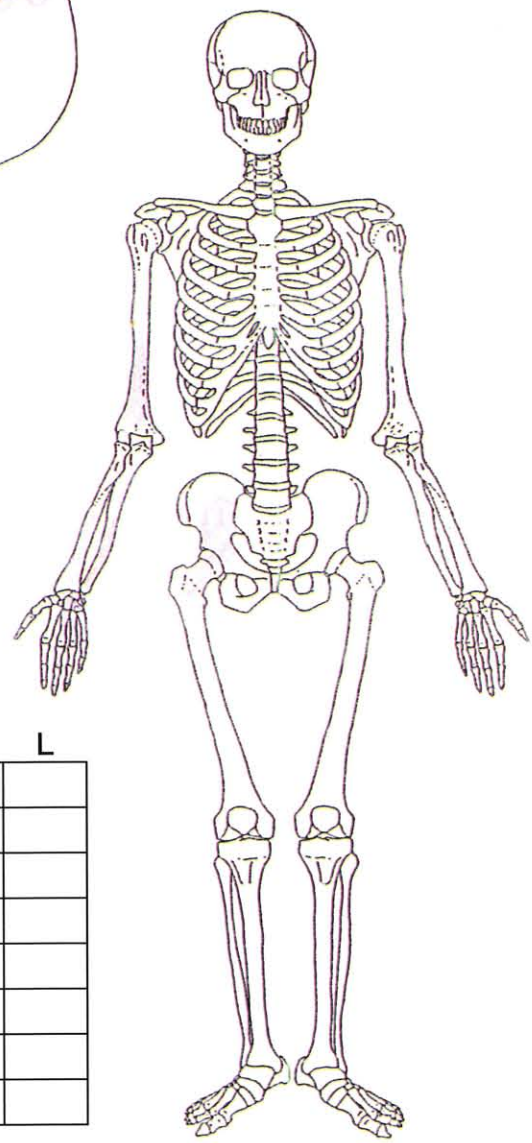
		R	L
下肢	寛骨		
	大腿骨	△	△
	膝蓋骨	△	
	脛骨		
	腓骨		
	足根骨	△	
	中足骨		
	指骨（足）		



島内地下式横穴墓群遺跡　　119号墓　1号人骨　　性別　女性　年齢　壮年

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

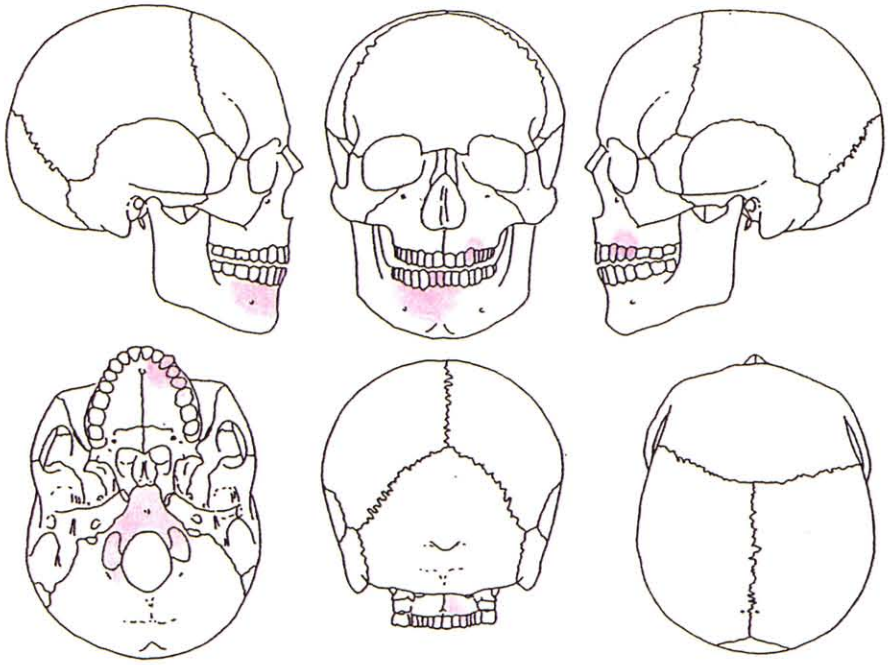
脊椎	頸椎	○	
	胸椎	△	
	腰椎		
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		

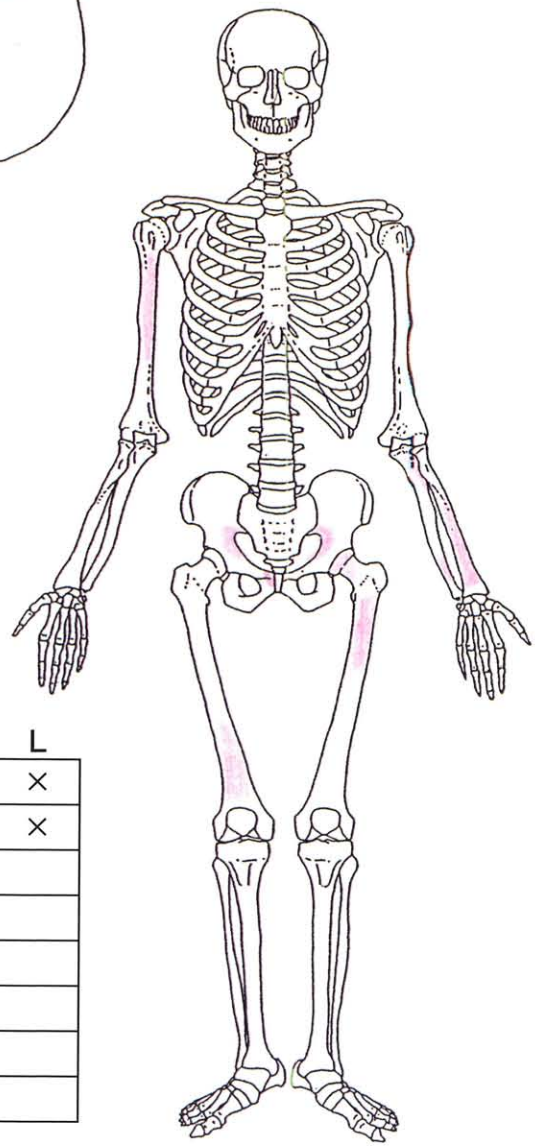
		R	L
上肢	肩甲骨		
	鎖骨		
	上腕骨	△	
	橈骨	△	
	尺骨	△	
	手根骨	○	
	中手骨	○	
	指骨（指）	△	

		R	L
下肢	寛骨	△	
	大腿骨	△	
	膝蓋骨		
	脛骨		
	腓骨		
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　　119号墓　2号人骨　　性別　不明　年齢　小児8－9歳

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

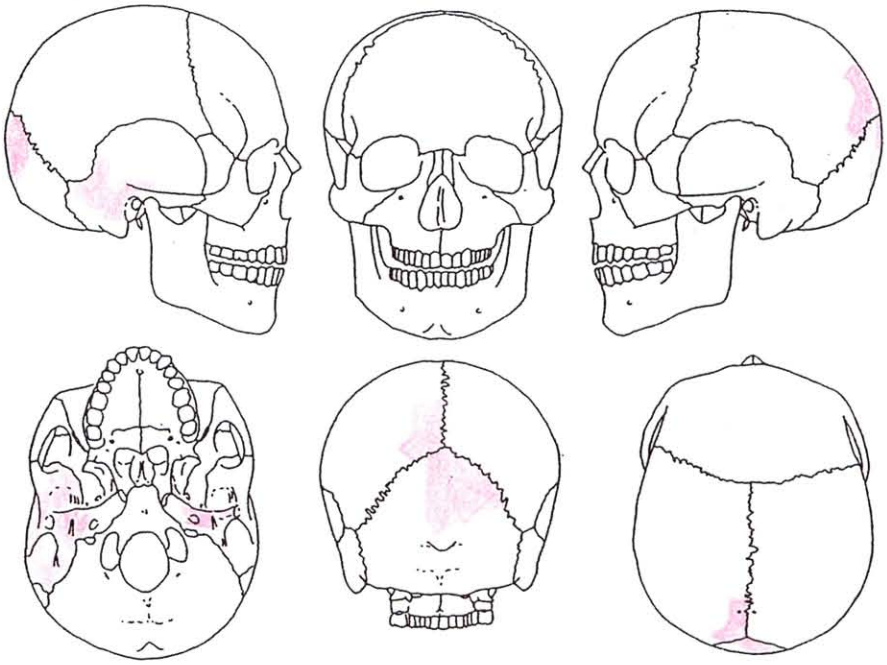
脊椎	頸椎	×	
	胸椎		
	腰椎	×	
	仙骨	×	
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		×

		R	L
上肢	肩甲骨		
	鎖骨	×	
	上腕骨	×	
	橈骨		×
	尺骨		×
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨	×	×
	大腿骨	×	×
	膝蓋骨		
	脛骨		
	腓骨		
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　　119号墓　3号A人骨　　性別　不明　年齢　小児8－9歳

・各骨の遺存状況

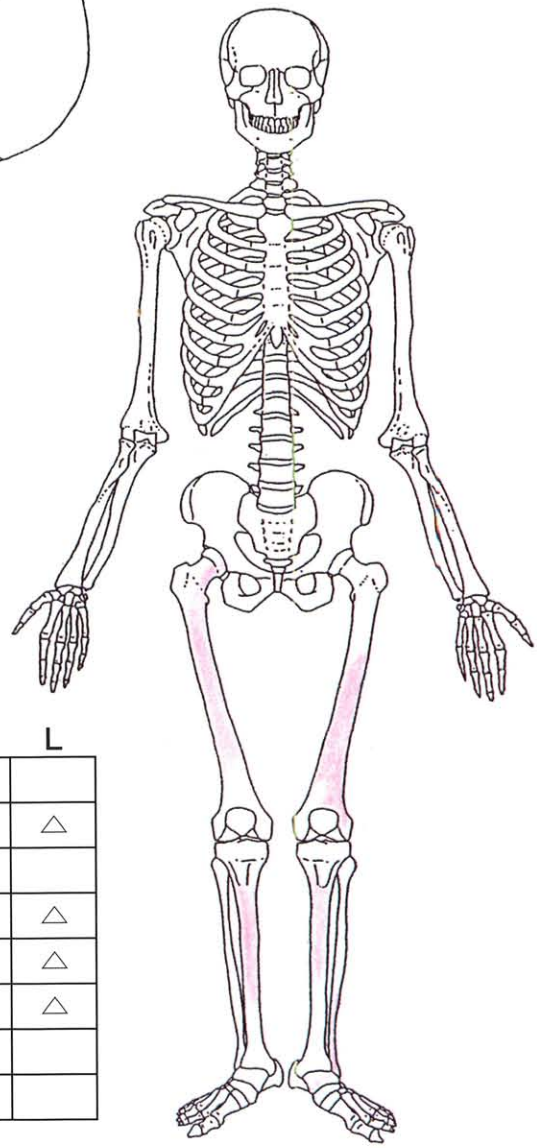


・体幹体肢骨の保存状態

脊椎	頸椎		
	胸椎		
	腰椎	△	
	仙骨	△	
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨	×	×

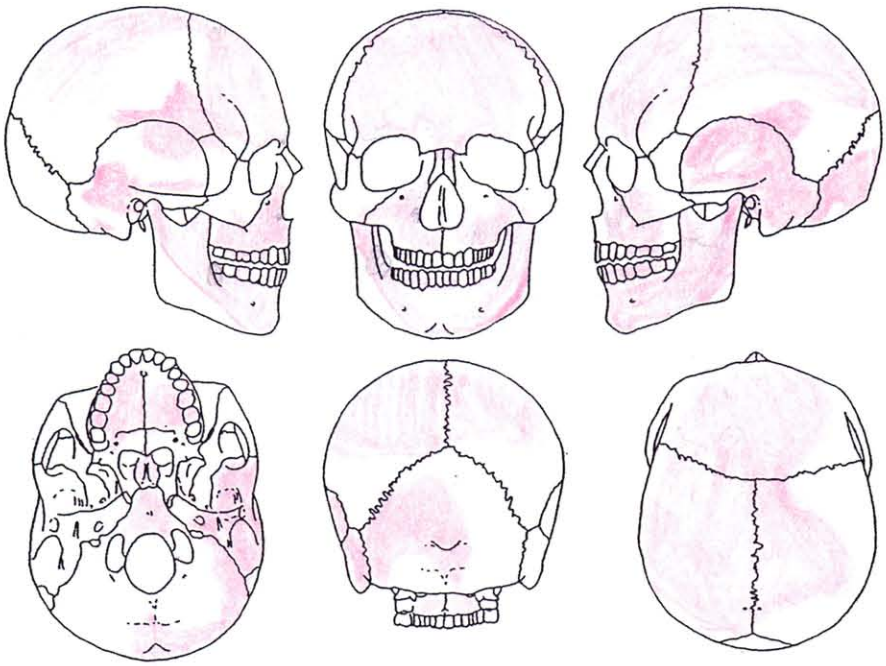
		R	L
上肢	肩甲骨		
	鎖骨		
	上腕骨		×
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

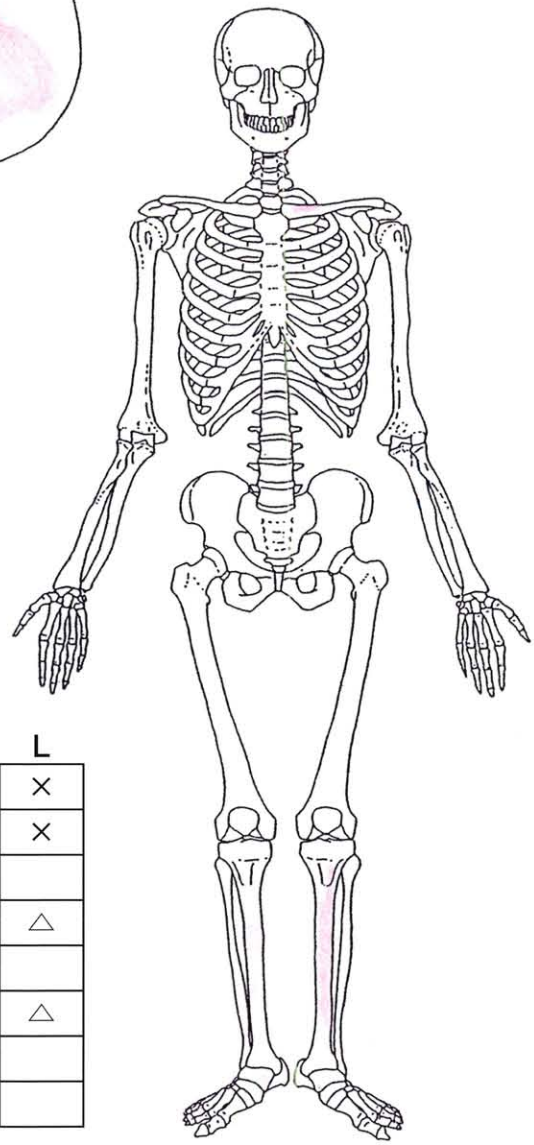
		R	L
下肢	寛骨		
	大腿骨	○	△
	膝蓋骨		
	脛骨	△	△
	腓骨		△
	足根骨		△
	中足骨		
	指骨（足）		



島内地下式横穴墓群遺跡　　120号墓　1号人骨　　性別　女性　年齢　熟年

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

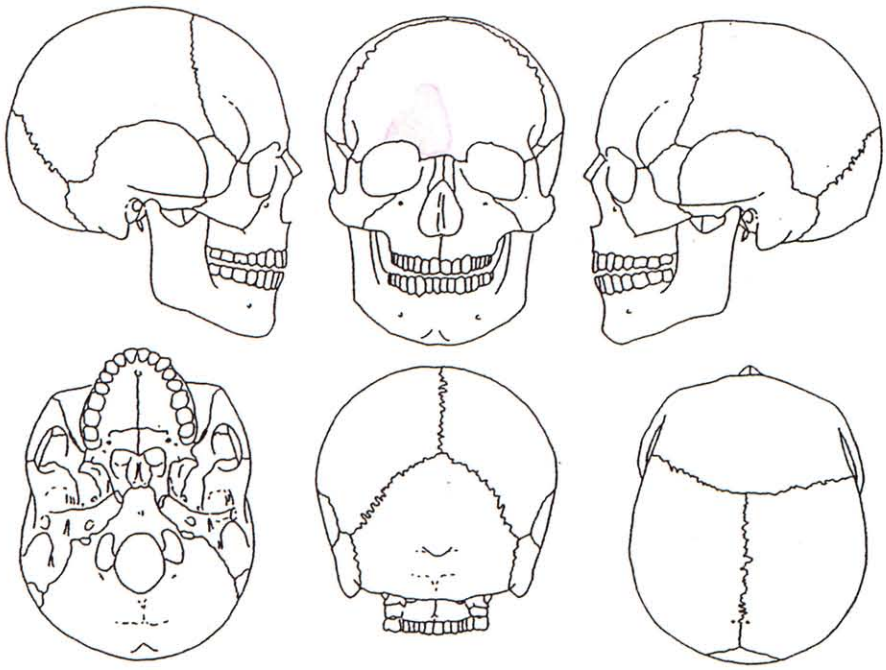
脊椎	頸椎		
	胸椎		
	腰椎		
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		

		R	L
上肢	肩甲骨		
	鎖骨		△
	上腕骨		
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨		×
	大腿骨	△	×
	膝蓋骨		
	脛骨	△	△
	腓骨		
	足根骨	△	△
	中足骨		
	指骨（足）		

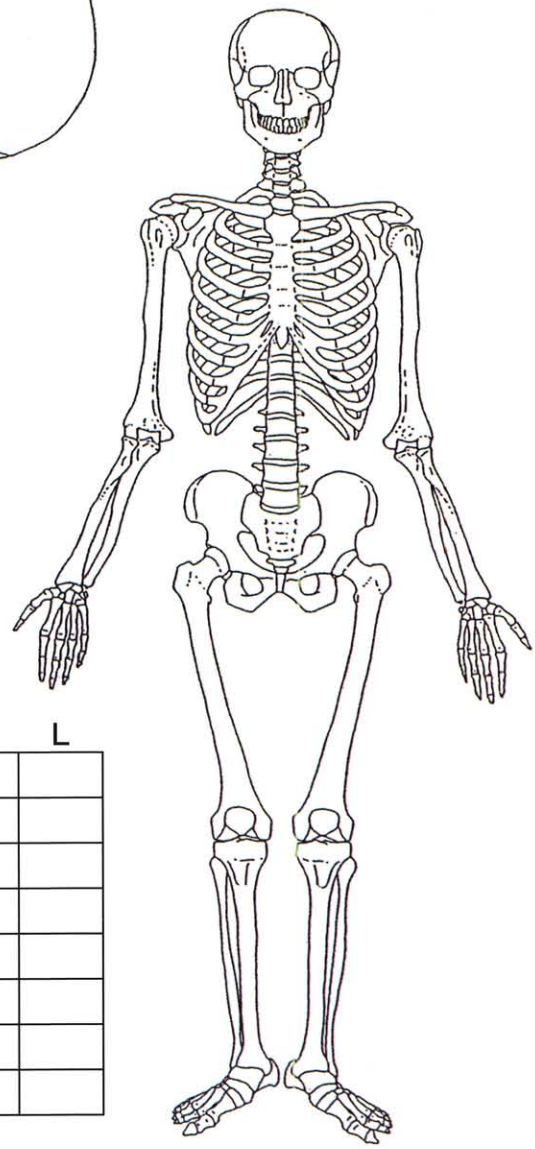
島内地下式横穴墓群遺跡　　120号墓　2号人骨　　性別　不明　年齢　小児7－9歳

・各骨の遺存状況



・体幹体肢骨の保存状態

脊椎	頸椎		
	胸椎		
	腰椎		
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		

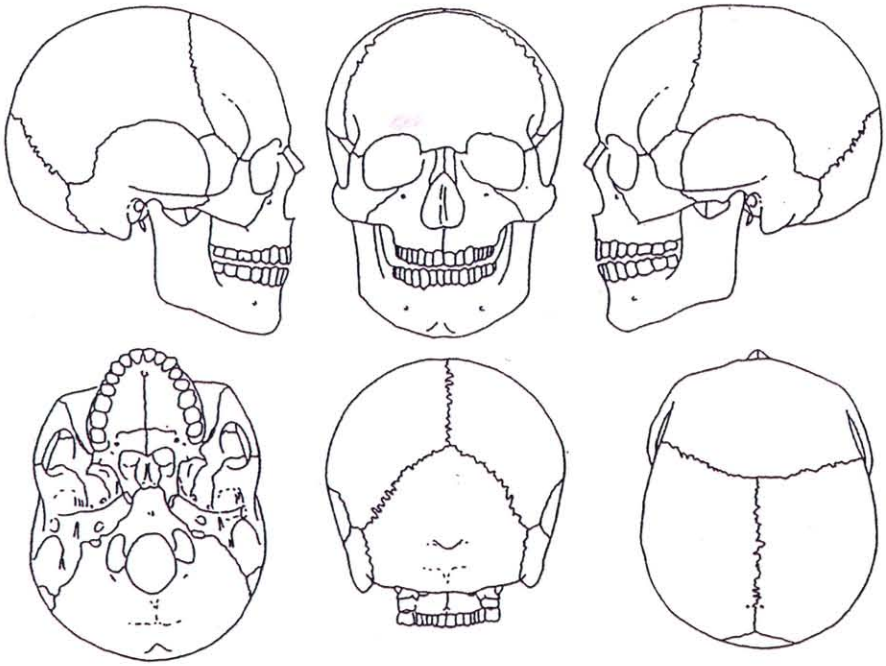


		R	L
上肢	肩甲骨		
	鎖骨		
	上腕骨		
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨		
	大腿骨		
	膝蓋骨		
	脛骨		
	腓骨		
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　　121号墓人骨　　性別　不明　年齢　未成人

・各骨の遺存状況

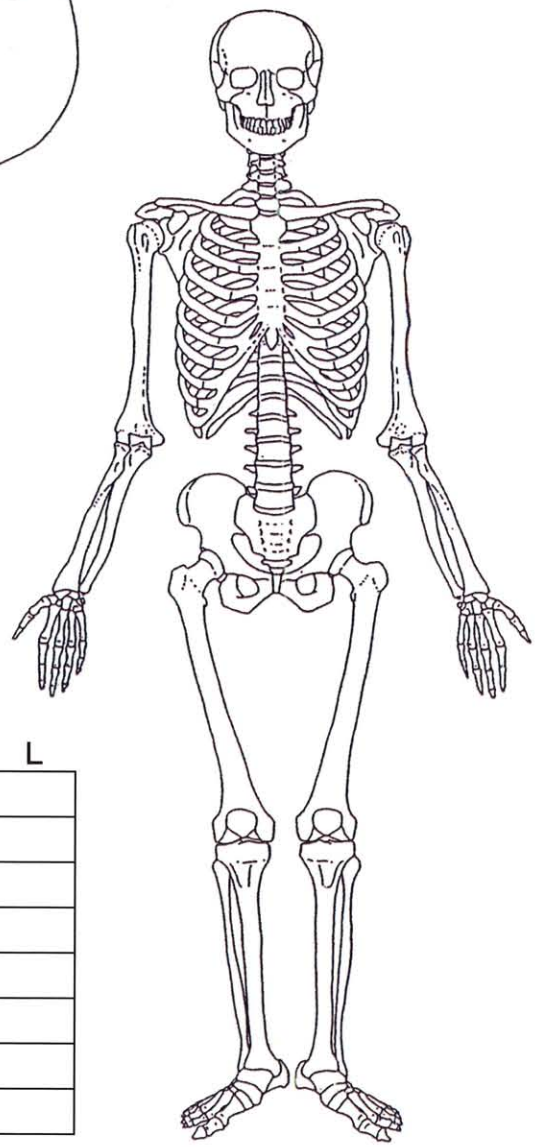


・体幹体肢骨の保存状態

脊椎	頸椎		
	胸椎		
	腰椎		
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		

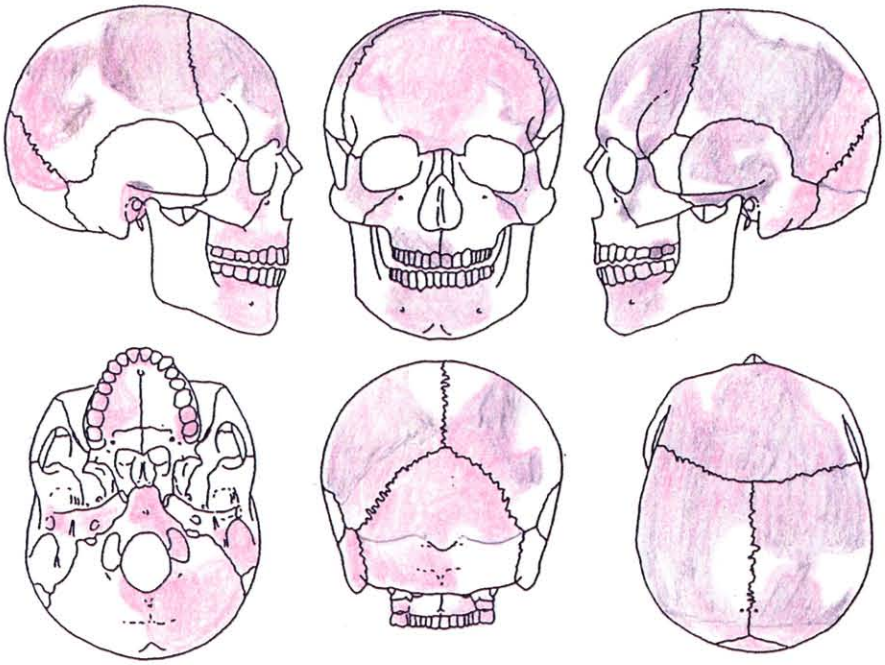
		R	L
上肢	肩甲骨		
	鎖骨		
	上腕骨		
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

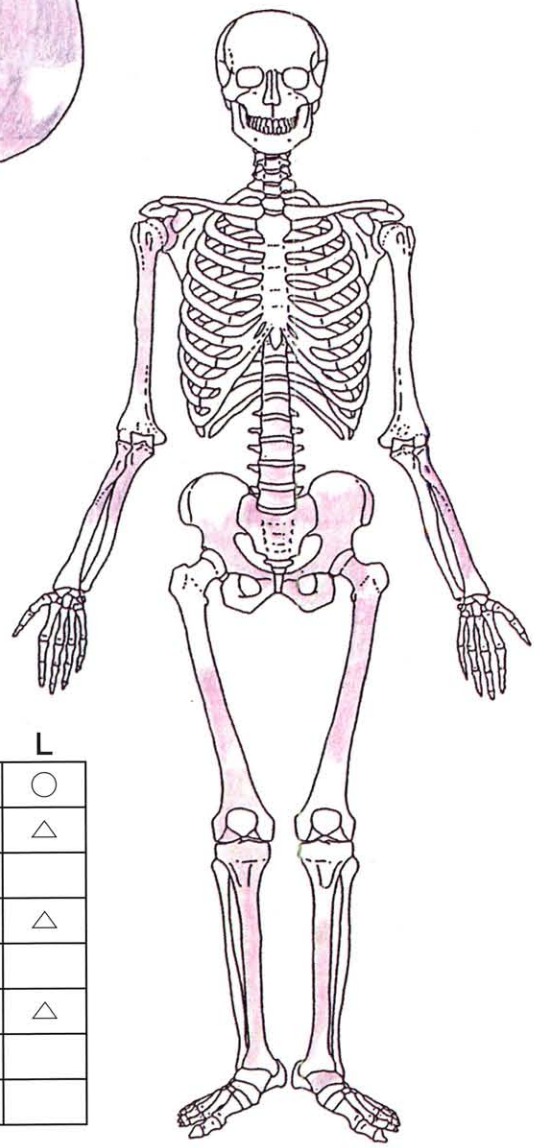
		R	L
下肢	寛骨		
	大腿骨		
	膝蓋骨		
	脛骨		
	腓骨		
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		



島内地下式横穴墓群遺跡　　122号墓　1号人骨　　性別　男性　年齢　壮年

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

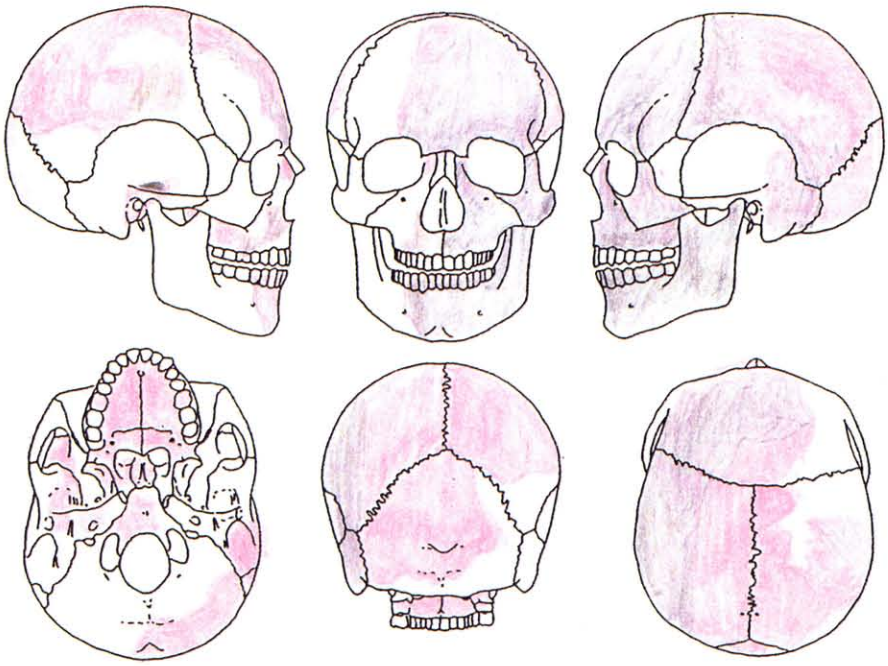
脊椎	頸椎	×	
	胸椎	×	
	腰椎	○	
	仙骨	○	
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨	×	×

		R	L
上肢	肩甲骨	△	
	鎖骨		
	上腕骨	△	
	橈骨	△	
	尺骨	△	
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨	△	○
	大腿骨	△	△
	膝蓋骨		
	脛骨	○	△
	腓骨	△	
	足根骨	△	△
	中足骨	×	
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　　122号墓　2号人骨　　性別　不明　年齢　小児9歳

・各骨の遺存状況

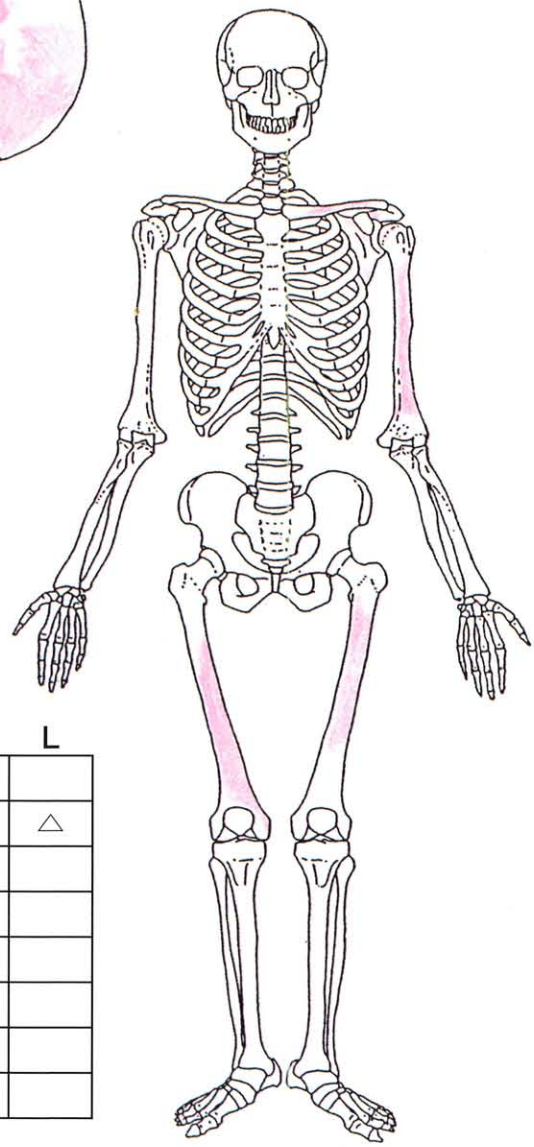


・体幹体肢骨の保存状態

脊椎	頸椎	△	
	胸椎		
	腰椎		
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		△

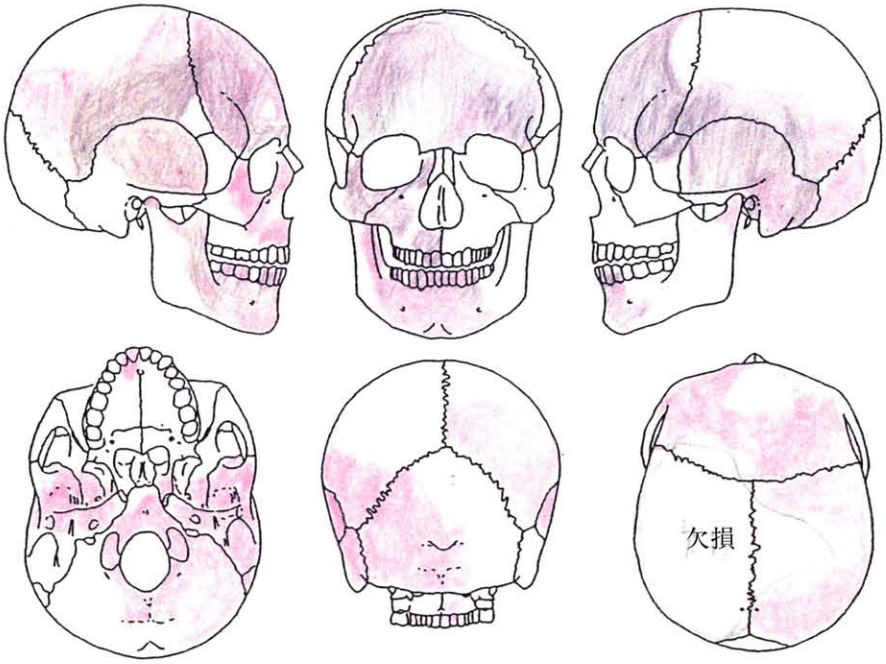
		R	L
上肢	肩甲骨		△
	鎖骨		○
	上腕骨		△
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		×
	中手骨		△
	指骨（指）		

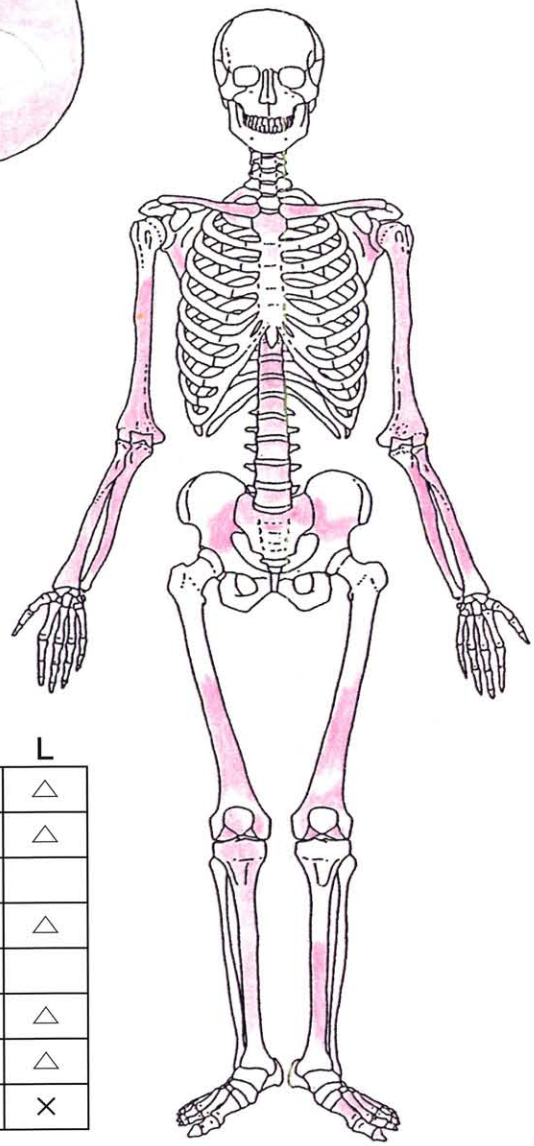
		R	L
下肢	寛骨		
	大腿骨	△	△
	膝蓋骨		
	脛骨	×	
	腓骨		
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		



島内地下式横穴墓群遺跡　　122号墓　3号人骨　　性別　女性　年齢　壮年後期

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

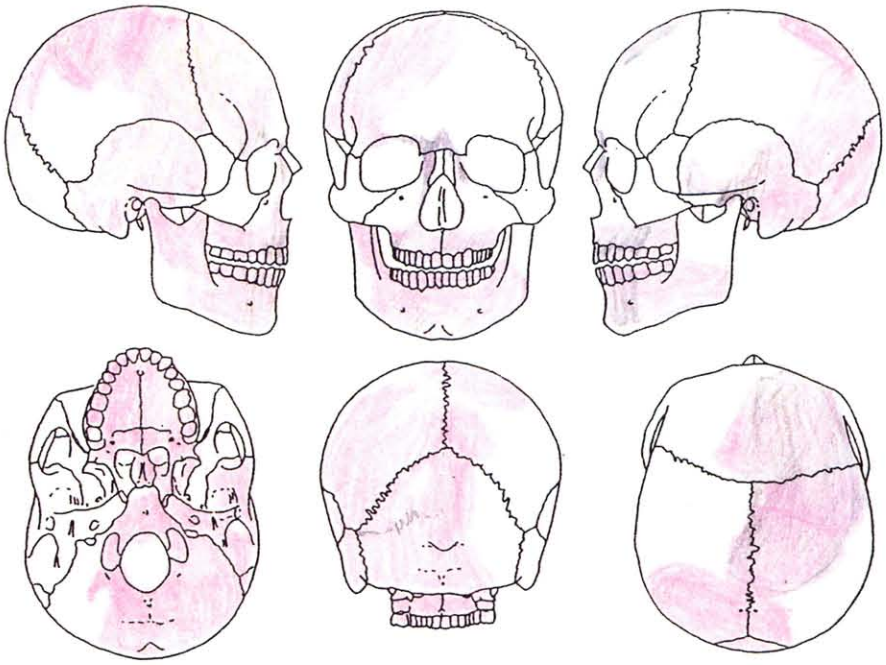
脊椎	頸椎	△
	胸椎	○
	腰椎	○
	仙骨	△
	尾骨	
胸郭	胸骨	△
	肋骨	△

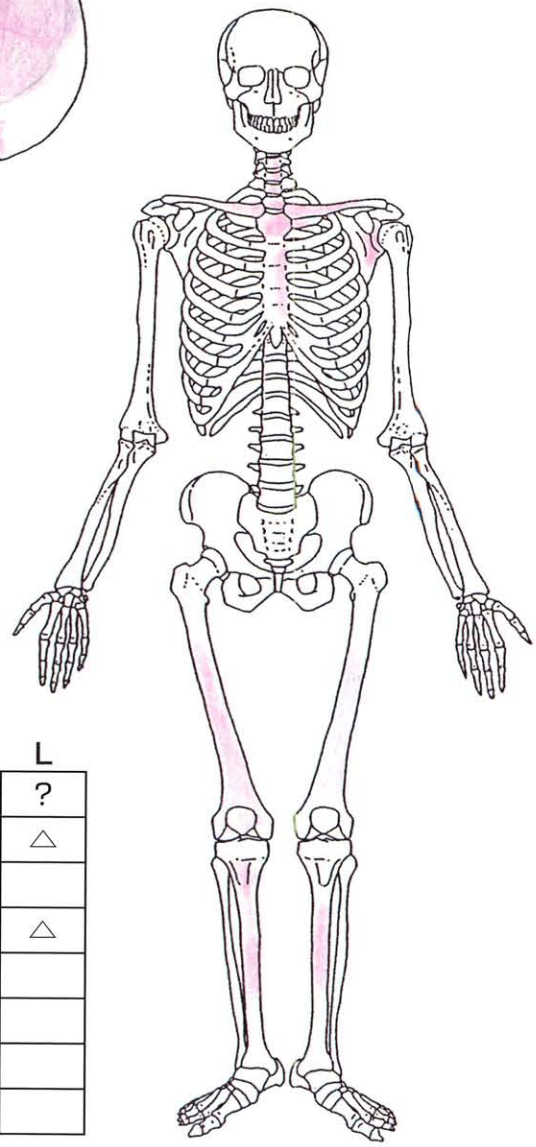
		R	L
上肢	肩甲骨	△	△
	鎖骨	○	△
	上腕骨	○	
	橈骨	○	
	尺骨	○	
	手根骨	△	
	中手骨	△	
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨	△	△
	大腿骨	△	△
	膝蓋骨	△	
	脛骨	△	△
	腓骨		
	足根骨		△
	中足骨		△
	指骨（足）		×

島内地下式横穴墓群遺跡　　123号墓　1号人骨　　性別　男性　年齢　熟年

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

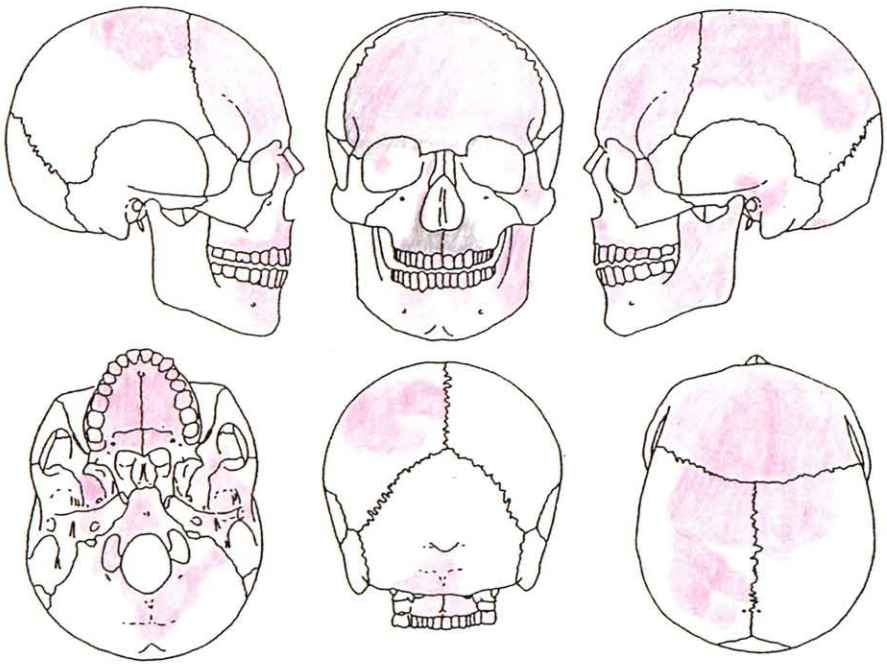
脊椎	頸椎	○	
	胸椎	○	
	腰椎		
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨	○	
	肋骨	△	△

		R	L
上肢	肩甲骨	△	△
	鎖骨	△	○
	上腕骨		
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨	?	?
	大腿骨	△	△
	膝蓋骨	○	
	脛骨	△	△
	腓骨		
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　　123号墓　2号人骨　　性別　女性　年齢　熟年

・各骨の遺存状況

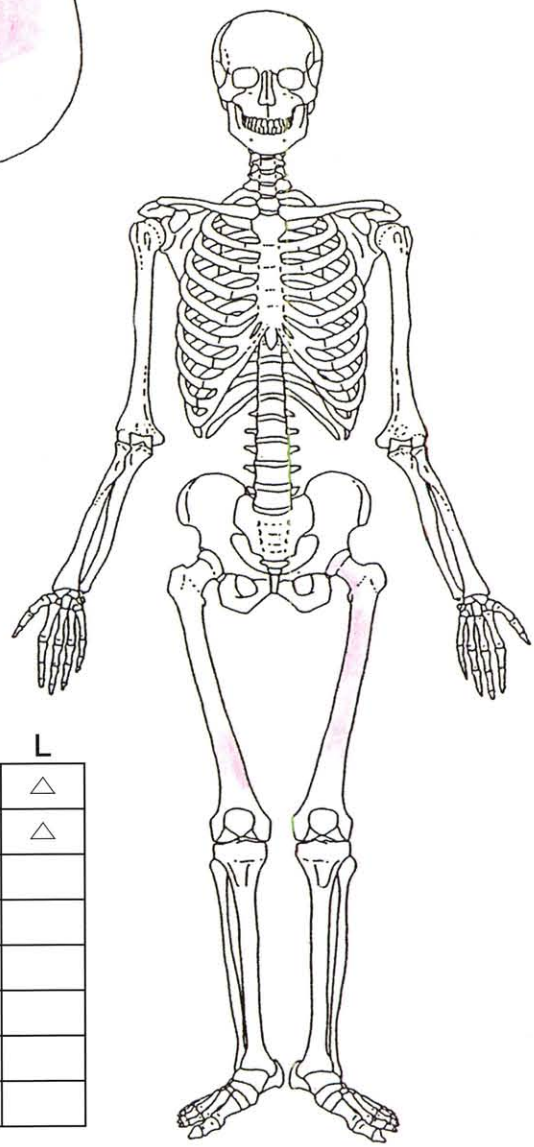


・体幹体肢骨の保存状態

脊椎	頸椎		
	胸椎		
	腰椎		
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		

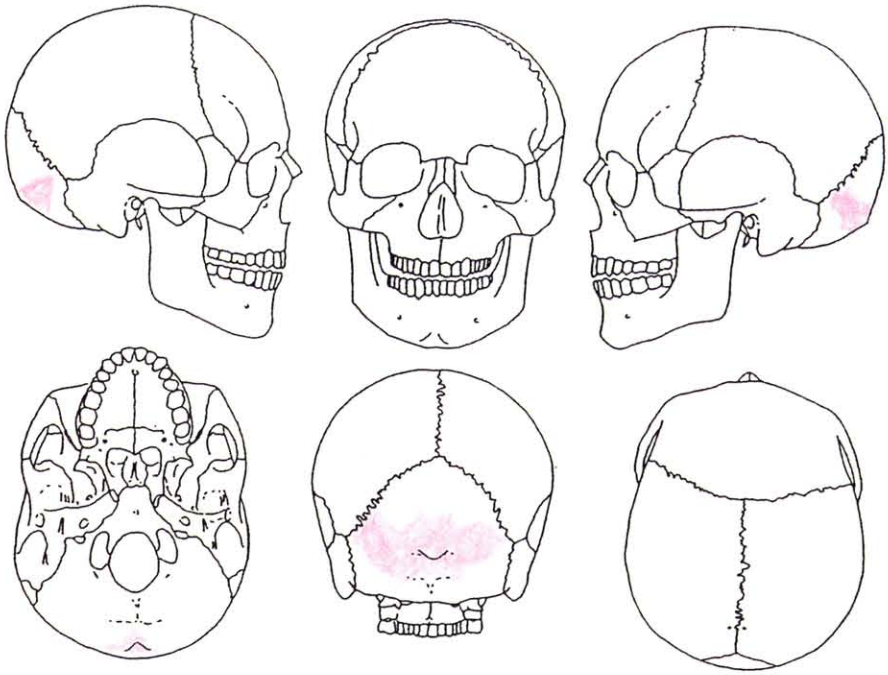
		R	L
上肢	肩甲骨		
	鎖骨		
	上腕骨		△
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		×
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨		△
	大腿骨	△	△
	膝蓋骨		
	脛骨	×	
	腓骨		
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		



島内地下式横穴墓群遺跡　　123号墓　4号人骨　　性別　不明　年齢　小児6－12歳

・各骨の遺存状況

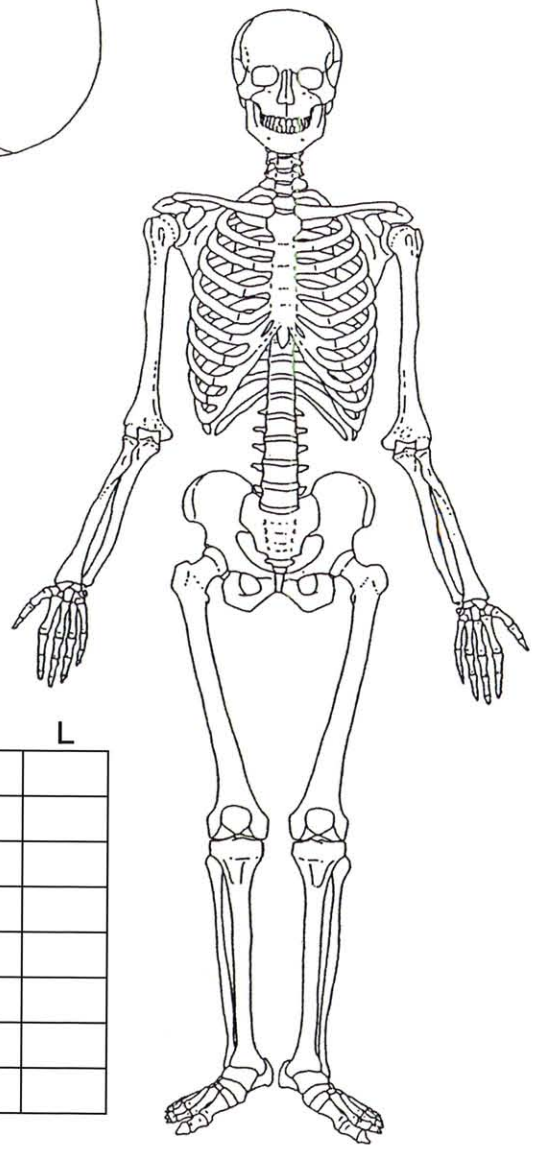


・体幹体肢骨の保存状態

脊椎	頸椎		
	胸椎		
	腰椎		
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨		

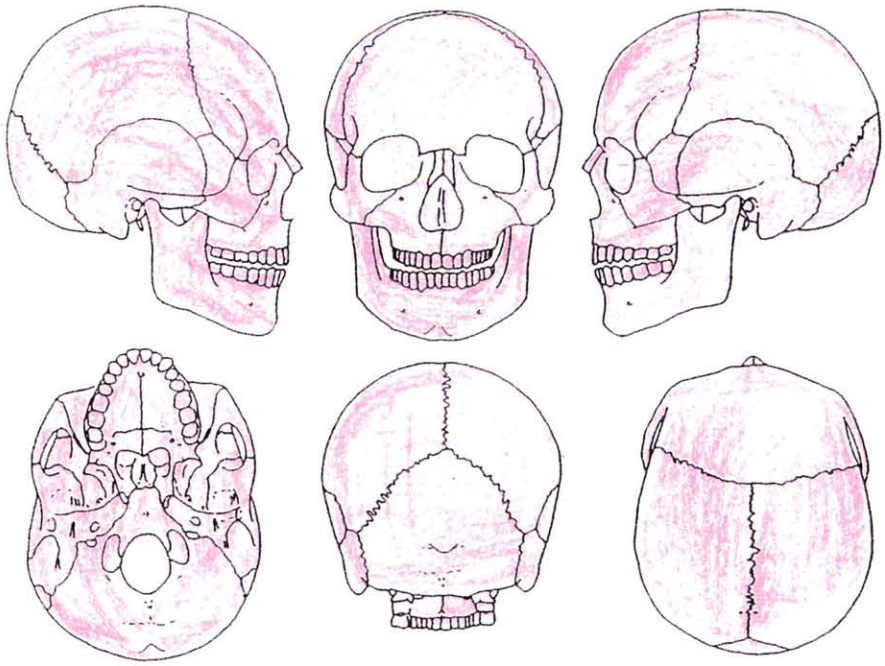
		R	L
上肢	肩甲骨		
	鎖骨		
	上腕骨		
	橈骨		
	尺骨		
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

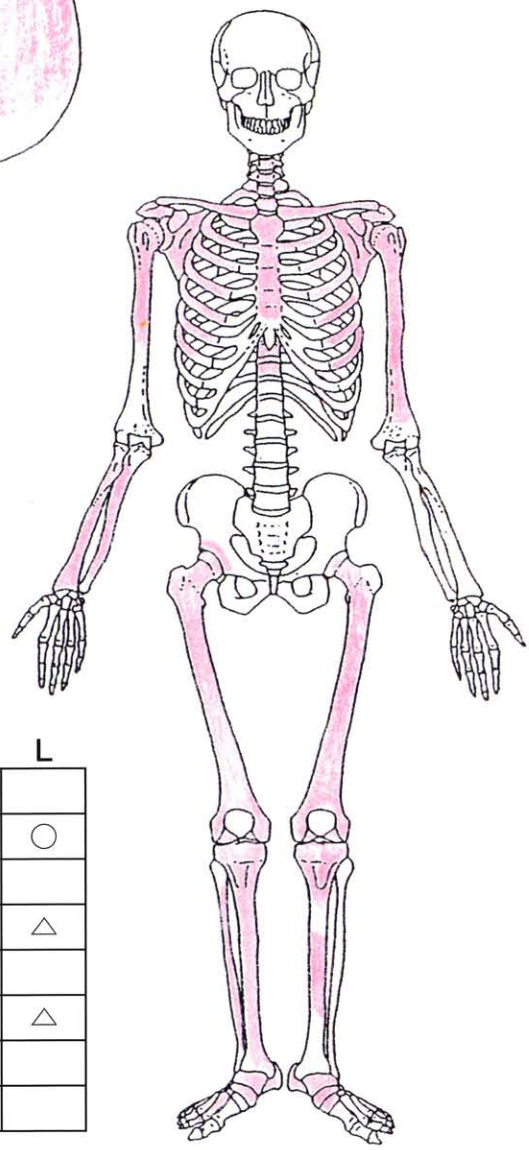
		R	L
下肢	寛骨		
	大腿骨		
	膝蓋骨		
	脛骨		
	腓骨		
	足根骨		
	中足骨		
	指骨（足）		



島内地下式横穴墓群遺跡　　124号墓　1号人骨　　性別　男性　年齢　壮年

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

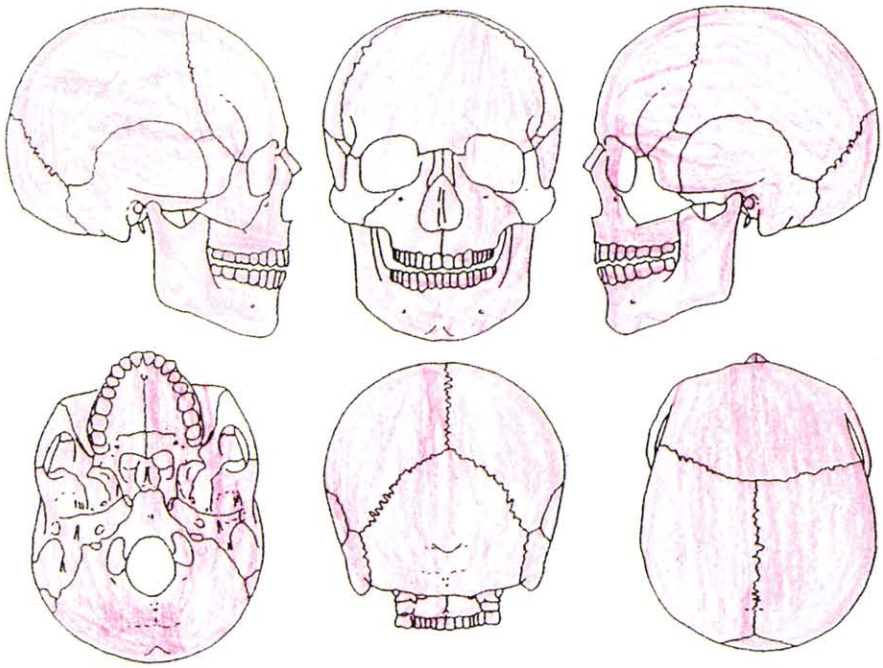
脊椎	頸椎	○	
	胸椎	○	
	腰椎		
	仙骨		
	尾骨		
胸郭	胸骨	○	
	肋骨	○	○

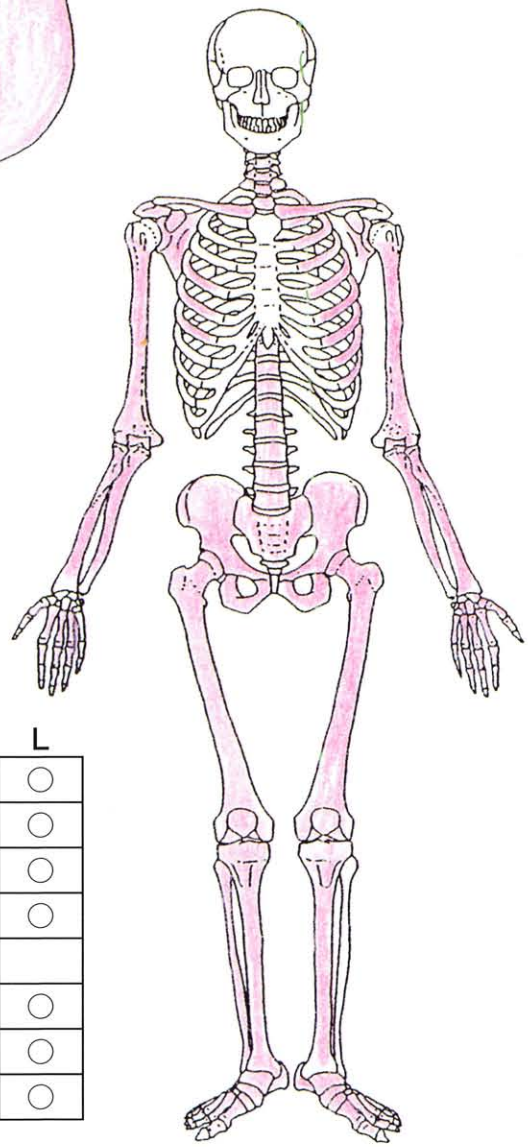
		R	L
上肢	肩甲骨	○	○
	鎖骨	○	○
	上腕骨	△	△
	橈骨	△	
	尺骨	△	
	手根骨		
	中手骨		
	指骨（指）		

		R	L
下肢	寛骨	×	
	大腿骨	○	○
	膝蓋骨		
	脛骨	○	△
	腓骨	△	
	足根骨	△	△
	中足骨	△	
	指骨（足）		

島内地下式横穴墓群遺跡　　124号墓　2号人骨　　性別　男性　年齢　壮年

・各骨の遺存状況





・体幹体肢骨の保存状態

脊椎	頸椎	○	
	胸椎	○	
	腰椎	○	
	仙骨	○	
	尾骨		
胸郭	胸骨		
	肋骨	△	○

		R	L
上肢	肩甲骨	△	△
	鎖骨	○	○
	上腕骨	○	○
	橈骨	○	○
	尺骨	○	○
	手根骨	△	△
	中手骨	△	△
	指骨（指）	△	△

		R	L
下肢	寛骨	○	○
	大腿骨	○	○
	膝蓋骨	○	○
	脛骨	○	○
	腓骨	○	
	足根骨	○	○
	中足骨	○	○
	指骨（足）	○	○

報　告　書　抄　録

ふりがな	しまうちちかしきよこあなぼぐんさん・おかもといせき
書名	島内地下式横穴墓群Ⅲ・岡元遺跡
副書名	66kv 大霧えびの線新設並びに関連工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	えびの市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第 50 集
編著者名	中野和浩，竹中正巳，古環境研究所，吉田生物研究所
編集機関	えびの市教育委員会
所在地	宮崎県えびの市大字大明司 2146-2
発行年月日	2009 年 11 月 25 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	調査期間	調査面積	調査原因
島内地下式横穴墓群（しまうちちかしきよこあなぼぐん）	えびの市大字島内字平松・杉ノ原（えびのしだいじしまうちあざひらまつ・すぎのはる）	9	1001	2008.02.01～2008.03.06	629㎡	鉄塔建替
岡元遺跡（おかもと）	えびの市大字浦字前畑（えびのしだいじうらあざまえはた）		1043	・2008.03.05～2008.03.27	98㎡	鉄塔建替

所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項
島内地下式横穴墓群	古墳	古墳		地下式横穴墓	冑、大刀、剣、鉄鏃、刀子、貝釧、骨鏃	大刀に象嵌 糞石 ハエ蛹殻多量４体
				馬墓	轡	
				祭祀土坑	須恵器	
岡元遺跡	集落	縄文	早期	炉 集石遺構	土器 石鏃	
			前期	陥し穴		
		弥生～古墳		竪穴住居	石斧 磨製石鏃	

えびの市埋蔵文化財調査報告書　第50集

島内地下式横穴墓群Ⅲ・岡元遺跡

66kv大霧えびの線新設並びに関連工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

平成21年11月

編集・発行　えびの市教育委員会
えびの市大字大明司2146-2
印　　刷　有限会社　大口新生社印刷
鹿児島県伊佐市大口大田2319-1